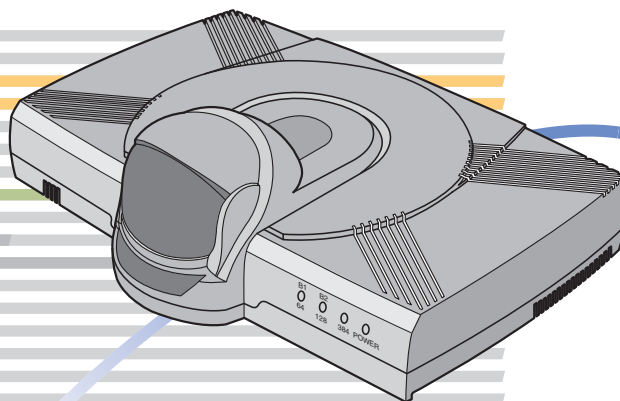




**MEDIA POINT IP**

取扱説明書

## はじめに

このたびMediaPoint IPをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、装置を安全にお使いいただくための使用上のご注意、セットアップ方法、操作方法および故障かなと思っ  
たときの対処方法などを説明しています。

取扱説明書をよくお読みになり、本機を末永くご愛用ください。

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するた  
めに、守っていただきたい事項を記載しています。

### 安全マークについて

本書で使用している表示と図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。



#### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定さ  
れる内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容お  
よび物的損害が想定される内容を示しています。

### 警告表示の種類



誤った取り扱いによって、発煙または発火の可能性が想定されることを示しています。



誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。



誤った取り扱いによって、けがを負う可能性が想定されることを示しています。



安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。



安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。



安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。

## 電源に関するご注意



### 警告



●電源はAC100V ± 10V (50/60Hz) の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。



●電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると火災、感電の原因となります。

●電源コードの上に物を載せないでください。コードの損傷により、火災、感電の原因となります。

●電源コードの接続は、テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。

●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

●AC アダプターは、必ず本機に添付のものをお使いください。他のものを使用されると、火災、故障の原因となります。



### 注意



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。



●濡れた手で電源プラグおよびAC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。感電の原因となることがあります。

●機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

## 保管および使用環境に関するご注意



### 警告



●本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



●設置環境条件は温度 5 ～ 35℃/湿度 20 ～ 80% です（結露しないようにご注意ください）。



### 注意



●本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



●本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●本機を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。

●本機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。

●ラジオやテレビの受信している付近で使用しないでください。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。

●本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズが入ることがあります。このような場合、本機の電源を OFF にしてご使用ください。

●本機は空冷のため、通気孔に物を置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●本機の側面を 5cm 以上空けてください。

## 禁止事項



### 警告



●本機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。



●アース線は、絶対にガス管につながないでください。



●当社サービスマン以外は、本機を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

●当社サービスマン以外は、本機内部の点検、調整、掃除、修理は危険ですから絶対にしないでください。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

●本機内部の点検、調整、掃除、修理は、お買い求めの販売店または VoicePoint センターに依頼してください。



### 注意



●本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。



●本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。



●本機の上に乗ったりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。

●本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

## 異常時およびトラブルに関するご注意



### 警告



●万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または VoicePoint センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



●万一、本機を落したり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または VoicePoint センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店または VoicePoint センターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

●電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または VoicePoint センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



### 注意



●落雷のおそれがあるときは、本機の電源を OFF にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控えください。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。



●雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないでください。感電の原因となることがあります。



## お手入れに関するご注意



### 注意



●本機のお手入れの際は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



●必ずアース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。



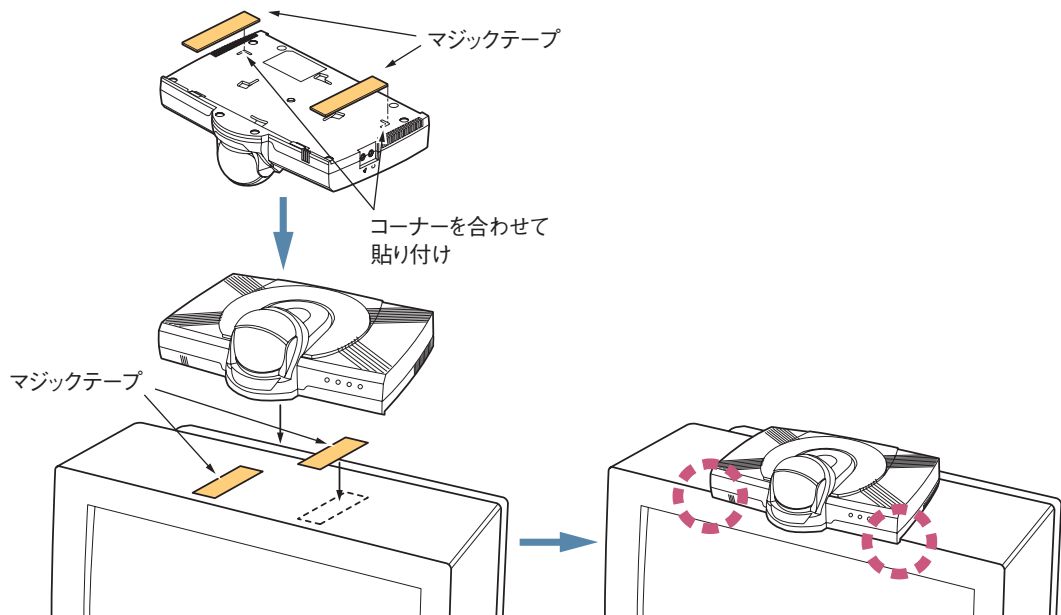
●ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。

## 廃棄時のご注意

- 本機器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただくか、お買い求めの販売店または VoicePoint センターにご依頼ください。

## テレビの上に設置する際のご注意

- 落下防止のため、添付のマジックテープで固定してください。  
テレビの上に置くときは、テレビ前面の上端に MediaPoint IP 本体前面下部の突起を掛けるようにしてください。



## 輸出する際のご注意

- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

## 情報処理装置等電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| はじめに .....          | 2  |
| 安全にお使いいただくために ..... | 2  |
| 目次 .....            | 6  |
| 特長 .....            | 9  |
| 使用例 .....           | 10 |

### セットアップ編

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| <b>準備</b> .....     | <b>1-2</b>  |
| 箱の中身を確認する .....     | 1-2         |
| 各部の名称と役割 .....      | 1-3         |
| <b>セットアップ</b> ..... | <b>1-8</b>  |
| 設置の前に .....         | 1-8         |
| 接続する .....          | 1-9         |
| <b>初期設定</b> .....   | <b>1-12</b> |

### 基本操作編

|                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| <b>リモコンの操作</b> .....            | <b>2-2</b>  |
| 直接ダイヤル .....                    | 2-2         |
| 短縮ダイヤル .....                    | 2-5         |
| リダイヤル .....                     | 2-7         |
| 回線の切断 .....                     | 2-9         |
| 音量の調節 .....                     | 2-10        |
| 相手先に声が聞こえないようにする（マイクオフ） .....   | 2-10        |
| こちら側の画像を見る（送信画） .....           | 2-10        |
| 相手側の画像を見る（受信画） .....            | 2-11        |
| 子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー） .....  | 2-11        |
| <b>Voice Unitのキーパッド操作</b> ..... | <b>2-12</b> |
| 直接ダイヤル .....                    | 2-12        |
| 短縮ダイヤル .....                    | 2-14        |
| リダイヤル .....                     | 2-15        |
| 回線の切断 .....                     | 2-16        |
| 音量の調節 .....                     | 2-17        |
| 相手先に声が聞こえないようにする（マイクオフ） .....   | 2-17        |
| 画像を切り替える（モニタ表示） .....           | 2-17        |
| 子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー） .....  | 2-18        |

応用操作編

|                                           |             |
|-------------------------------------------|-------------|
| <b>リモコンを操作する</b>                          | <b>3-3</b>  |
| カメラを操作する（ズーム、パン、チルト） .....                | 3-3         |
| カメラプリセットを操作する .....                       | 3-3         |
| 相手側のカメラを操作する（リモート） .....                  | 3-4         |
| カメラを切り替える（カメラ1、カメラ2、書画） .....             | 3-5         |
| VTRの映像を送信する（VTR/RGB） .....                | 3-6         |
| 静止画を送る（スナップ送信） .....                      | 3-7         |
| 受信または送信した静止画を確認する（スナップ画） .....            | 3-7         |
| 通信状態を確認する（ステータス） .....                    | 3-8         |
| <b>Voice Unitのキーパッドを操作する</b>              | <b>3-9</b>  |
| カメラを操作する（ズーム、パン、チルト） .....                | 3-9         |
| 送信画を切り替える<br>（カメラ1、カメラ2、書画、VTR/RGB） ..... | 3-10        |
| 静止画を送る（スナップ送信） .....                      | 3-12        |
| <b>多地点会議</b>                              | <b>3-13</b> |
| オペレータ権を獲得する .....                         | 3-13        |
| 画像の送信元を選択する（選択同報） .....                   | 3-15        |
| 自分の画像を送信する（自室同報） .....                    | 3-16        |
| 表示する相手先を選ぶ（受信選択） .....                    | 3-17        |
| <b>アイコンを操作する（メインメニュー）</b>                 | <b>3-18</b> |
| 回線接続 .....                                | 3-18        |
| カメラプリセット登録 .....                          | 3-20        |
| 短縮ダイヤル登録 .....                            | 3-22        |
| 画面表示設定 .....                              | 3-25        |
| <b>環境設定</b>                               | <b>3-27</b> |
| 環境設定メニューの出し方 .....                        | 3-27        |
| ビデオ関連設定 .....                             | 3-29        |
| オーディオ関連設定 .....                           | 3-33        |
| 初期登録情報 .....                              | 3-36        |
| データ通信関連設定 .....                           | 3-37        |
| 通信関連設定 .....                              | 3-40        |
| メンテナンス .....                              | 3-44        |

|               |      |
|---------------|------|
| ミーティングネットサービス | 3-47 |
|---------------|------|

|               |      |
|---------------|------|
| Voice Unitの設定 | 3-49 |
|---------------|------|

|                    |      |
|--------------------|------|
| 設定項目               | 3-49 |
| 設定メニューの画面遷移        | 3-49 |
| 外部機器を設定する          | 3-50 |
| 内部マイクを設定する         | 3-52 |
| 内部スピーカを設定する        | 3-54 |
| ハウリングやエコーを抑える      | 3-56 |
| 音声の入力レベルを設定する      | 3-57 |
| トレーニングを行う          | 3-59 |
| 設定を初期化する           | 3-60 |
| Voice Unit 外部機器接続例 | 3-61 |

|          |      |
|----------|------|
| バージョンアップ | 3-62 |
|----------|------|

|                           |      |
|---------------------------|------|
| MediaPoint IPのバージョンアップを行う | 3-62 |
| Voice Unitのバージョンアップを行う    | 3-63 |

## 困ったときは

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 故障かな？と思ったら            | 4-2 |
| MediaPoint IPに関する情報提供 | 4-2 |
| アラームメッセージ一覧           | 4-3 |
| 切断理由コード一覧             | 4-4 |
| よくある質問と回答             | 4-6 |

## 付 録

|              |     |
|--------------|-----|
| 保証書とアフターサービス | 5-2 |
| 用語集          | 5-3 |
| 構成機器とオプション品  | 5-5 |
| 主な仕様         | 5-6 |
| コネクタ情報       | 5-7 |
| 出荷時設定情報      | 5-8 |

## 特長

### 2種類の回線を使用できます。

- MediaPoint IP は、ISDN と IP ネットワークの2種類の回線でご利用いただけます。  
お使いになる環境や目的に応じて回線を選べます。

### テレビ会議/テレビ電話として使用できます。

- MediaPoint IP をテレビモニターの上に設置し、Voice Unit を会議机の上に設置することで、多人数でも相手側を見ながらテレビ会議を行えます。
- MediaPoint IP 以外のテレビ会議システムと相互に通信できます（ISDN：H.320、IP：H.323に準拠）。
- GINGANET などの多地点テレビ会議システムを利用できます。
- ヘッドセットを使用すると、テレビ電話としてもご利用いただけます。

### 監視カメラとして使用できます。

- 片方向のビデオ監視だけでなく、双方向で相手側の画像を見ることができます。
- テレビを見ながら、相手側のカメラをリモートコントロールできます。
- 内蔵マイクにより、相手側の音声を聞くことができます。
- インターフォン機能で、相互に会話できます。

#### MediaPoint IP TCモデル：テレビ会議用

テレビカメラを搭載しています。

付属の Voice Unit を接続し、テレビ会議システムの送受信機としてご利用いただけます。

#### MediaPoint IP SVモデル\*：ビデオ監視用

テレビカメラを搭載しています。

監視システムの送信機(監視カメラ)としてご利用いただけます。

#### MediaPoint IP NCモデル\*：ビデオ監視用

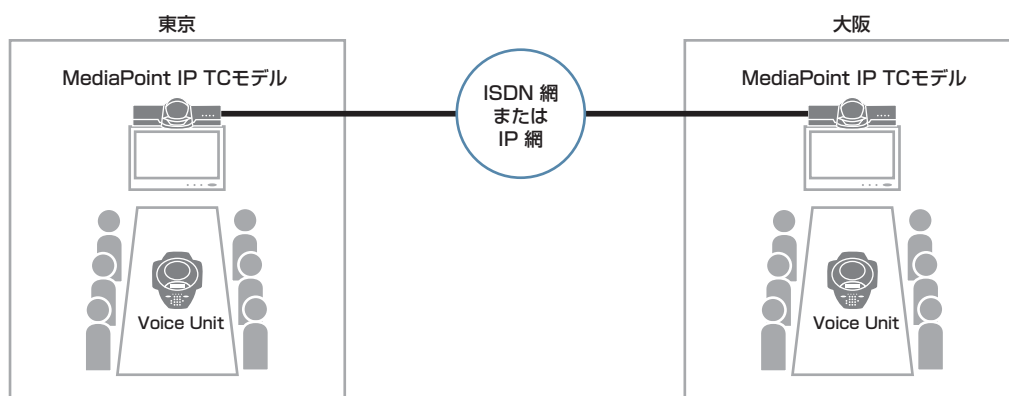
監視システムの受信機としてご利用いただけます。

外部カメラを接続すれば、送信機としてもご利用いただけます。

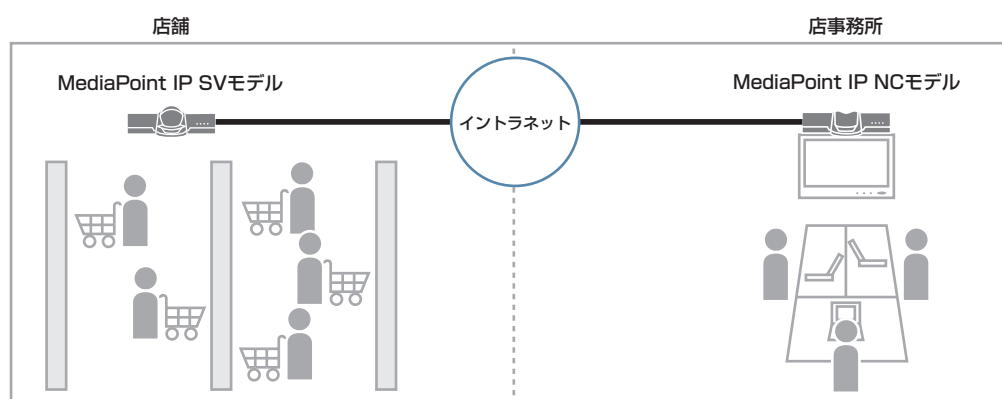
\*SVモデルおよびNCモデルでは、リモコンはオプションとなります。  
各種設定やカメラの操作を行うには、PCなどの外部機器またはオプションのリモコンが必要です。  
詳細は、販売店またはVoicePointセンター（0120-343010、<http://www.nec-eng.com/>）にお問合せください。

## 使用例

### テレビ会議



### ビデオ監視・・・店舗の防犯など・・・





|                 |      |
|-----------------|------|
| 準備              | 1-2  |
| 箱の中身を確認する ..... | 1-2  |
| 各部の名称と役割 .....  | 1-3  |
| セットアップ          | 1-8  |
| 設置の前に .....     | 1-8  |
| 接続する .....      | 1-9  |
| 初期設定            | 1-12 |

## 準備

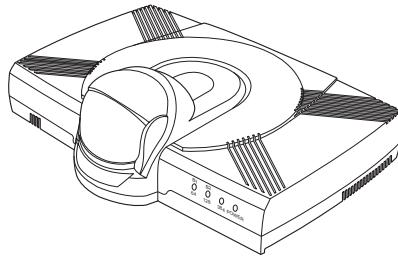
### 箱の中身を確認する ▶▶▶

MediaPoint IP をご使用になる前に、箱の中身を確認してください。

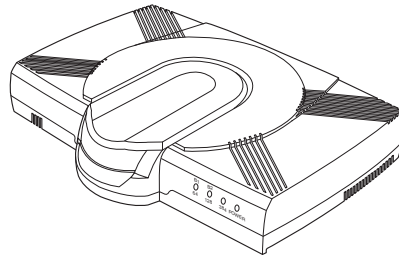
お買い上げいただいた製品の種類（MediaPoint IP TC/SV/NC モデル）により、MediaPoint IP 本体の形状および付属品が異なります。

#### MediaPoint IP

☐ MediaPoint IP 本体

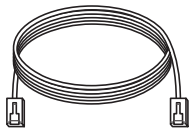


MediaPoint IP TC モデル/MediaPoint IP SV モデル

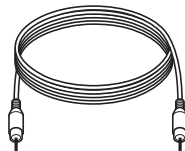


MediaPoint IP NC モデル

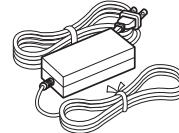
☐ 回線ケーブル  
(LAN/ISDN 兼用)



☐ ビデオケーブル



☐ AC アダプター  
(AC ケーブル付)



☐ リファレンスガイド (MediaPoint IP 編)

☐ マジックテープ

☐ 簡単操作マニュアル

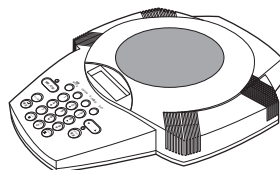
☐ 製品保証書

☐ 初期設定情報メモ

※リモコンは MediaPoint IP TC モデルのみ付属しており、Voice Unit に同梱されています。

#### Voice Unit

☐ Voice Unit 本体



☐ リモートコントローラー



☐ Voice Unit 接続ケーブル

☐ 単三電池 2 本 (リモートコントローラー用)

☐ リファレンスガイド (Voice Unit 編)

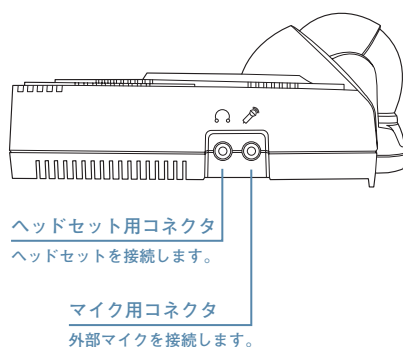
☐ 製品保証書

## 各部の名称と役割 ▶▶▶

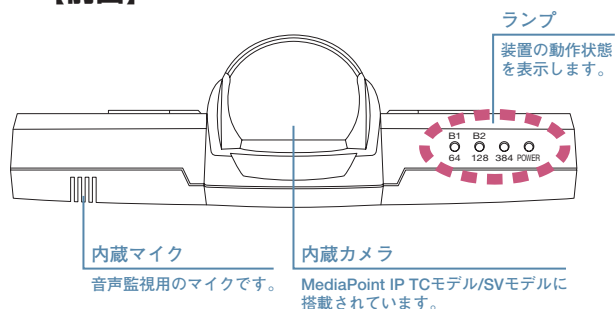
### MediaPoint IP 本体

装置のタイプ（MediaPoint IP TC/SV/NC モデル）により、外観および機能が異なります。

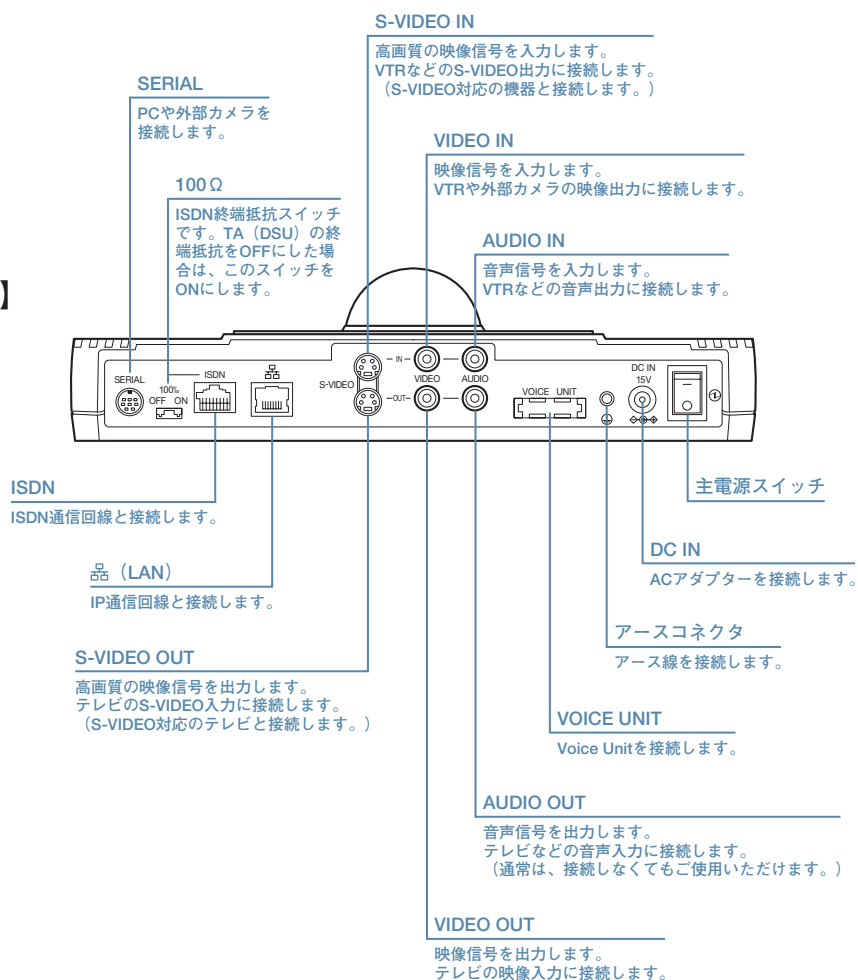
#### 【左側面】



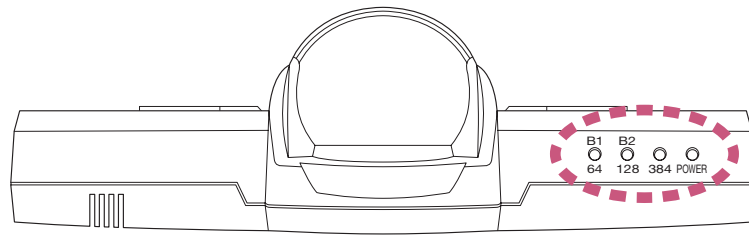
#### 【前面】



#### 【背面】



## 【ランプ表示】



### POWER ランプ

| 状態       | POWER |
|----------|-------|
| 主電源 ON   | 緑     |
| 主電源 OFF  | —     |
| スタンバイモード | 橙     |

### ISDN

### ISDN 通信の場合

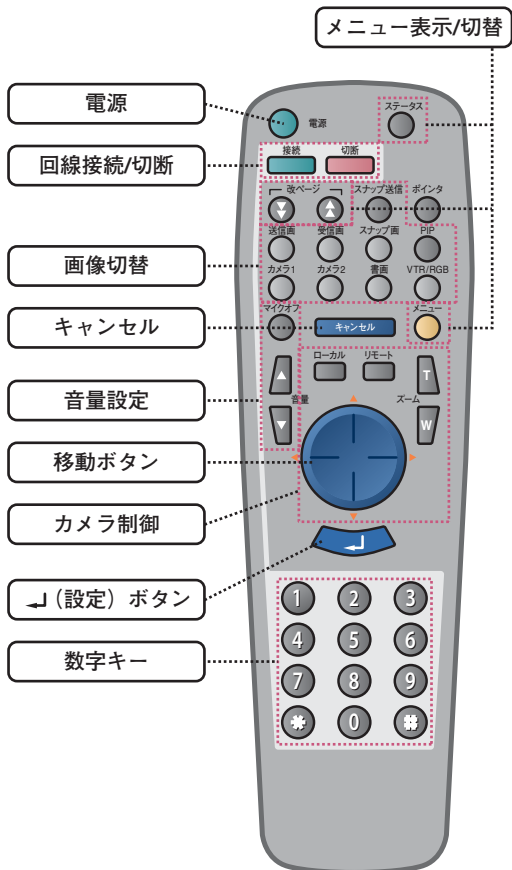
| 状態               | B1/64 | B2/128 | 384 |
|------------------|-------|--------|-----|
| 接続中（点滅）          | 緑     | 緑      | —   |
| 着信中（点滅）          | 緑     | 緑      | 緑   |
| 64kbps で通信中（点灯）  | 緑     | —      | —   |
| 128kbps で通信中（点灯） | 緑     | 緑      | —   |

### IP

### IP 通信の場合

| 状態               | B1/64 | B2/128 | 384 |
|------------------|-------|--------|-----|
| 接続中（点滅）          | 黄     | —      | —   |
| 着信中（点滅）          | 黄     | 黄      | 黄   |
| 64kbps で通信中（点灯）  | 黄     | —      | —   |
| 128kbps で通信中（点灯） | —     | 黄      | —   |
| 256kbps で通信中（点灯） | —     | 橙      | —   |
| 384kbps で通信中（点灯） | —     | —      | 黄   |
| 512kbps で通信中（点灯） | —     | —      | 橙   |

## リモートコントローラー



### 全 般

|                   |                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------|
| 電源                | スタンバイ電源のON/OFFを行います。<br>主電源のON/OFFは、本体電源スイッチで行います。    |
| キャンセル             | メニュー表示の解除などを行います。<br>文字入力時に文字削除にも使います。                |
| ↓ (設定)            | 登録・設定中に入力した項目を確定します。                                  |
| 数字キー<br>(0～9、#、*) | 電話番号やIPアドレスの入力などを行います。<br>IPアドレスの区切り (.) は「#」で入力されます。 |

### 回線接続/切断

|    |                 |
|----|-----------------|
| 接続 | 回線接続メニューを表示します。 |
| 切断 | 回線を切断します。       |

### メニュー表示/切替

|              |                                                 |
|--------------|-------------------------------------------------|
| メニュー         | メニュー画面を表示します。                                   |
| ステータス        | 通信状態を確認できます。                                    |
| 改ページ (↑/↓)   | メニュー画面や短縮ダイヤル画面など、複数の画面で構成されている画面のページの切替えを行います。 |
| 移動ボタン (△▽◀▶) | 登録・設定を行うときに、設定項目を選択します。                         |

### 画像切替

|         |                                                                                   |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 送信画     | 送信画像 (こちら側のカメラで映している画像) を表示します。                                                   |
| 受信画     | 受信画像 (相手側のカメラで映している画像) を表示します。                                                    |
| スナップ送信  | 送信画像をスナップ画 (静止画) として相手側に送信します。                                                    |
| スナップ画   | 送信したスナップ画 (静止画) を表示します。<br>送信済のスナップ画を確認することもできます。                                 |
| PIP     | PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) 表示のON/OFFを行います。<br>テレビの画面に子画面を表示し、受信画像を見ながら子画面で送信画像を確認できます。  |
| カメラ 1   | カメラ 1 の画像を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、内蔵カメラに設定されています。<br>(MediaPoint IP TC/SV モデルの場合) |
| カメラ 2   | カメラ 2 の画像を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、外部ビデオに設定されています。                                 |
| 書画      | 書画 (資料を写しているカメラやVTRの画像) を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、S-VIDEO に設定されています。               |
| VTR/RGB | VTR (ビデオ・テープ・レコーダー) の画像を送信します。<br>お買い上げいただいたときは、S-VIDEO に設定されています。                |

### カメラ制御

|            |                                                               |
|------------|---------------------------------------------------------------|
| ローカル       | こちら側のカメラを操作するときに押します。                                         |
| リモート       | 相手側のカメラを操作するときに押します。                                          |
| ズーム (T/W)  | カメラのズーム操作を行います。<br>「T」を押すと被写体が大きくなります。<br>「W」を押すと被写体が小さくなります。 |
| 移動ボタン (◀▶) | カメラのパン (左右動作) 操作を行います。                                        |
| 移動ボタン (△▽) | カメラのチルト (上下動作) 操作を行います。                                       |

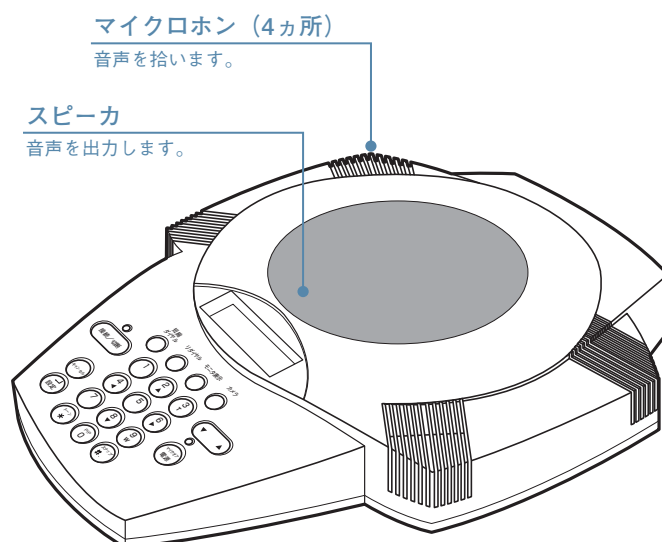
### 音量設定

|        |                                                               |
|--------|---------------------------------------------------------------|
| マイクオフ  | 相手にこちらの声を聞かれないときに、一時的にマイクをOFFにします。<br>もう一度押すと、マイクがONになります。    |
| 音量 ▲/▼ | スピーカから聞こえる音量を調節します。<br>「▲」を押すと音が大きくなります。<br>「▼」を押すと音が小さくなります。 |

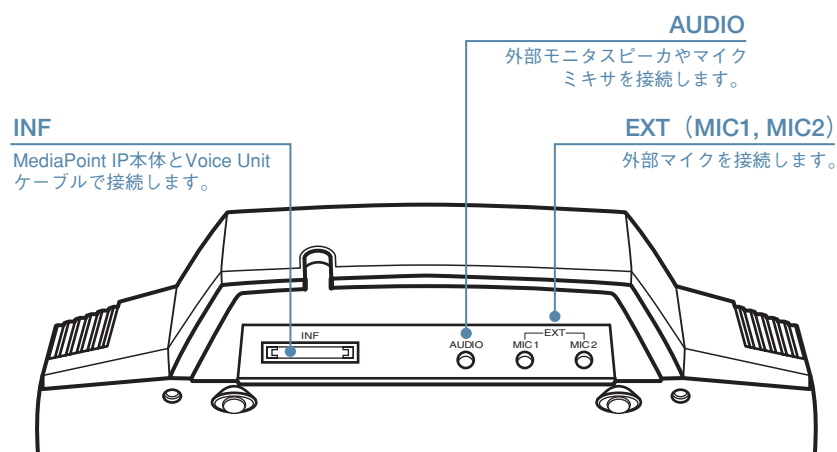
※ポインタボタンは、使用できません。

## Voice Unit

### 【本体】



### 【背面】



【操作部】



|               |                                                                                                                                                     |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源/マイクオフ      | スタンバイ電源のON/OFFを行います。<br>主電源のON/OFFは、本体電源スイッチで行います。<br>電源が入った状態で長押し（約3秒）するとOFFになります。<br>相手にこちらの声を聞かれたくないときに、一時的にマイクをOFFにします。<br>もう一度押しと、マイクがONになります。 |
| ▲/▼（音量）       | スピーカから聞こえる音量を調節します。<br>「▲」を押すと音が大きくなります。<br>「▼」を押すと音が小さくなります。<br>登録・設定中に押しと、設定項目を選択します。                                                             |
| 接続/切断         | 通信していないときに押しと直接ダイヤル画面を表示します。<br>通信中に押しと回線を切断します。                                                                                                    |
| キャンセル         | メニュー表示の解除などを行います。                                                                                                                                   |
| ↓<br>設定       | 登録・設定中に入力した項目を確定します。<br>長押し（3秒）すると設定モードになります。                                                                                                       |
| 数字キー（0～9、#、*） | 電話番号やIPアドレスの入力などを行います。<br>IPアドレスの区切り（.）は「#」で入力されます。                                                                                                 |
| 短縮ダイヤル        | 短縮ダイヤル画面を表示します。                                                                                                                                     |
| リダイヤル         | リダイヤル画面を表示します。                                                                                                                                      |
| モニタ表示         | テレビに映す画像（「送信画」「受信画」「スナップ画」）を切り替えます。                                                                                                                 |
| カメラ           | 送信する画像（「カメラ1」「カメラ2」「書画」「VTR」）を切り替えます。                                                                                                               |
| PIP           | PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）表示を行います。<br>テレビの画面に子画面を表示し、受信画像を見ながら子画面で送信画像を確認できます。                                                                             |
| スナップ          | 送信画像をスナップ画（静止画）として相手側に送信します。                                                                                                                        |
| T/W（ズーム）      | カメラのズーム操作を行います。<br>「T」を押すと被写体が大きくなります。<br>「W」を押すと被写体が小さくなります。                                                                                       |
| 移動ボタン（▲▼◀▶）   | 登録・設定中に押しと、設定項目を選択します。<br>送信画または受信画の表示中に押しと、カメラのパン（左右動作）操作およびチルト（上下動作）操作を行います。                                                                      |
| トーン           | 通信中に「トーン」を押してから数字キーを操作すると、トーン信号（プッシュボタン信号）を送出します。<br>数字キー以外のボタンを押すと、元に戻ります。                                                                         |

# セットアップ

## 設置の前に ▶▶▶

### 1. 使用する回線と機器を確認します。

MediaPoint IPをご利用いただくには、ISDN回線またはIP通信のできる回線（企業内IPネットワーク・FTTH・ADSL・ケーブルテレビ等）が必要です。設置の前に、回線が使用できる状態になっていることを確認してください。また、ターミナルアダプタ（TA）やADSLモデムなどの電源が入っていることを確認してください。TAやADSLモデムなどのご使用方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

### 2. MediaPoint IP（カメラ）の設置場所を決めます。

見やすくきれいな画像を送るために、以下の点に注意してMediaPoint IP（カメラ）の設置場所を決めてください。

- ・背景には物を置かず、動きの少ない場所で

背景に濃淡があったり、後ろで人が歩き回ったりすると、画像が見にくくなります。  
背景色は明るめの単色で統一すると画像が見やすくなります。

- ・被写体が明るくなるように

被写体が暗いところにいたり、逆光になったりすると画像が見にくくなります。  
ライトを当てるなど、被写体に光が当たるようにすると、きれいに映ります。

### 3. Voice Unitの設置場所を決めます。（テレビ会議の場合）

聞きやすい音声を送るために、以下の点に注意してVoice Unitの設置場所を決めてください。

- ・振動の少ない場所へ

会議机が振動するとノイズの原因となります。  
机の端を避け、揺れにくい場所に設置してください。  
また、机やVoice Unitを叩いたりしないようにしてください。

- ・マイクに近づきすぎない

Voice Unitは、すべての方向から声を拾うための高感度マイクを4ヵ所備えています。通常の会議のように普通にお話してください。  
マイクから口元まで、50cm～1m程度の距離でお話してください。マイクに近づきすぎると音割れやノイズの原因となります。

## 接続する ▶▶▶

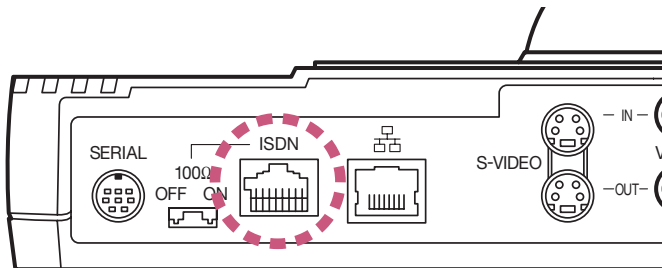
①～⑤の手順で回線ケーブル、電源、周辺機器などの接続を行います。



**注意：**Voice Unit 接続ケーブルの抜き差しは、必ず MediaPoint IP 本体の主電源スイッチを切った状態で行ってください。電源が入った状態で抜き差しすると、故障の原因になります。

### ① 回線ケーブルをつなぎます。

**ISDN** ISDN 通信回線を使用する場合



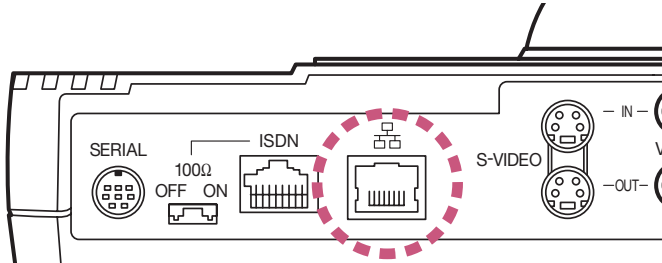
- ① 「ISDN」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
- ② 反対側をTA (DSU) の「S/T」に差し込みます。

「S/T」は、接続する機器により「ISDN 接続ポート」「S/T ラインコネクタ」「ISDN S/T 点」等と表示されていることがあります。

▽終端抵抗スイッチ (100 Ω)

TA (DSU) の終端抵抗を OFF にした場合は、MediaPoint IP の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

**IP** IP 通信回線を使用する場合

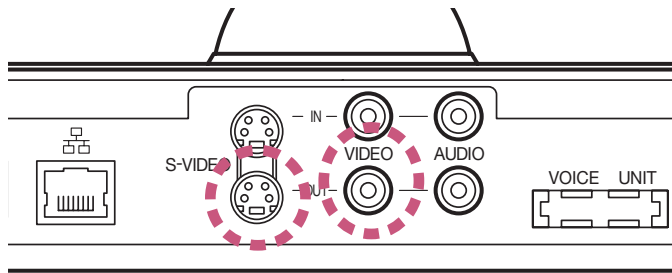


- ① 「品」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
- ② 反対側を ADSL モデム、ケーブルモデム等の「LAN」に差し込みます。

「LAN」は、接続する機器により「Ether」「イーサポート」「LAN ポート」等と表示されていることがあります。

※「SERIAL」は PC や外部カメラを接続するときに使用します。

## 2 ビデオケーブルをつなぎます。



- 1 「OUT」側の「VIDEO」にビデオケーブルを差し込みます。
- 2 反対側をテレビ外部入力の「VIDEO」に差し込みます。

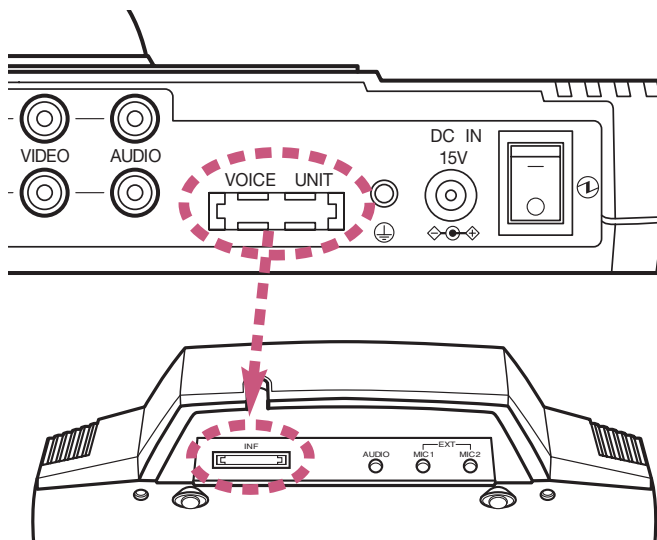
「S-VIDEO」を使用すると、より高画質な映像を表示することができます。接続するテレビに「S-VIDEO」が付いている必要があります。S-VIDEO ケーブルは別にお買い求めください。テレビの「VIDEO」および「S-VIDEO」は、テレビにより「外部入力」「VIDEO IN」「ビデオ入力」「映像入力」等と表示されていることがあります。

映像を表示するには、テレビ側のケーブルを差し込んだ端子とテレビのチャンネルまたは入力切替を合わせる必要があります。

例：「ビデオ2-映像」につないだ場合はテレビの入力切替を「ビデオ2」に合わせます。

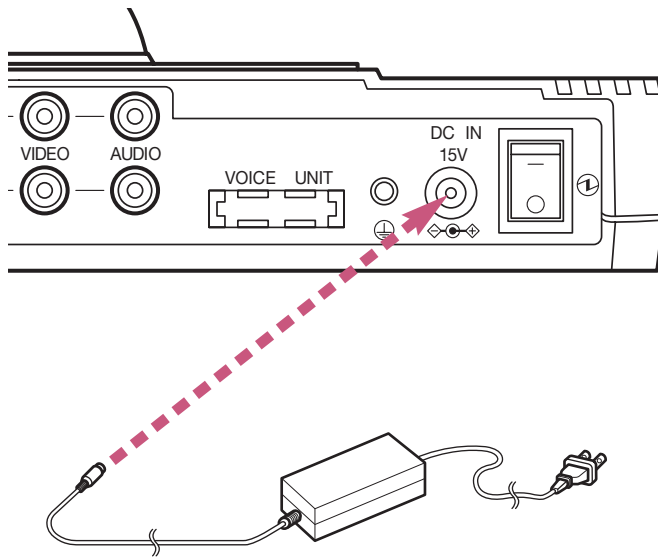
通常、「AUDIO」には、ケーブルをつなぐ必要はありません。

## 3 Voice Unitをつなぎます。※ MediaPoint IP TCモデルのみ



- 1 「Voice Unit」にVoice Unit 接続ケーブルを差し込みます。
- 2 反対側をVoice Unitの「INF」に差し込みます。

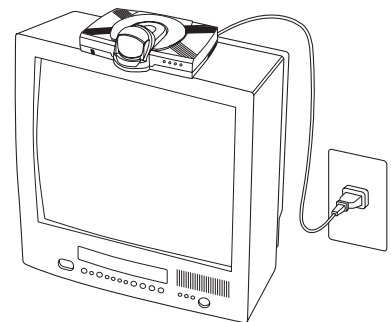
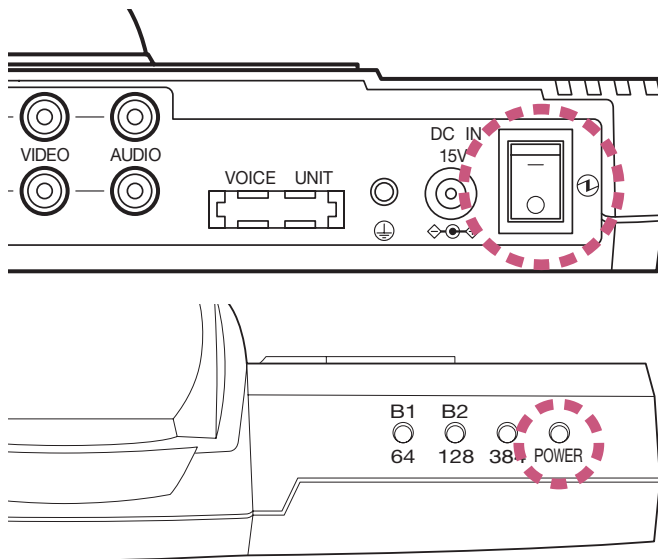
#### 4 ACアダプターをつなぎます。



- ① ACアダプターケーブルをACアダプターに差し込みます。
- ② 本体背面の「DC IN」にACアダプターを差し込みます。
- ③ ACアダプターケーブルをコンセントに差し込みます。

#### 5 電源を入れて接続を確認します。

主電源スイッチをONにすると前面のPOWERランプが緑色に点灯し、本体スピーカから起動音が鳴ります。テレビの電源を入れ、チャンネルまたは入力切替を合わせると、初期設定画面が表示されます。



画面に何も映らない場合は次のことを確認してください。

- ・テレビのチャンネルまたは入力切替が合っているか。
- ・ビデオケーブルの接続がゆるくなっていないか。
- ・接続が間違っていないか。

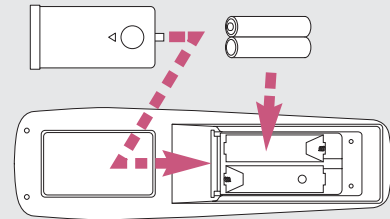
## 初期設定

本装置をご利用になる前に必要な設定を行います。  
初期設定を行う前に、回線ケーブルや電源ケーブル等の接続を行ってください。

▶ 「接続する」1-9 ページ

MediaPoint IP の操作は、リモコンで行います。設定を行う前にリモコンに電池が入っていることを確認してください。

初期設定を行う前に初期設定情報メモを記入しておくとう間違いを防げます。



初期設定画面は、お買い上げいただいた後、最初の1回のみ表示されます。一度設定すると以降は表示されませんので、変更する場合は「環境設定」—「初期登録情報」で変更してください。

※各項目の初期値は「出荷時設定情報」—「設定項目の初期値」を参照してください。

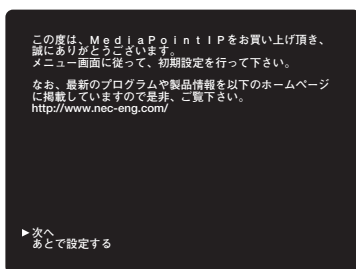
▶ 「設定項目の初期値」5-8 ページ

### 1 主電源スイッチを ON にします。



セットアップ画面が表示されます。  
セットアップが終わるまで、しばらくお待ちください。

### 2 メニュー画面を表示します。

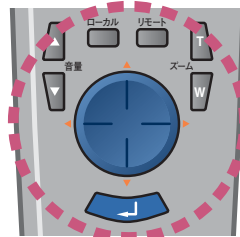
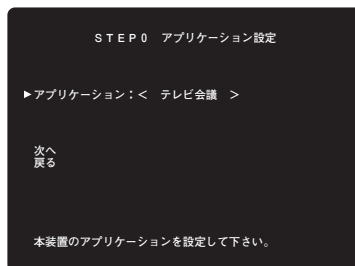


1 「次へ」を選び、[  ] ボタンを押します。

### 3 アプリケーションを設定します。

本機の使用方法を設定します。アプリケーションの設定によりSTEP1以降の設定情報がアプリケーションに応じた内容に初期化されます。

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| テレビ会議   | テレビ会議システムとして使用する場合に選択します。            |
| 監視（送信側） | ビデオ監視システムの送信側（カメラ側）として使用する場合に選択します。  |
| 監視（受信側） | ビデオ監視システムの受信側（モニター側）として使用する場合に選択します。 |



- 1 「移動」ボタンで「テレビ会議」、「監視（送信側）」、「監視（受信側）」のいずれかを設定します。
- 2 「次へ」を選び、[  ] ボタンを押します。

初期設定を一度行った後に、アプリケーションの設定から再度やり直したい場合は、「環境設定」－「メンテナンス」－「登録データ消去」－「出荷時設定」を行なってください。

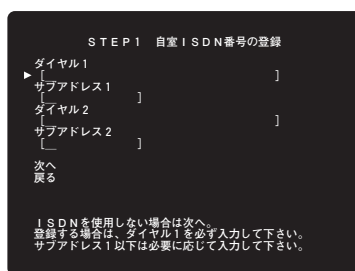
▶ 「メンテナンス」3-44 ページ

### ISDN

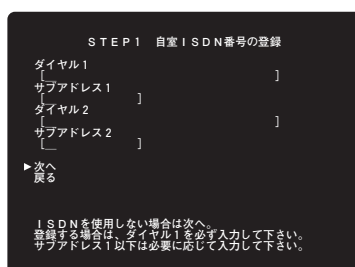
### 4 自室ISDN番号を登録します。

使用するISDN回線の電話番号を登録します。  
IP通信回線のみでご使用になる場合は、「次へ」を選んで手順 5 に進んでください。

|         |                                                    |
|---------|----------------------------------------------------|
| ダイヤル1   | 本機を接続するISDN回線の電話番号を登録します。                          |
| サブアドレス1 | 同じ回線に複数の通信機器を接続している場合などに使用します。                     |
| ダイヤル2   | ISDN通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTTのINS64では使用しません。 |
| サブアドレス2 | ISDN通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTTのINS64では使用しません。 |



- 1 「ダイヤル1」を選びます。
- 2 数字キーで接続する回線のISDN番号を入力します。



- 3 「次へ」を選び、[  ] ボタンを押します。

「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。  
修正するときは修正する文字を[キャンセル]ボタンで削除してから入れ直します。

IP

## 5 IPネットワークを設定します。

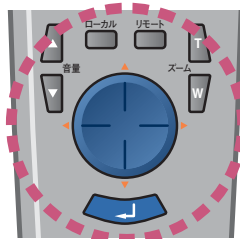
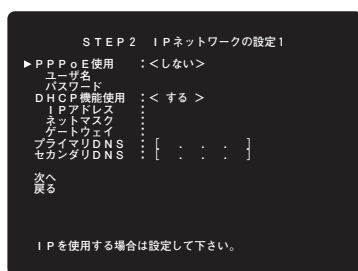
IP通信に関する設定をします。

ご利用になるIPネットワークにより設定する項目が異なります。

詳細は、お使いになるネットワークのシステム管理者にご確認ください。

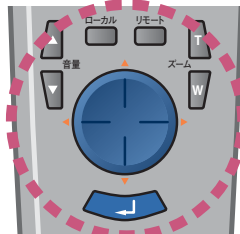
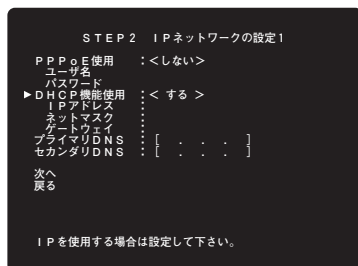
ISDN通信回線のみでご利用になる場合は、「次へ」を選んで手順 6 に進んでください。

|                      |                                                                                                                                                               |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PPPoE使用              | ご利用になるインターネットプロバイダがPPPoEを使用する場合は「する」を選びます。「する」を選んだ場合は、「ユーザ名」、「パスワード」を設定します。                                                                                   |
| DHCP機能使用             | DHCP機能を使用しない場合は「しない」を選びます。「しない」を選んだ場合は、「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定します。                                                                                      |
| プライマリDNS<br>セカンダリDNS | DNSサーバを使用している場合にDNSサーバのアドレスを設定します。ADSLやFTTHでPPPoEまたはDHCP機能を使用する場合は、自動的に取得されるので設定する必要はありません。                                                                   |
| ゲートキーパー              | ゲートキーパーを使用する場合は、「使用する」を選びます。「使用する」を選んだ場合は、「IPアドレスまたはURL名」、「自室IP電話番号」を設定します。                                                                                   |
| エコーサーバー              | エコーサーバーを使用する場合は、「使用する」を選びます。「使用する」を選んだ場合は、「IPアドレスまたはURL名」を設定します。                                                                                              |
| 通信時解決                | 端末間でアドレス解決を行う場合は「する」を設定します。                                                                                                                                   |
| NAPT (IP マスカレード) 対応  | UPnP (Universal Plug and Play) に対応しているルーターに接続する場合は「使う」を選びます。通常は変更しないでお使いください。                                                                                 |
| TOS フィールド            | IP通信を行う際の処理の優先度を設定します。通常は変更しないでお使いください。                                                                                                                       |
| 通信形態                 | 通信相手を特定しない場合は「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」のいずれかを選びます。ビデオ監視システムの場合は送信側で「ダイヤル送信」を、受信側で「ダイヤル受信」を選びます。特定の相手とだけ通信する場合は、「固定送受マスタ」、「固定送受スレーブ」、「固定送信」、「固定受信」のいずれかを選びます。 |



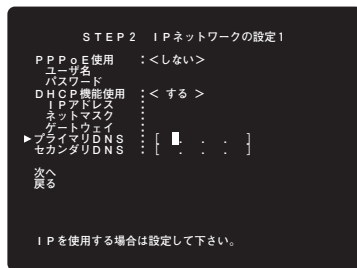
1 「PPPoE使用」を選び、「する」、「しない」を設定します。

「する」にした場合は、「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

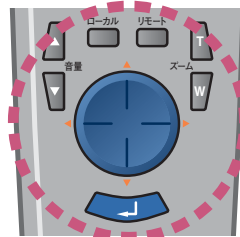
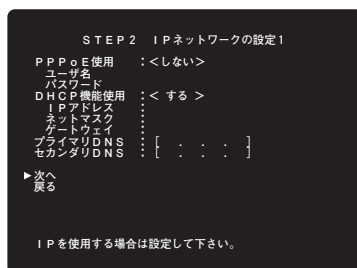


2 「DHCP機能使用」を選び、「する」、「しない」を設定します。

「しない」にした場合は、「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を入力します。



- 3 必要に応じ、「プライマリ DNS」と「セカンダリ DNS」を選び、DNSサーバのアドレスを入力します。



- 4 「次へ」を選び、[  ] ボタンを押します。

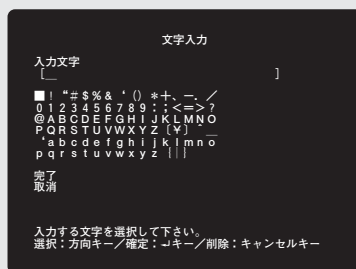
「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。

## アドバイス

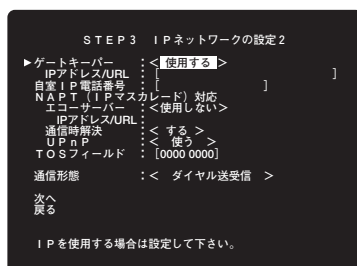
フレッツ ADSL、B フレッツの ADSL モデム、回線終端装置に直接接続する場合は、PPPoE 使用を「する」に設定してください。ブロードバンドルータが接続される場合は、PPPoE 使用を「しない」に設定して、DHCP 機能使用を「する」に設定してください。

企業内 IP ネットワークで、IP アドレスが決まっている場合は、PPPoE 使用を「しない」、DHCP 機能使用を「しない」に設定して、「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNS」を設定してください。

## 文字の入力

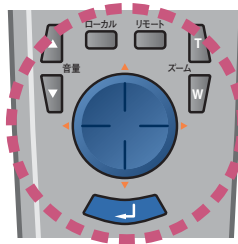
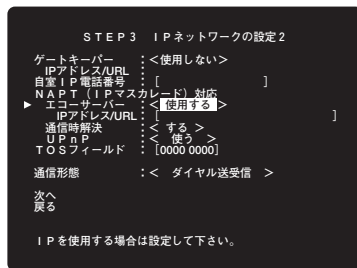


「ユーザ名」、「パスワード」を選ぶと、文字入力の画面が表示されます。[移動] ボタンで文字を選び、[  ] ボタンで決定します。全ての文字を入力したら、カーソルを「完了」に合わせて [  ] ボタンを押します。修正するときは修正する文字を [キャンセル] ボタンで削除してから入れ直します。



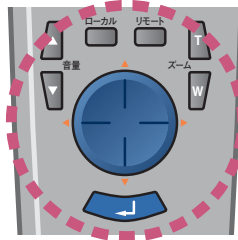
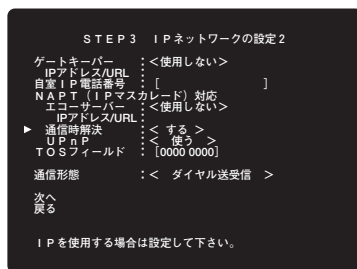
- 5 「ゲートキーパー」を選び、「使用する」、「使用しない」を設定します。

「使用する」を選択した場合は、使用するゲートキーパーの「IP アドレスまたは URL 名」、ゲートキーパーに登録する「自室 IP 電話番号」を設定します。なお、ゲートキーパーを使用して「IP 電話番号」でダイヤルする場合は、IP 電話番号の前に「#」を入力してください。

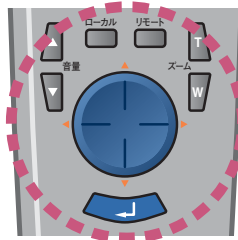
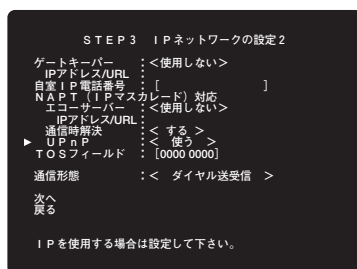


- 6 「エコーサーバー」を選び、「使用する」、「使用しない」を設定します。

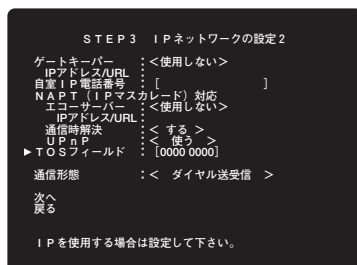
「使用する」を選択した場合は、使用するエコーサーバーの「IP アドレスまたは URL 名」を設定します。  
初期値は弊社エコーサーバー  
(echosv.mmsolution.nec-eng.co.jp) に設定されています。



- 7 「通信時解決」を選び、「する」、「しない」を設定します。

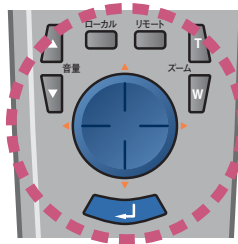
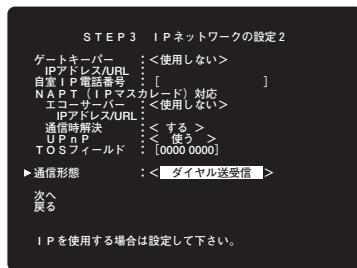


- 8 「UPnP」を選び、「使う」、「使わない」を設定します。



- 9 「TOS フィールド」を選び、TOS フィールド値を入力します。

TOS フィールドを設定しない場合は、「0000 0000」のままお使いください。



- 10 「通信形態」を選び、「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」、「固定送受マスタ」、「固定送受スレーブ」、「固定送信」、「固定受信」のいずれかを設定します。

「ダイヤル送受信」

相手先をダイヤル操作で指定して、送信および受信を行うときに設定します。

「ダイヤル送信」

相手先をダイヤル操作で指定して、画像送信のみを行います。

「ダイヤル受信」

相手先をダイヤル操作で指定して、画像受信のみを行います。

「固定送受マスタ」

特定の相手先と常時接続する場合（固定通信）に、一方をマスタに設定します。

「固定送受スレーブ」

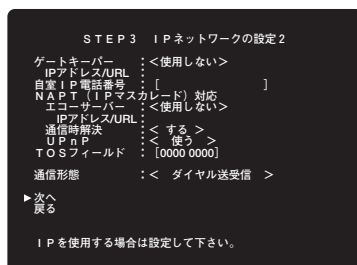
特定の相手先と常時接続する場合（固定通信）に、一方をスレーブに設定します。

「固定送信」

特定の相手先と常時接続する場合に設定します。送信側では画像送信のみを行います。

「固定受信」

特定の相手先と常時接続する場合に設定します。受信側では画像受信のみを行います。



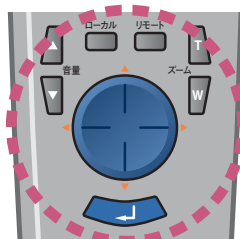
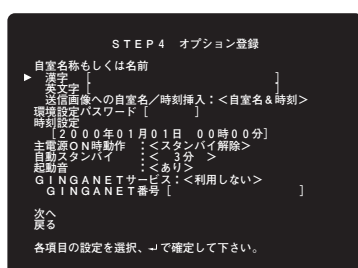
- 11 「次へ」を選び、[ ] ボタンを押します。

「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。

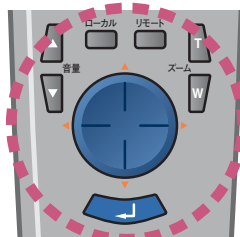
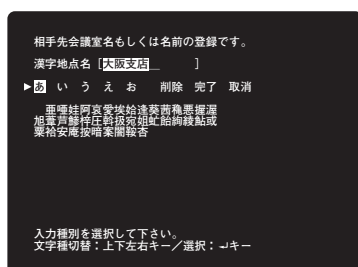
## 6 オプション情報を設定します。

オプション情報は、お買い上げいただいた状態のままご利用いただけます。必要に応じて設定してください。

|                |                                                                                                                                |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自室名称もしくは名前     | 相手先に表示される自室の名前を登録します。<br>「漢字」と「英文字」の2種類の名前を登録できます。<br>自室名称または名前は通信時に相手先に表示されるので、テレビ会議で使用する場合は登録してお使いください。                      |
| 送信画像への自室名／時刻挿入 | 相手先に送信する画像に自室名および時刻を表示するかを設定します。                                                                                               |
| 環境設定パスワード      | 無断で環境設定を変更できないように、パスワードで制限することができます。<br>パスワードが未登録の場合は、パスワードによる制限を行いません。                                                        |
| 時刻設定           | テレビ会議やビデオ監視中にテレビに表示する時刻を設定します。                                                                                                 |
| 主電源ON時動作       | 主電源スイッチをONにしたときにスタンバイモードにするかどうかを設定します。                                                                                         |
| 自動スタンバイ        | 自動スタンバイを「行う」、「行わない」を設定します。<br>また、自動スタンバイを行う場合は、スタンバイモードにするまでの時間を設定します。<br>自動スタンバイを設定すると、非通信状態で設定した時間操作を行わないと自動的にスタンバイモードになります。 |
| 起動音            | MediaPoint IP 起動時（電源ONまたはスタンバイ解除時）に起動音を鳴らすかどうかを設定します。                                                                          |
| GINGANET サービス  | GINGANET サービスを「利用する」、「利用しない」を設定します。<br>「利用する」を選んだ場合は、「GINGANET 番号」を登録します。<br>GINGANET サービスについての詳細は、株式会社ギンガネットにお問い合わせください。      |

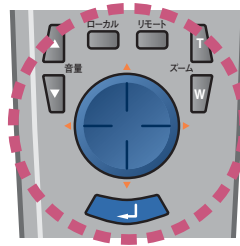
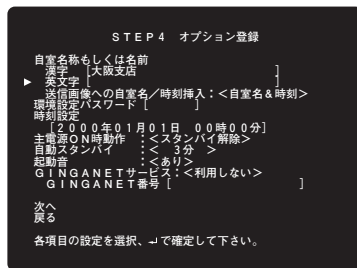


- 1 「漢字」を選び、[移動] ボタンを押します。

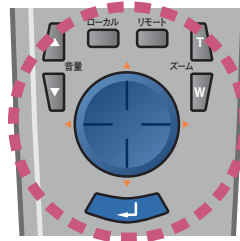
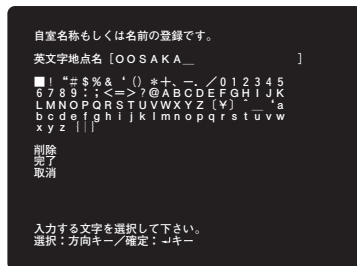


- 2 [移動] ボタンで文字種を選びます。
- 3 表示されている文字リストの中から入力する文字を選び、[移動] ボタンを押します。
- 4 2 3 を繰り返して全ての文字を入力したら「完了」を選び、[移動] ボタンを押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせて [移動] ボタンを押し、修正する文字を削除してから入れ直します。「取消」を選び [移動] ボタンを押すと、「オプション登録」画面に戻ります。



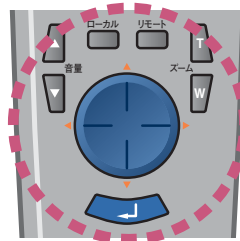
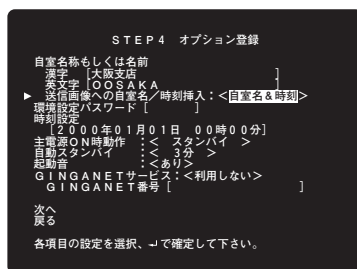
- 5 「英文字」を選び、[送信画像への自室名/時刻挿入] ボタンを押します。



- 6 表示されている文字リストの中から入力する文字を選び、[送信画像への自室名/時刻挿入] ボタンを押します。

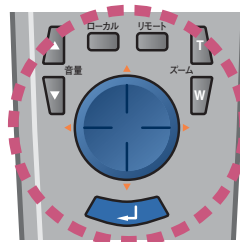
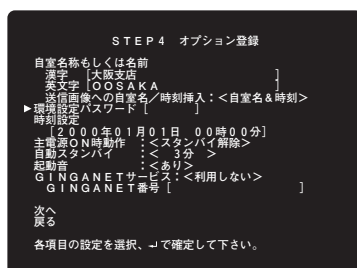
- 7 全ての文字を入力したら「完了」を選び、[送信画像への自室名/時刻挿入] ボタンを押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせて [送信画像への自室名/時刻挿入] ボタンを押し、修正する文字を削除してから入れ直します。「取消」を選び [送信画像への自室名/時刻挿入] ボタンを押すと、「オプション登録」画面に戻ります。

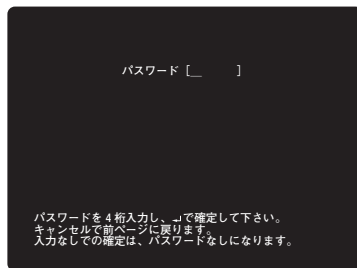


- 8 「送信画像への自室名/時刻挿入」を選び、「なし」、「自室名のみ」、「時刻のみ」、「自室名&時刻」のいずれかを設定します。

「なし」  
自室名、時刻のいずれも表示しません。  
「自室名のみ」  
自室名のみ表示します。  
「時刻のみ」  
時刻のみ表示します。  
「自室名&時刻」  
自室名と時刻の両方を表示します。



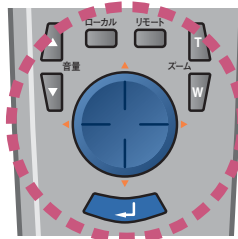
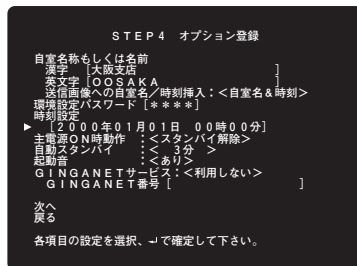
- 9 「環境設定パスワード」を選び、[送信画像への自室名/時刻挿入] ボタンを押します。



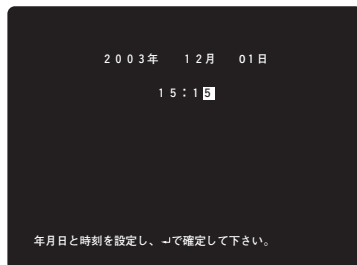
- 10 数字キーでパスワード（4桁）入力し、[ ] ボタンを押します。



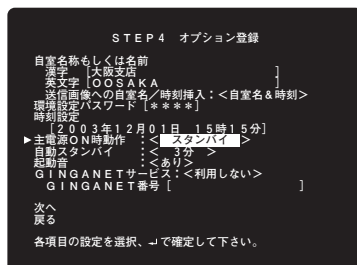
設定したパスワードを忘れると環境設定ができなくなりますのでご注意ください。  
パスワードの解除を行うには工場へ返却する必要があります。（有償）



- 11 「時刻設定」を選び、[ ] ボタンを押します。



- 12 数字キーで年月日と時刻を入力し、[ ] ボタンを押します。



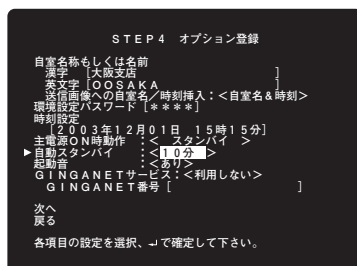
- 13 「主電源ON時動作」を選び、「スタンバイ解除」、「スタンバイ」を設定します。

「スタンバイ解除」

主電源スイッチをONにすると、スタンバイモードが解除され、すぐにお使いいただける状態になります。

「スタンバイ」

主電源スイッチをONにすると、スタンバイモードになります。



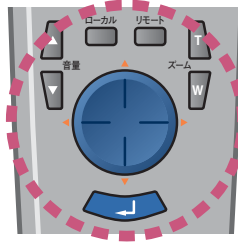
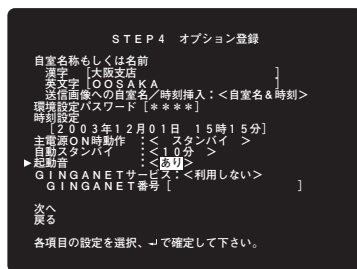
- 14 「自動スタンバイ」を選び、自動スタンバイに関する設定をします。

「行わない」

自動スタンバイを行いません。

「1分」～「10分」

自動スタンバイを行うまでの時間を設定します。



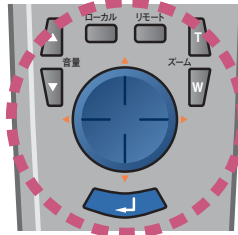
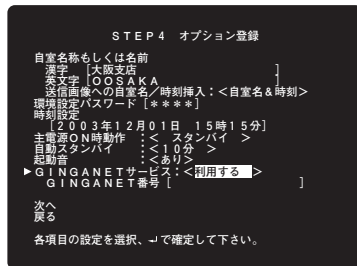
- 15 「起動音」を選び、「あり」、「なし」を設定します。

「あり」

MediaPoint IP 起動時に起動音が鳴ります。

「なし」

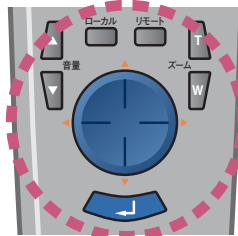
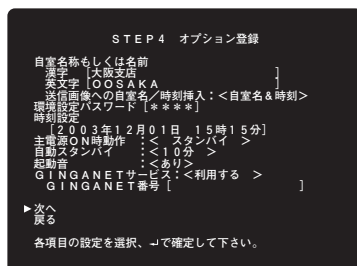
MediaPoint IP 起動時に起動音が鳴りません。



- 16 「GINGANETサービスの利用」を選び、GINGANETサービスを「利用する」、「利用しない」を設定します。

「利用する」にした場合は、

「GINGANET番号」を入力します。



- 17 「次へ」を選び、[ ] ボタンを押します。

「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。

## 7 初期設定を完了します。



1 [ ] ボタンを押します。

再起動されます。



2 初期設定が完了しました。



ISDN 番号および IP アドレスを設定または取得した場合は、自室 ISDN 番号、自室 IP アドレス G（グローバル）、自室 IP アドレス P（プライベート）が表示されます。



リモコンの操作 2-2

|                                |      |
|--------------------------------|------|
| 直接ダイヤル .....                   | 2-2  |
| 短縮ダイヤル .....                   | 2-5  |
| リダイヤル .....                    | 2-7  |
| 回線の切断 .....                    | 2-9  |
| 音量の調節 .....                    | 2-10 |
| 相手先に声が聞こえないようにする（マイクオフ） .....  | 2-10 |
| こちら側の画像を見る（送信画） .....          | 2-10 |
| 相手側の画像を見る（受信画） .....           | 2-11 |
| 子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー） ..... | 2-11 |

Voice Unit のキーパッド操作 2-12

|                                |      |
|--------------------------------|------|
| 直接ダイヤル .....                   | 2-12 |
| 短縮ダイヤル .....                   | 2-14 |
| リダイヤル .....                    | 2-15 |
| 回線の切断 .....                    | 2-16 |
| 音量の調節 .....                    | 2-17 |
| 相手先に声が聞こえないようにする（マイクオフ） .....  | 2-17 |
| 画像を切り替える（モニタ表示） .....          | 2-17 |
| 子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー） ..... | 2-18 |

# リモコンの操作

リモコンを使った基本的な操作方法を説明します。

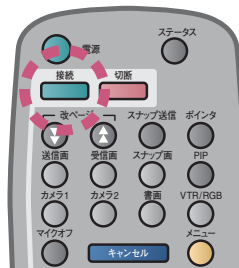
## 直接ダイヤル ▶▶▶

相手先の ISDN 電話番号または IP アドレスを直接入力して相手先を呼び出します。

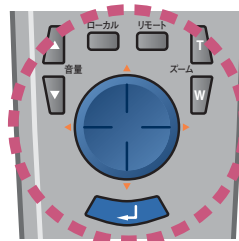
「環境設定」－「通信関連設定」－「発信禁止条件」が「直接ダイヤル禁止」または「短縮ダイヤルのみ可」に設定されている場合、および「環境設定」－「初期登録情報」－「通信形態」が「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」以外に設定されている場合は、「直接ダイヤル」を選択できません。

### 1 「接続」 ボタンを押し、「回線接続メニュー」を表示します。

装置起動時は、最初に「回線接続メニュー」が表示されます。



### 2 「直接ダイヤル」を選択します。



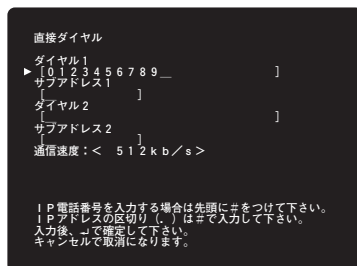
#### 1 「直接ダイヤル」アイコンを選び、[直接ダイヤル] ボタンを押します。

ISDN 番号および IP アドレスを設定または取得した場合は、自室 ISDN 番号、自室 IP アドレス G (グローバル)、自室 IP アドレス P (プライベート) が表示されます。

### 3 相手先の番号を入力します。

相手先の電話番号またはIPアドレスを入力し、通信速度を設定します。  
入力された番号により、自動的に「ISDN通信」または「IP通信」が切り替わります。

|         |                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------|
| ダイヤル1   | 相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを入力します。                           |
| サブアドレス1 | 同じ回線に複数の通信機器を接続している場合などに使用します。<br>通常は設定しなくてもお使いいただけます。 |
| ダイヤル2   | ISDN通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTTのINS64では使用しません。     |
| サブアドレス2 | ISDN通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTTのINS64では使用しません。     |
| 通信速度    | ご利用の回線に合わせ、通信速度を設定します。                                 |



#### 1 数字キーで相手先の電話番号またはIPアドレスを入力します。

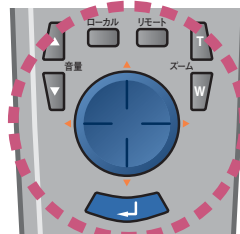
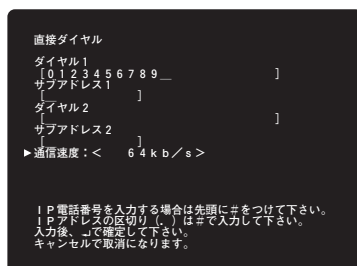
ISDN通信の場合は、相手先の電話番号を入力します。

IP通信の場合は、相手先のIPアドレスを入力します。

ゲートキーパーを使用する場合は、[#]を押した後に相手先のIP電話番号（エイリアス）を入力してください。

IPアドレスの区切り（.）を入力するときは、[#]を押します。

修正するときは修正する文字を[キャンセル]ボタンで削除してから入れ直します。



#### 2 「通信速度」を選び、通信速度を設定します。

ISDNの場合：

「64kb/s」「2×64kb/s」「TEL」から選択します。

一般の電話と接続する場合は、「TEL」を選択します。

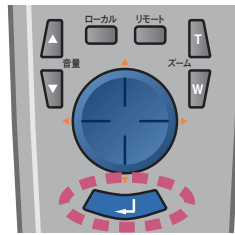
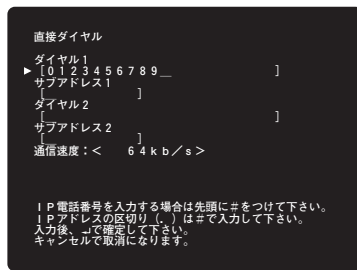
IPの場合：

「64kb/s」「128kb/s」「256kb/s」「384kb/s」「512kb/s」「TEL」から選択します。

通信速度は「環境設定」→「通信関連設定」→「ISDN最大通信速度」および「IP最大通信速度」で設定した範囲で選択できます。

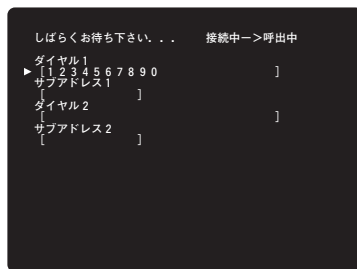
▶ 「通信関連設定」3-40 ページ

## 4 回線に接続します。



- 1 相手の電話番号またはIPアドレスを確認し、[  ] ボタンを押します。

[接続] ボタンを押した場合も回線に接続します。



相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

- ▶ 「切断理由コード一覧」 4-4 ページ

## 5 回線がつながると、相手の画像が映ります。

## 短縮ダイヤル ▶▶▶

よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で相手先と接続できます。

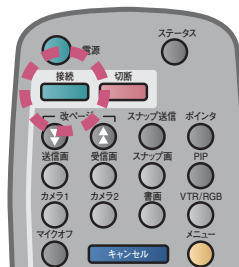
あらかじめ相手先の ISDN 電話番号または IP アドレスを登録しておきます。

▶ 「短縮ダイヤル登録」 3-22 ページ

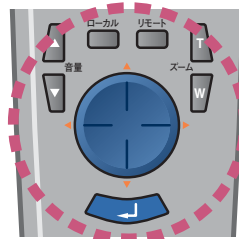
「環境設定」－「初期登録情報」－「通信形態」が「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」以外に設定されている場合は、「短縮ダイヤル」を選択できません。

### 1 「接続」 ボタンを押し、「回線接続メニュー」を表示します。

装置起動時は、最初に「回線接続メニュー」が表示されます。



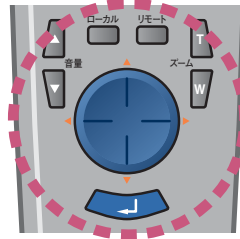
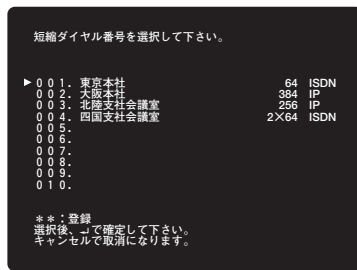
### 2 「短縮ダイヤル」を選択します。



1 「短縮ダイヤル」アイコンを選び、  
[  ] ボタンを押します。

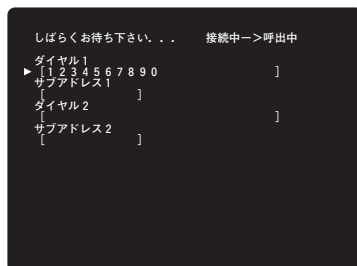
ISDN 番号および IP アドレスを設定または取得した場合は、自室 ISDN 番号、自室 IP アドレス G (グローバル)、自室 IP アドレス P (プライベート) が表示されます。

### 3 相手先を選択し、回線に接続します。



- 1 相手先の短縮番号を選び、  
[  ] ボタンを押します。

[移動] ボタンまたは [改ページ] ボタンで相手先を検索します。  
未登録の番号を選び [ \* ] を2回押すと、新たに短縮ダイヤルを登録できます。



相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

- ▶ 「切断理由コード一覧」 4-4 ページ

### 4 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

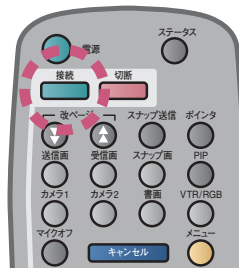
## リダイヤル ▶▶▶

前に接続した相手先と簡単な操作で接続できます。

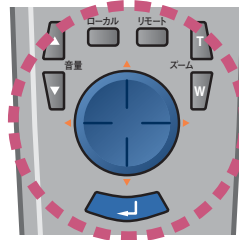
「環境設定」－「初期登録情報」－「通信形態」が「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」以外に設定されている場合は、「リダイヤル」を選択できません。

### 1 【接続】 ボタンを押し、「回線接続メニュー」を表示します。

装置起動時は、最初に「回線接続メニュー」が表示されます。



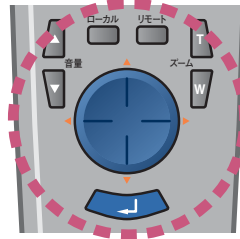
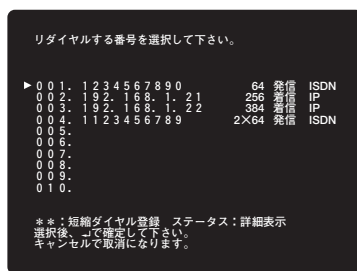
### 2 「リダイヤル」を選択します。



#### 1 「リダイヤル」アイコンを選び、[ ] ボタンを押します。

ISDN 番号および IP アドレスを設定または取得した場合は、自室 ISDN 番号、自室 IP アドレス G (グローバル)、自室 IP アドレス P (プライベート) が表示されます。

### 3 相手先を選択し、回線に接続します。



- 1 相手先を選び、[ ] ボタンを押します。

[移動] ボタンまたは [改ページ] ボタンで相手先を検索します。

[\*] を2回押すと「短縮ダイヤル番号登録」画面が表示され、選択されているリダイヤル情報を短縮ダイヤルに登録できます。

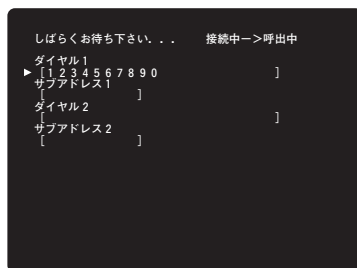
- ▶ 「短縮ダイヤル登録」 3-22 ページ

[ステータス] ボタンを押すと、選択されているリダイヤルの地点名、電話番号、通信速度などの詳細情報が表示されます。

MediaPoint IP 同士の通信で相手先が自室名称を登録している場合は、リダイヤルに相手先地点名が表示されます。

相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

- ▶ 「切断理由コード一覧」 4-4 ページ

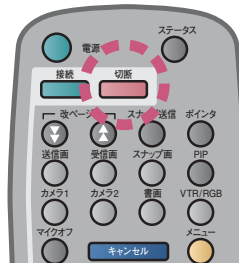


### 4 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

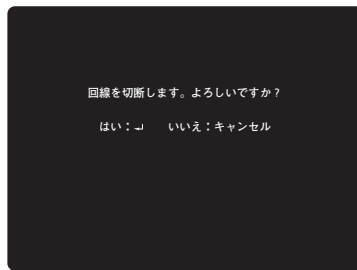
## 回線の切断 ▶▶▶

会議が終わったら、回線を切断します。

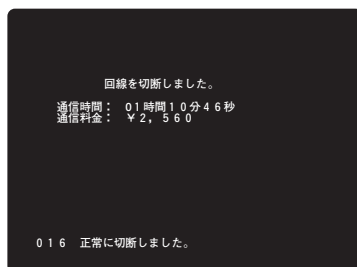
- 1 【切断】 ボタンを押し、「回線切断」画面を表示します。



- 2 回線を切断します。



- 1 [ ㊼ ] ボタンを押します。



- 2 回線を切断しました。

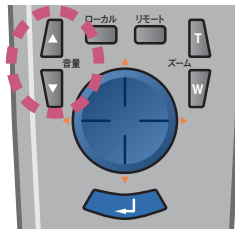
通信料金はINS64の場合に表示されます。

IP通信の場合は、通信料金は算出されません（常に「¥0」と表示されます）。  
[キャンセル] ボタンを押すと、「回線接続メニュー」が表示されます。

## 音量の調節 ▶▶▶

スピーカから聞こえる音量を調節します。

【音量】 ボタンを押し、音量を調節します。



〔△〕 ボタンを押すと音が大きくなります。

〔▽〕 ボタンを押すと音が小さくなります。

## 相手先に声が聞こえないようにする（マイクオフ） ▶▶▶

相手にこちらの声を聞かれないときに、一時的にマイクをオフにします。

【マイクオフ】 ボタンを押し、マイクをOFFにします。



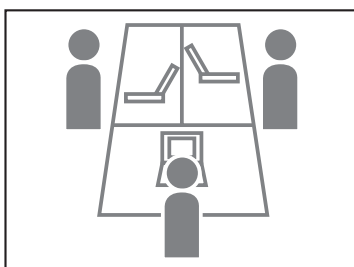
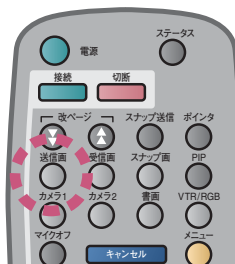
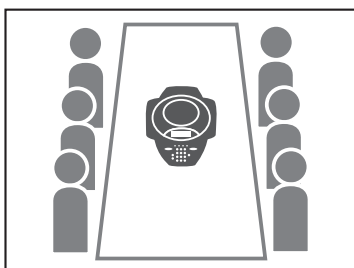
【マイクオフ】 ボタンを押すとマイクがOFFになります。

もう一度【マイクオフ】 ボタンを押すとマイクがONになります。

## こちら側の画像を見る（送信画） ▶▶▶

こちら側から送っている画像（送信画）を確認できます。

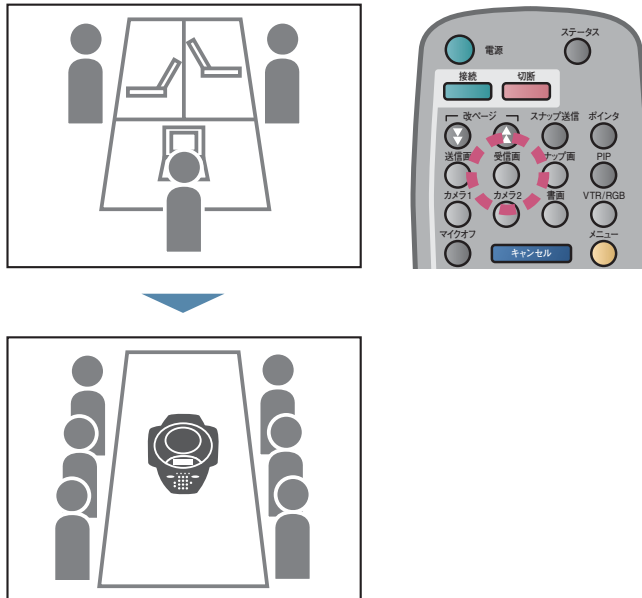
【送信画】 ボタンを押し、送信画（こちら側の画像）を表示します。



## 相手側の画像を見る（受信画）▶▶▶

送信画やスナップ画の表示中に、もう一度もとの画像（相手側の画像）を表示します。

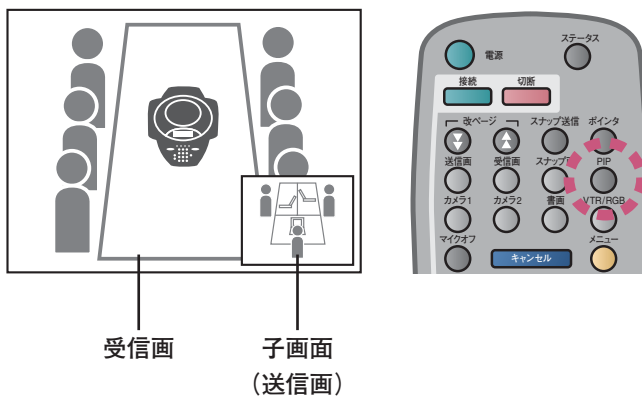
【受信画】 ボタンを押し、受信画（相手側の画像）を表示します。



## 子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー）▶▶▶

テレビの画面に子画面を表示し、受信画像を見ながら子画面で送信画像を確認できます。

【PIP】 ボタンを押し、子画面を表示します。



【PIP】 ボタンを押すと子画面を表示します。  
もう一度【PIP】 ボタンを押すと子画面が消えます。

「画面表示設定」－「PIP 表示位置」を「PIP キー」に設定している場合は、【PIP】 ボタンを押すごとに子画面の表示位置が切り替わります。  
「PIP 表示位置」の設定が「右下」「左下」「左上」「右上」に設定されている場合は、【PIP】 ボタンを押すごとに子画面の表示を ON/OFF します。

▶ 「画面表示設定」 3-25 ページ

# Voice Unit のキーパッド操作

Voice Unit のキーパッドを使った基本的な操作方法を説明します。

## 直接ダイヤル ▶▶▶

相手先の ISDN 電話番号または IP アドレスを直接入力して相手先を呼び出します。

「環境設定」－「通信関連設定」－「発信禁止条件」が「直接ダイヤル禁止」または「短縮ダイヤルのみ可」に設定されている場合、および「環境設定」－「初期登録情報」－「通信形態」が「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」以外に設定されている場合は、「直接ダイヤル」を選択できません。

### 1 【接続／切断】 ボタンを押し、「直接ダイヤル」画面を表示します。

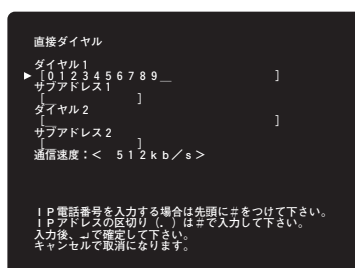


### 2 相手先の番号を入力します。

相手先の電話番号または IP アドレスを入力し、通信速度を設定します。

入力された番号により、自動的に「ISDN 通信」または「IP 通信」が切り替わります。

|         |                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------|
| ダイヤル1   | 相手先の ISDN 電話番号または IP アドレスを入力します。                       |
| サブアドレス1 | 同じ回線に複数の通信機器を接続している場合などに使用します。<br>通常は設定しなくてもお使いいただけます。 |
| ダイヤル2   | ISDN 通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTT の INS64 では使用しません。 |
| サブアドレス2 | ISDN 通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTT の INS64 では使用しません。 |
| 通信速度    | ご利用の回線に合わせ、通信速度を設定します。                                 |



### 1 数字キーで相手先の電話番号または IP アドレスを入力します。

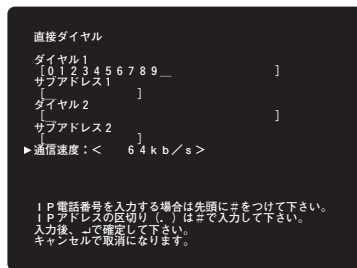
ISDN 通信の場合は、相手先の電話番号を入力します。

IP 通信の場合は、相手先の IP アドレスを入力します。

ゲートキーパーを使用する場合は、[#] を押した後に相手先の IP 電話番号（エイリアス）を入力してください。

IP アドレスの区切り（.）を入力するときは、[#] を押します。

修正するときは修正する文字を「キャンセル」ボタンで削除してから入れ直します。



- 2 「通信速度」を選び、通信速度を設定します。

ISDNの場合：

「64kb/s」「2×64kb/s」「TEL」から選択します。

一般の電話と接続する場合は、「TEL」を選択します。

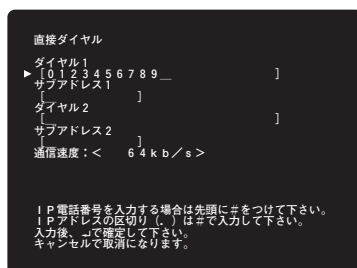
IPの場合：

「64kb/s」「128kb/s」「256kb/s」「384kb/s」「512kb/s」「TEL」から選択します。

通信速度は「環境設定」→「通信関連設定」→「ISDN最大通信速度」および「IP最大通信速度」で設定した範囲で選択できます。

- ▶ 「通信関連設定」3-40 ページ

### 3 回線に接続します。

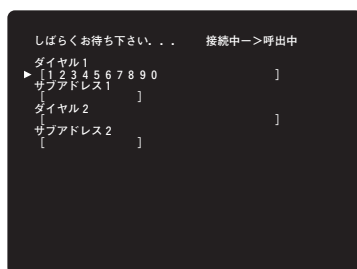


- 1 相手の電話番号またはIPアドレスを確認し、[TEL] ボタンを押します。

[接続/切断] ボタンを押した場合も回線に接続します。

相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

- ▶ 「切断理由コード一覧」4-4 ページ



### 4 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

## 短縮ダイヤル ▶▶▶

よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で相手先と接続できます。

あらかじめ相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを登録しておきます。

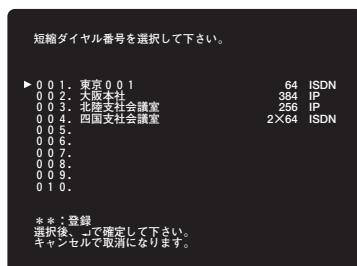
▶ 「短縮ダイヤル登録」 3-22 ページ

「環境設定」－「初期登録情報」－「通信形態」が「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」以外に設定されている場合は、「短縮ダイヤル」を選択できません。

### 1 「短縮ダイヤル」ボタンを押し、「短縮ダイヤル」画面を表示します。



### 2 相手先を選択し、回線に接続します。



1 相手先の短縮番号を選び、[移動] ボタンを押します。

[移動] ボタンまたは [改ページ] ボタンで相手先を検索します。

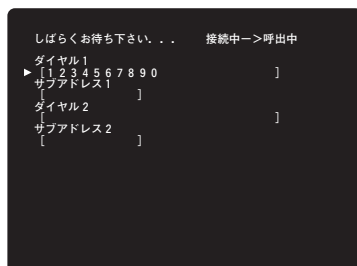
相手先名がカタカナ、英字、数字、記号で登録されている場合は、Voice Unit の表示部にも表示されます。

ひらがな、漢字および一部の記号は表示できません。

表示できない文字が混在している場合は、文字を詰めて表示します。

相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

▶ 「切断理由コード一覧」 4-4 ページ



### 3 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

## リダイヤル ▶▶▶

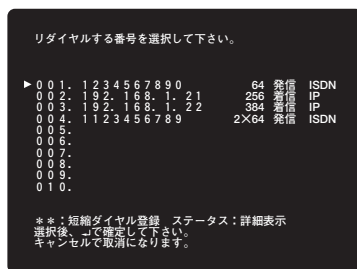
前に接続した相手先と簡単な操作で接続できます。

「環境設定」－「初期登録情報」－「通信形態」が「ダイヤル送受信」、「ダイヤル送信」、「ダイヤル受信」以外に設定されている場合は、「リダイヤル」を選択できません。

### 1 「リダイヤル」ボタンを押し、「リダイヤル」画面を表示します。



### 2 相手先を選択し、回線に接続します。



#### 1 相手先を選び、[移動] ボタンを押します。

[移動] ボタンまたは [音量] ボタンで相手先を検索します。

[\*] を2回押すと「短縮ダイヤル番号登録」画面が表示され、選択されているリダイヤル情報を短縮ダイヤルに登録できます。

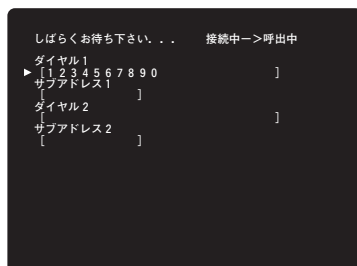
#### ▶ 「短縮ダイヤル登録」3-22 ページ

リモコンの [ステータス] ボタンを押すと、選択されているリダイヤルの地点名、電話番号、通信速度などの詳細情報が表示されます。

MediaPoint IP 同士の通信で相手先が自室名称を登録している場合は、リダイヤルに相手先地点名が表示されます。

相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

#### ▶ 「切断理由コード一覧」4-4 ページ



### 3 回線がつながると、相手先の画像が映ります。

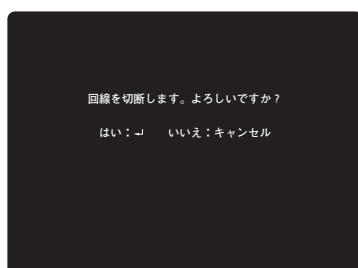
## 回線の切断 ▶▶▶

会議が終わったら、回線を切断します。

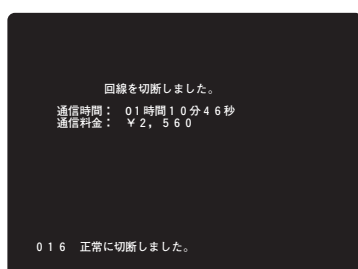
- 1 【接続／切断】 ボタンを押し、「回線切断」画面を表示します。



- 2 回線を切断します。



- 1 [OK] ボタンを押します。



- 2 回線を切断しました。

通信料金は INS64 の場合にのみ表示されます。

IP 通信の場合は、通信料金は算出されません（常に「¥0」と表示されます）。  
[キャンセル] ボタンを押すと、「回線接続メニュー」が表示されます。

## 音量の調節 ▶▶▶

スピーカから聞こえる音量を調節します。

【音量】 ボタンを押し、音量を調節します。



[▲] ボタンを押すと音が大きくなります。

[▼] ボタンを押すと音が小さくなります。

## 相手先に声が聞こえないようにする（マイクオフ） ▶▶▶

相手にこちらの声を聞かれないときに、一時的にマイクをオフにします。

【マイクオフ】 ボタンを押し、マイクをOFFにします。



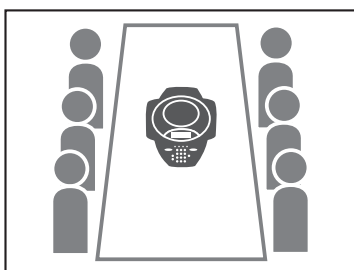
【マイクオフ】 ボタンを押すとマイクがOFFになります。

もう一度【マイクオフ】 ボタンを押すとマイクがONになります。

## 画像を切り替える（モニタ表示） ▶▶▶

テレビモニタに表示する画像を切り替えます。

【モニタ表示】 ボタンを押し、画像を切り替えます。



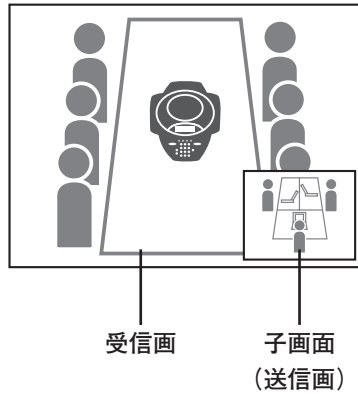
【モニタ表示】 ボタンを押すごとに「送信画」、「受信画」、「スナップ画」が切り替わります。

「スナップ画」はスナップ画送信または受信済みの場合に表示されます。

## 子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー）▶▶

テレビの画面に子画面を表示し、受信画像を見ながら子画面で送信画像を確認できます。

**[PIP] ボタンを押し、子画面を表示します。**



[PIP] ボタンを押すと子画面を表示します。

もう一度 [PIP] ボタンを押すと子画面が消えます。

「画面表示設定」－「PIP表示位置」を「PIPキー」に設定している場合は、[PIP] ボタンを押すごとに子画面の表示位置が切り替わります。

「PIP表示位置」の設定が「右下」「左下」「左上」「右上」に設定されている場合は、[PIP] ボタンを押すごとに子画面の表示をON/OFFします。

▶ 「画面表示設定」3-25 ページ

応用操作編

|                                           |             |
|-------------------------------------------|-------------|
| <b>リモコンを操作する</b>                          | <b>3-3</b>  |
| カメラを操作する（ズーム、パン、チルト） .....                | 3-3         |
| カメラプリセットを操作する .....                       | 3-3         |
| 相手側のカメラを操作する（リモート） .....                  | 3-4         |
| カメラを切り替える（カメラ1、カメラ2、書画） .....             | 3-5         |
| VTRの映像を送信する（VTR/RGB） .....                | 3-6         |
| 静止画を送る（スナップ送信） .....                      | 3-7         |
| 受信または送信した静止画を確認する（スナップ画） .....            | 3-7         |
| 通信状態を確認する（ステータス） .....                    | 3-8         |
| <b>Voice Unitのキーパッドを操作する</b>              | <b>3-9</b>  |
| カメラを操作する（ズーム、パン、チルト） .....                | 3-9         |
| 送信画を切り替える<br>（カメラ1、カメラ2、書画、VTR/RGB） ..... | 3-10        |
| 静止画を送る（スナップ送信） .....                      | 3-12        |
| <b>多地点会議</b>                              | <b>3-13</b> |
| オペレータ権を獲得する .....                         | 3-13        |
| 画像の送信元を選択する（選択同報） .....                   | 3-15        |
| 自分の画像を送信する（自室同報） .....                    | 3-16        |
| 表示する相手先を選ぶ（受信選択） .....                    | 3-17        |
| <b>アイコンを操作する（メインメニュー）</b>                 | <b>3-18</b> |
| 回線接続 .....                                | 3-18        |
| カメラプリセット登録 .....                          | 3-20        |
| 短縮ダイヤル登録 .....                            | 3-22        |
| 画面表示設定 .....                              | 3-25        |
| <b>環境設定</b>                               | <b>3-27</b> |
| 環境設定メニューの出し方 .....                        | 3-27        |
| ビデオ関連設定 .....                             | 3-29        |
| オーディオ関連設定 .....                           | 3-33        |
| 初期登録情報 .....                              | 3-36        |
| データ通信関連設定 .....                           | 3-37        |
| 通信関連設定 .....                              | 3-40        |
| メンテナンス .....                              | 3-44        |

|                                  |      |
|----------------------------------|------|
| ミーティングネットサービス                    | 3-47 |
| Voice Unit の設定                   | 3-49 |
| 設定項目 .....                       | 3-49 |
| 設定メニューの画面遷移 .....                | 3-49 |
| 外部機器を設定する .....                  | 3-50 |
| 内部マイクを設定する .....                 | 3-52 |
| 内部スピーカを設定する .....                | 3-54 |
| ハウリングやエコーを抑える .....              | 3-56 |
| 音声の入力レベルを設定する .....              | 3-57 |
| トレーニングを行う .....                  | 3-59 |
| 設定を初期化する .....                   | 3-60 |
| Voice Unit 外部機器接続例 .....         | 3-61 |
| バージョンアップ .....                   | 3-62 |
| MediaPoint IP のバージョンアップを行う ..... | 3-62 |
| Voice Unit のバージョンアップを行う .....    | 3-63 |

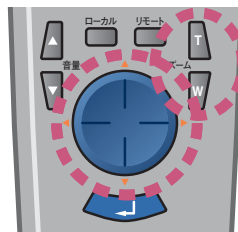
## リモコンを操作する

リモコンを使った設定や操作方法を説明します。

## カメラを操作する（ズーム、パン、チルト）▶▶▶

カメラの画像の大きさや、カメラの角度を操作します。

**「[T]、[W] ボタン、[移動] ボタン」を押して、カメラを操作します。**



[T] ボタンを押すと被写体が大きくなります。

[W] ボタンを押すと被写体が小さくなります。

[◀]、[▶] ボタンを押すとカメラのパン（左右動作）を行います。

[▲]、[▼] ボタンを押すとカメラのチルト（上下動作）を行います。

テレビに「リモート」と表示されているときは、[ローカル] ボタンを押してから操作してください。

## カメラプリセットを操作する ▶▶▶

プリセット登録してある方向にカメラの向きが移動します。

▶ 「カメラプリセット登録」 3-20 ページ

**数字キーを押して、プリセット登録された方向にカメラの向きを動かします。**



数字キー [1] から [9] を押すと、カメラプリセット番号に登録してある方向にカメラの向きが移動します。

## 相手側のカメラを操作する（リモート）▶▶▶

相手側のカメラを操作します。

相手側が MediaPoint IP TC/SV モデルを使用している場合、またはリモートコントロールできるカメラを MediaPoint IP NC モデルに接続している場合にのみ本機能を使用することができます。

**【リモート】 ボタンを押して、相手側のカメラを操作します。**



【リモート】 ボタンを押してから以下のリモコンのボタンを押すと、相手側のカメラを操作できます。

- 【スナップ送信】 ボタン
- 【カメラ1】、【カメラ2】、  
【書画】 ボタン
- 【VTR/RGB】 ボタン
- 【T】、【W】 ボタン（ズーム）
- 【◀】、【▶】 ボタン（パン）
- 【△】、【▽】 ボタン（チルト）
- 数字キー（リモートプリセット）

## カメラを切り替える（カメラ 1、カメラ 2、書画） ▶▶

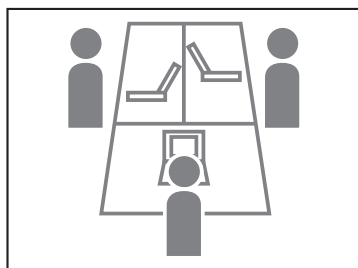
相手側に送信する画像を切り替えます。

|       |                                                                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カメラ 1 | <p>[カメラ 1] ボタンを押すと、「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「カメラ 1」に設定した画像を送信します。</p> <p>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ</p> |
| カメラ 2 | <p>[カメラ 2] ボタンを押すと、「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「カメラ 2」に設定した画像を送信します。</p> <p>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ</p> |
| 書画    | <p>[書画] ボタンを押すと、「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「書画」に設定した画像を送信します。</p> <p>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ</p>       |

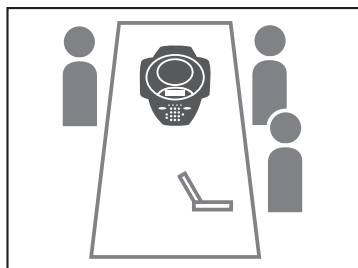
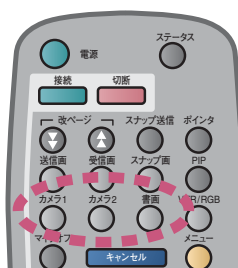
※各項目の初期値は「出荷時設定情報」－「設定項目の初期値」を参照してください。

▶ 「設定項目の初期値」 5-8 ページ

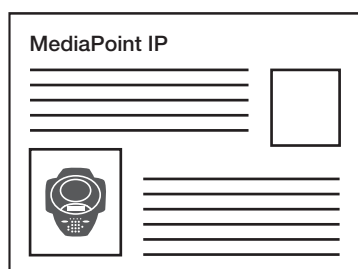
**[カメラ 1]、[カメラ 2]、[書画] ボタンを押し、送信する画像を切り替えます。**



カメラ 1 の画像



カメラ 2 の画像



書画

## VTRの映像を送信する（VTR/RGB）▶▶▶

VTR（ビデオ・テープ・レコーダー）などを接続し、VTRの映像を送信できます。

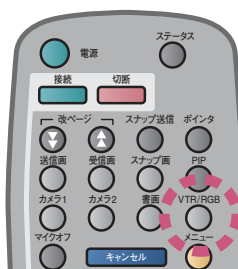
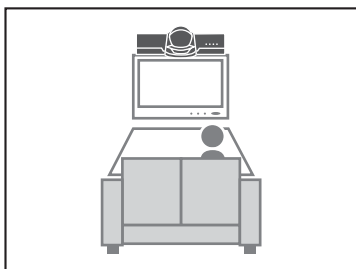
[VTR/RGB] ボタンを押すと、「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「VTR」に設定した画像を送信します。

▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ

※各項目の初期値は「出荷時設定情報」－「設定項目の初期値」を参照してください。

▶ 「設定項目の初期値」 5-8 ページ

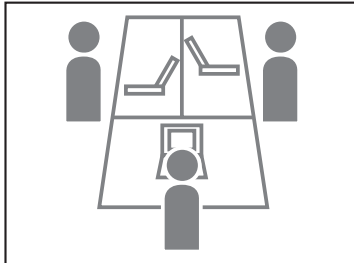
**[VTR/RGB] ボタンを押し、VTRの映像を送信します。**



## 静止画を送る（スナップ送信）▶▶▶

通信中に送信画像をスナップ画（静止画）として相手側に送信します。

**【スナップ送信】 ボタンを押し、スナップ画を送信します。**

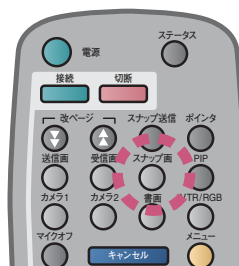
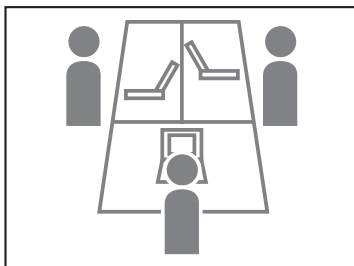


相手側では受信したスナップ画が自動的に表示されます。

## 受信または送信した静止画を確認する（スナップ画）▶▶▶

受信または送信したスナップ画を表示します。受信または送信済みのスナップ画を確認することができます。

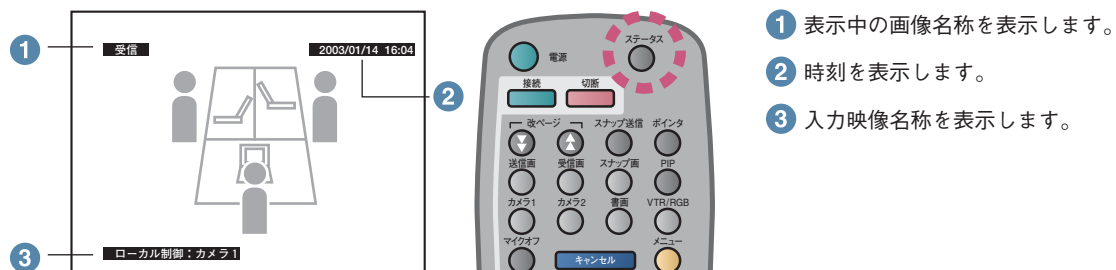
**【スナップ画】 ボタンを押し、最後に受信または送信した静止画を表示します。**



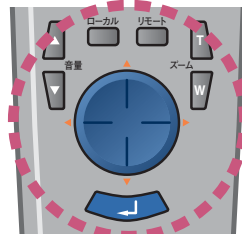
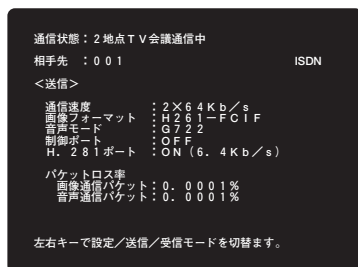
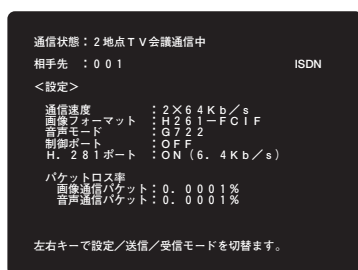
## 通信状態を確認する（ステータス） ▶▶▶

通信中に通信速度や音声モードを確認できます。

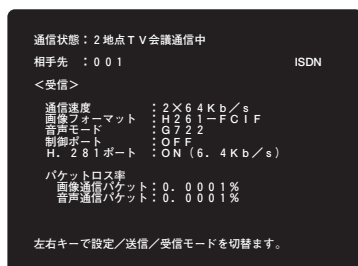
【ステータス】 ボタンを押し、ステータスを表示します。



【ステータス】 ボタンをもう一度押すと、「通信状態」を表示します。



[<]、[>] ボタンを押すごとに「通信状態（設定）」、「通信状態（送信）」、「通信状態（受信）」が切り替わります。



## Voice Unit のキーパッドを操作する

Voice Unit のキーパッドを使った設定や操作方法を説明します。

### カメラを操作する（ズーム、パン、チルト）▶▶▶

カメラの画像の大きさや、カメラの角度を操作します。

**[T]、[W] ボタン、[▲] [▼] [◀] [▶] ボタンを押し、カメラを操作します。**



[T] ボタンを押すと被写体が大きくなります。

[W] ボタンを押すと被写体が小さくなります。

[◀]、[▶] ボタンを押すとカメラのパン（左右動作）を行います。

[▲]、[▼] ボタンを押すとカメラのチルト（上下動作）を行います。

.....  
Voice Unit からは「ローカル」、「リモート」のカメラ制御選択はできません。  
通常「ローカル」制御となります。

## 送信画を切り替える（カメラ1、カメラ2、書画、VTR/RGB）▶▶

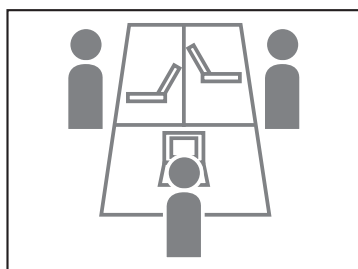
相手側に送信する画像を切り替えます。

|      |                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------|
| カメラ1 | 「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「カメラ1」に設定した画像を送信します。<br>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ |
| カメラ2 | 「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「カメラ2」に設定した画像を送信します。<br>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ |
| 書画   | 「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「書画」に設定した画像を送信します。<br>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ   |
| VTR  | 「環境設定」－「ビデオ関連設定」－「ビデオ入力選択」で「VTR」に設定した画像を送信します。<br>▶ 「ビデオ関連設定」 3-29 ページ  |

※各項目の初期値は「出荷時設定情報」－「設定項目の初期値」を参照してください。

▶ 「設定項目の初期値」 5-8 ページ

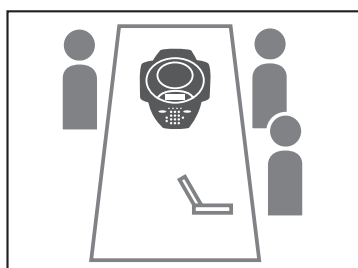
### 【カメラ】 ボタンを押し、送信する画像を切り替えます。



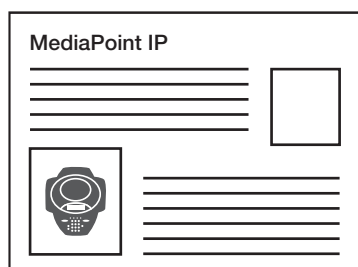
カメラ1の画像



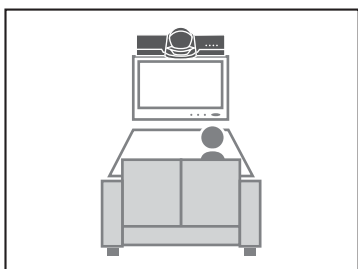
【カメラ】 ボタンを押すごとに、「カメラ1」、「カメラ2」、「書画」、「VTR」の順に送信する画像が切り替わります。



カメラ2の画像



書画

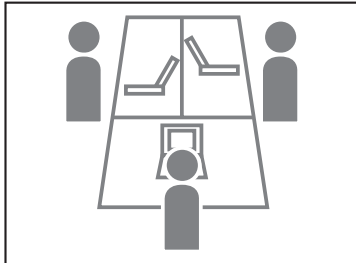


VTRの画像

## 静止画を送る（スナップ送信）▶▶▶

通信中に送信画像をスナップ画（静止画）として相手側に送信します。

**【スナップ】 ボタンを押し、スナップ画を送信します。**



【モニター表示】 ボタンを押すと、受信または送信済みのスナップ画を確認することができます。

【モニター表示】 ボタンを押すごとに「送信画」、「受信画」、「スナップ画」が切り替わります。

▶ 「画像を切り替える（モニター表示）」  
2-17 ページ

## 多地点会議

複数の相手とテレビ会議（多地点会議）を行います。

多地点会議を行うには、MCU（Multipoint Control Unit）との接続、または株式会社ギンガネットのミーティングネットサービスなどの多地点会議に対応したサービスに接続する必要があります。

多地点会議で会議の制御を行うには、多地点会議制御機能をサポートしたMCUに接続する必要があります。

TC5000EX100の多地点会議機能は、多地点会議制御機能をサポートしていません。

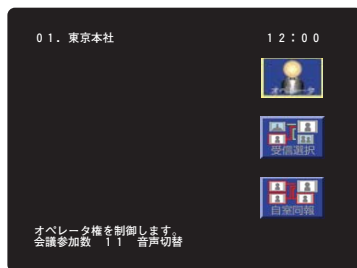
## オペレータ権を獲得する ▶▶▶

多地点会議の参加者全員に見せる画像を選択する権限をもつ参加者をオペレータと呼びます。

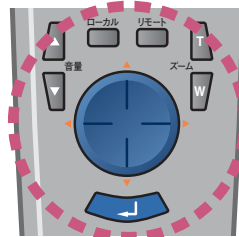
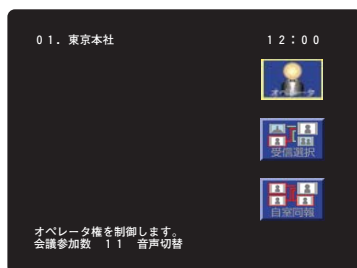
権限が必要な場合は、オペレータ権を獲得します。

**1 MCU（Multipoint Control Unit）に接続します。**

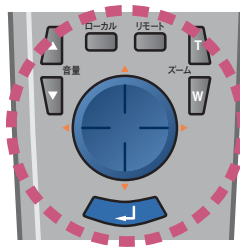
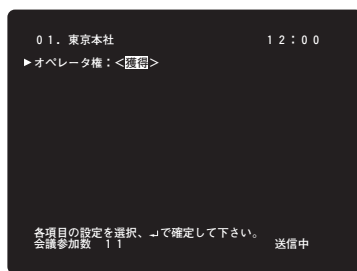
**2 「ステータス」 ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。**



**3 オペレータ権を獲得します。**



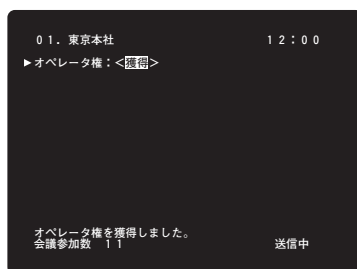
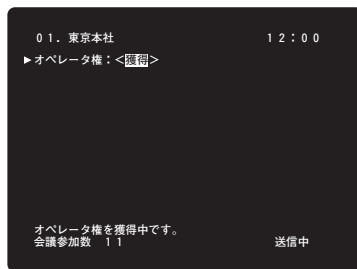
**1 「オペレータ」アイコンを選び、  
[ ] ボタンを押します。**



- 2 [◀], [▶] ボタンを押してオペレータ権の「獲得」を選び、[ ] ボタンを押します。

会議中にオペレータ権を放棄する場合は、「放棄」を選び、[ ] ボタンを押します。

すでにオペレータ権を獲得している相手先がある場合は、その相手先がオペレータ権を放棄しないとオペレータ権を獲得することができません。



#### 4 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。

## 画像の送信元を選択する（選択同報）▶▶

多地点会議の参加者全員に見せる画像を選択します。  
この操作を行うためには、オペレータ権を獲得している必要があります。

### 1 「ステータス」ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。



### 2 多地点会議の参加者全員に見せる画像を選択します。

The screenshot shows the same screen as before, but with the '選択同報' button highlighted by a red dashed circle on the remote control.

1 「選択同報」アイコンを選び、[ ] ボタンを押します。

「選択同報」アイコンは、オペレータ権を取得している場合のみ表示されます。

The screenshot shows a screen with the title '解除' and a time '12:00'. Below the title, there is a list of participants: '01. 東京本社', '02. 大阪支社', '03. 北陸支社', '04. 西京支社', '05. 東海支社', '06. 九州支社', '07. 沖縄支社', '08. 富山支社'. At the bottom, it says '同報送信地点を選択し、-で確定して下さい。会議参加数 11 オペレータ 送信中'. To the right, a remote control is shown with the '解除' button highlighted by a red dashed circle.

2 見せたい画像の相手先を選び、[ ] ボタンを押します。

見せている相手先を解除したい場合は、「解除」を選び、[ ] ボタンを押します。

The screenshot shows the same screen as before, but with the '解除' button highlighted by a red dashed circle on the remote control.

3 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。

## 自分の画像を送信する（自室同報）▶▶▶

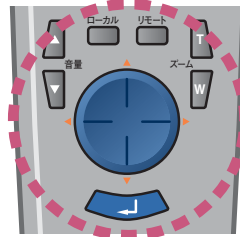
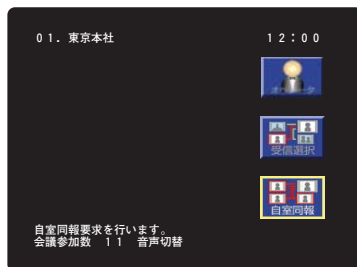
多地点会議の参加者全員に自分の画像を送信します。

この操作は、オペレータ権を獲得していない場合のみ行うことができます。

### 1 「ステータス」ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。

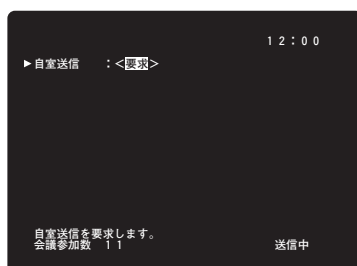


### 2 多地点会議の参加者全員に自室の画像を送信します。



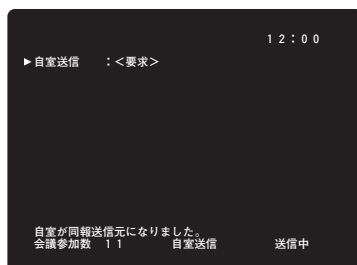
1 「自室同報」アイコンを選び、[ J ] ボタンを押します。

「自室同報」アイコンは、オペレータ権がない場合のみ表示されます。



2 [ < ]、[ > ] ボタンを押して自室送信の「要求」を選び、[ J ] ボタンを押します。

自室送信の要求を解除する場合は、「解除」を選び、[ J ] ボタンを押します。



### 3 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。

## 表示する相手先を選ぶ（受信選択） ▶▶▶

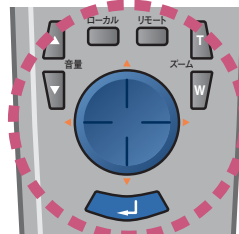
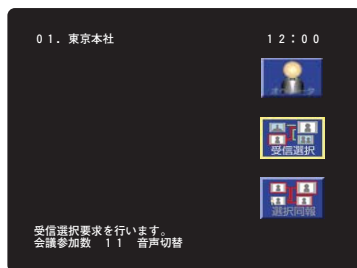
多地点会議中に表示する相手先を選びます。

受信選択した状態では、同報元の切り替えにかかわらず表示される相手先が固定されます。

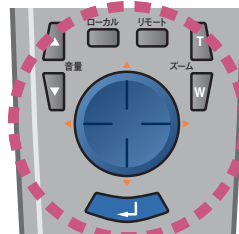
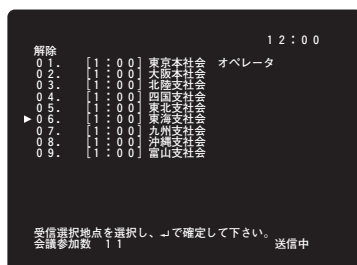
### 1 「ステータス」 ボタンを2回押し、「多地点会議アイコン」画面を表示します。



### 2 画像を見たい相手先を選択します。

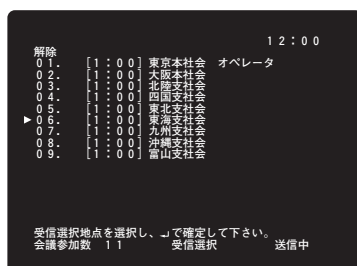


1 「受信選択」アイコンを選び、[受信選択] ボタンを押します。



2 画像を見たい相手先を選び、[受信選択] ボタンを押します。

.....  
見ている相手先を解除する場合は、「解除」を選び、[受信選択] ボタンを押します。



### 3 「多地点会議アイコン」画面に戻ります。

## アイコンを操作する（メインメニュー）

メインメニューで選択できる機能を説明します。

### 回線接続 ▶▶▶

回線に接続するための、回線接続メニューを表示します。  
回線接続の方法については、基本操作編を参照してください。

▶ 「基本操作編」 2-1 ページ

「環境設定」－「通信関連設定」－「発信禁止条件」が「直接ダイヤル禁止」に設定されている場合は、「直接ダイヤル」を選択できません。

▶ 「通信関連設定」 3-40 ページ

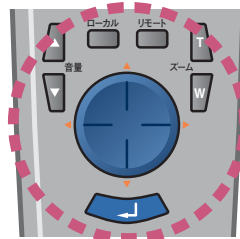
「環境設定」－「通信関連設定」－「発信禁止条件」が「短縮ダイヤルのみ可」に設定されている場合は、「直接ダイヤル」および「リダイヤル」を選択できません。

▶ 「通信関連設定」 3-40 ページ

**1** 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

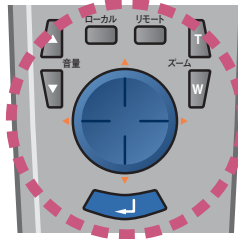


**2** 「回線接続」アイコンを選択します。



**1** 「回線接続」アイコンを選び、  
[  ] ボタンを押します。

### 3 ダイヤル方法のアイコンを選択し、相手先を呼び出します。



短縮ダイヤル発信の方法は、「短縮ダイヤル」を参照してください。

- ▶ 「短縮ダイヤル」 2-5 ページ、2-14 ページ  
直接ダイヤル発信の方法は、「直接ダイヤル」を参照してください。
- ▶ 「直接ダイヤル」 2-2 ページ、2-12 ページ  
リダイヤル発信の方法は、「リダイヤル」を参照してください。
- ▶ 「リダイヤル」 2-7 ページ、2-15 ページ

## IP

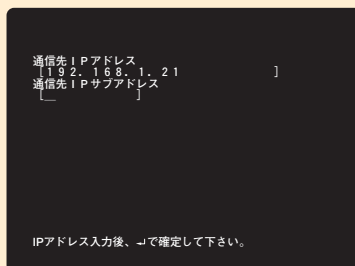
### 固定通信

常に特定の相手とだけ接続する場合に便利な機能です。電源を ON にすると自動的に相手先とつながります。

「固定通信」は、IP 通信の場合にのみご利用できます。

「固定通信」で接続を行う場合は、「環境設定」—「初期登録情報」—「通信形態」を「固定送受マスタ」、「固定送受スレーブ」、「固定送信」、「固定受信」のいずれかに設定してください。

また、「固定送受マスタ」に設定した場合は相手先を「固定送受スレーブ」に、「固定送信」に設定した場合は相手先を「固定受信」に設定するようにしてください。



- 1 「接続」 ボタンを押し、「固定通信」画面を表示します。
- 2 相手先の IP アドレスを確認し、[OK] ボタンを押します。

相手先の IP アドレスが表示されない場合は、IP アドレスを入力してください。入力した IP アドレスが固定通信の相手先として登録されます。

相手先とつながらない場合は、切断理由コード一覧を参照してください。

- ▶ 「切断理由コード一覧」 4-4 ページ

回線がつながると、相手先の画像が映ります。

## カメラプリセット登録 ▶▶▶

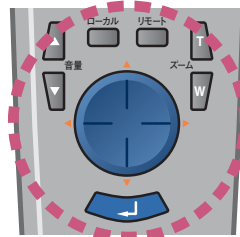
あらかじめプリセット登録しておくと、数字キーを押したときにその方向にカメラの向きが移動します。カメラプリセットは最大9個まで設定できます。

▶ 「カメラプリセットを操作する」 3-3 ページ

### 1 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

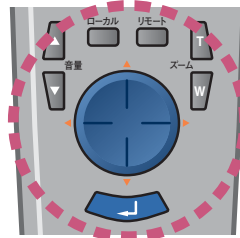
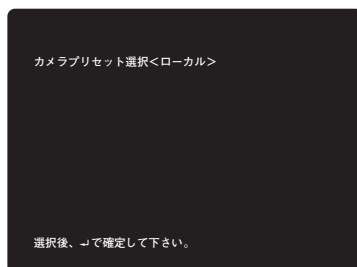


### 2 「カメラプリセット登録」アイコンを選択します。



- 1 「カメラプリセット登録」アイコンを選び、[  ] ボタンを押します。

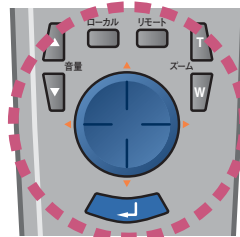
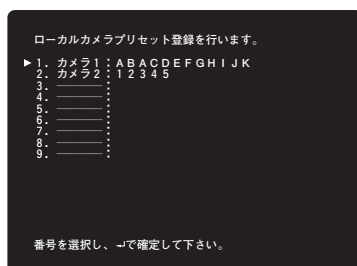
### 3 「カメラプリセット選択」を設定します。



- 1 「カメラプリセット選択」で「ローカル」を選び、[  ] ボタンを押します。

プリセット登録はこちら側のカメラの向きや角度のみ設定できます。

### 4 カメラプリセット番号を選択します。

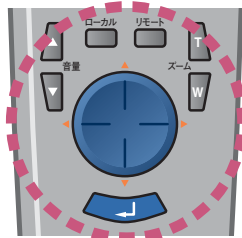


- 1 登録するカメラプリセット番号を選び、[  ] ボタンを押します。

登録済みの番号を選ぶと、登録情報を変更できます。

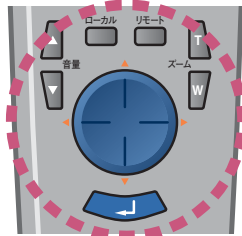
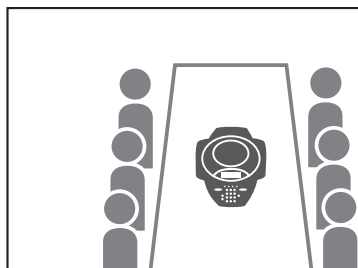
必要なカメラプリセット登録が完了している場合は [キャンセル] ボタンを押して「メインメニュー」に戻ります。

5 「プリセット名称」を入力します。

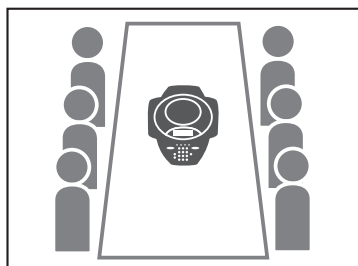


- 「削除」を選び、修正する文字にカーソルを合わせ [  ] ボタンを押すと、選んだ文字を削除します。
- 「取消」を選び [  ] ボタンを押すと、「カメラプリセット番号」選択画面に戻ります。

## 6 「プリセット位置」を設定します。



- 外部カメラが接続されている場合は、「カメラ1」と「カメラ2」を切り替えて登録することができます。



- ② [  ] ボタンを押します。

**7 カメラプリセット登録が完了しました。**

- ① 登録が完了すると手順④に戻ります。

## 短縮ダイヤル登録 ▶▶▶

短縮ダイヤルに相手先のISDN電話番号またはIPアドレスを登録しておくと、簡単な操作で発信することができます。短縮ダイヤルは、最大100件まで登録できます。

「環境設定」－「通信関連設定」－「短縮ダイヤル登録」が「禁止」に設定されている場合は、短縮ダイヤルを登録できません。

▶ 「通信関連設定」3-40 ページ

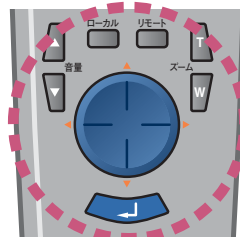
短縮ダイヤル登録は、「短縮ダイヤル番号選択」画面で、未登録の番号を選び [ \* ] を2回押して、手順 ④ 以降の操作を行うことでもできます。

▶ 「短縮ダイヤル」2-5 ページ

### ① 「メニュー」ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

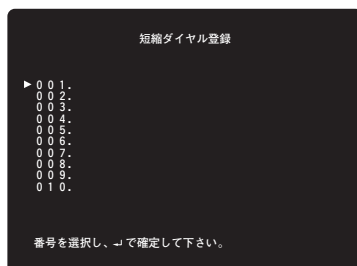


### ② 「短縮ダイヤル登録」アイコンを選択します。



① 「短縮ダイヤル登録」アイコンを選び、[  ] ボタンを押します。

### ③ 短縮ダイヤル番号を選択します。

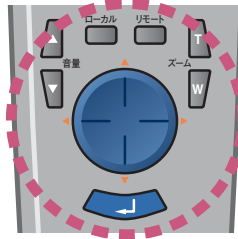
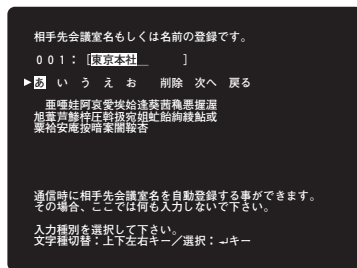


① 登録する短縮ダイヤル番号を選び、[  ] ボタンを押します。

[移動] ボタンまたは [改ページ] ボタンで登録する短縮ダイヤル番号を選びます。

[改ページ] ボタンを押すと、短縮ダイヤル番号が10件ずつ切り替わります。必要な短縮ダイヤルの登録が完了している場合は [キャンセル] ボタンを押して「メインメニュー」に戻ります。

#### 4 相手先の名前を入力します。



- ① [移動] ボタンで文字種を選びます。
- ② 表示されている文字リストの中から入力する文字を選び、[ ] ボタンを押します。
- ③ 全ての文字を入力したら「完了」を選び、[ ] ボタンを押します。

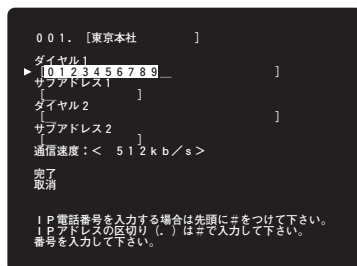
修正するときはカーソルを「削除」に合わせて [ ] ボタンを押し、修正する文字を削除してから入れ直します。「取消」を選び [ ] ボタンを押すと、「短縮ダイヤル番号登録」画面に戻ります。

相手先が MediaPoint IP で、相手先の自室名称が登録されている場合は、ここで相手先の名前を登録せずに手順 ⑤ で相手先の電話番号または IP アドレスを登録すると、その相手先へ短縮ダイヤルで発信したときに相手先地点名を自動的に登録することができます。

## 5 相手先の電話番号またはIPアドレスを入力します。

相手先の電話番号またはIPアドレスと、通信速度を登録します。

|         |                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------|
| ダイヤル1   | 相手先のISDN 電話番号またはIP アドレスを入力します。                         |
| サブアドレス1 | 同じ回線に複数の通信機器を接続している場合などに使用します。<br>通常は設定しなくてもお使いいただけます。 |
| ダイヤル2   | ISDN 通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTTのINS64では使用しません。    |
| サブアドレス2 | ISDN 通信回線に2つの電話番号がある場合に使用します。<br>NTTのINS64では使用しません。    |
| 通信速度    | ご利用の回線に合わせ、通信速度を設定します。                                 |



- 1 数字キーで相手先の電話番号またはIPアドレスを入力します。

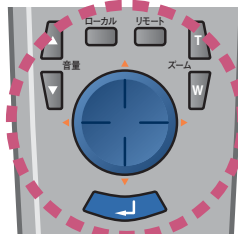
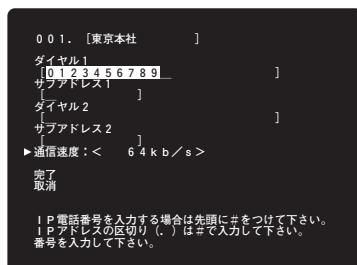
ISDN 通信の場合は、相手先の電話番号を入力します。

IP 通信の場合は、相手先のIPアドレスを入力します。

IPアドレスの区切り (.) を入力するときは、[#] を押します。

ゲートキーバーを使用する場合は、[#] を押した後に相手先のIP電話番号 (エイリアス) を入力してください。

修正するときは修正する文字を [キャンセル] ボタンで削除してから入れ直します。



- 2 「通信速度」を選び、通信速度を設定します。

ISDN の場合：

「64kb/s」「2×64kb/s」「TEL」から選択します。

一般の電話と接続する場合は、「TEL」を選択します。

IP の場合：

「64kb/s」「128kb/s」「256kb/s」「384kb/s」「512kb/s」「TEL」から選択します。

- 3 「完了」を選び、[完了] ボタンを押します。

## 6 短縮ダイヤルの登録が完了しました。

- 1 登録が完了すると手順 3 に戻ります。

## 画面表示設定 ▶▶▶

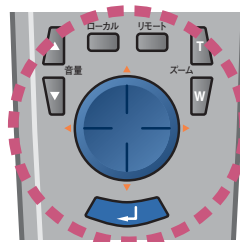
画面表示に関する設定をします。

|           |                                                                                   |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| PIP 表示位置  | [PIP] ボタンを押したときの子画面の表示方法を設定します。<br>▶ 「子画面を表示する（ピクチャー・イン・ピクチャー）」 2-11 ページ、2-18 ページ |
| スナップ画 PIP | スナップ画を表示する際に、受信画と送信画のどちらを子画面に表示するかを設定します。                                         |
| 時刻表示      | テレビ会議やビデオ監視中に、テレビ画面に時刻表示を行うかどうかを設定します。                                            |

### 1 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。

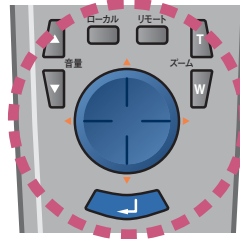
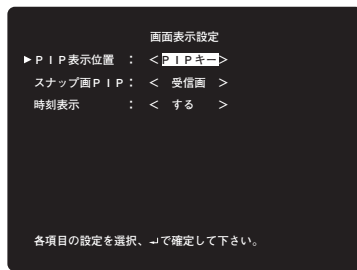


### 2 「画面表示設定」アイコンを選択します。



- 1 「画面表示設定」アイコンを選び、  
[ J ] ボタンを押します。

### 3 画面表示を設定します。



- 1 「PIP 表示位置」を選び、子画面の表示方法を設定します。

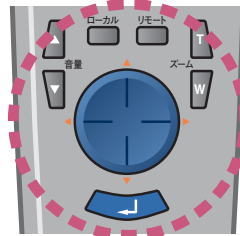
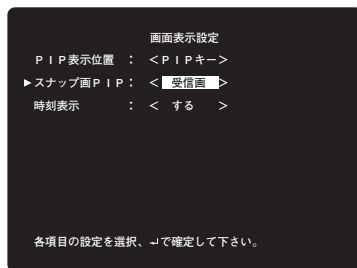
「PIP キー」

「PIP」ボタンを押すごとに子画面を右下、右上、左上、左下の順で表示します。子画面が左下に表示されている状態で「PIP」ボタンを押すと、子画面を消去します。

「右下」「左下」「左上」「右上」

子画面を表示する位置を設定します。

「PIP」ボタンを押すごとに、それぞれの位置で子画面の表示を ON/OFF します。



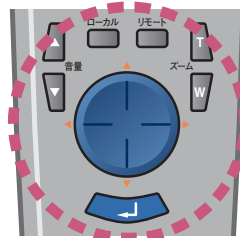
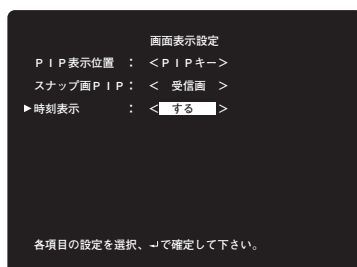
- 2 「スナップ画 PIP」を選び、「受信画」、「送信画」を設定します。

「受信画」

スナップ画を受信または送信した際に、子画面に受信画を表示します。

「送信画」

スナップ画を受信または送信した際に、子画面に送信画を表示します。



- 3 「時刻表示」を選び、「する」、「しない」を設定します。

「する」にした場合は、テレビ会議やビデオ監視中にテレビ画面に時刻表示を行います。

正確な時刻を表示するために、時刻設定を行ってください。

▶ 「初期設定」1-12 ページ

- 4 [ ] ボタンを押します。

### 4 画面表示設定が完了しました。



- 1 「キャンセル」ボタンを押して終了してください。

## 環境設定

「メインメニュー」の「環境設定」で設定できる機能を説明します。

「環境設定」メニューは、以下の6つのメニューで構成されています。

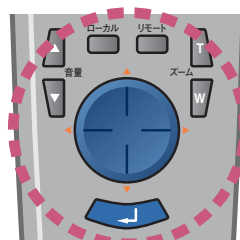
|           |                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ビデオ関連設定   | 映像に関する設定を行います。▶ 3-29 ページ                                                                   |
| オーディオ関連設定 | 音声に関する設定を行います。▶ 3-33 ページ                                                                   |
| 初期登録情報    | 初期設定で登録した「アプリケーション」、「自室ISDN番号」、「IPネットワーク」、「オプション登録」に関する設定を変更することができます。▶ 3-36 ページ           |
| データ通信関連設定 | データ通信に関する設定を行います。▶ 3-37 ページ                                                                |
| 通信関連設定    | 通信に関する設定を行います。▶ 3-40 ページ                                                                   |
| メンテナンス    | 本機のソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、シリアル番号、MACアドレスの確認およびループバックテスト、環境設定の初期化、登録データの消去を行います。▶ 3-44 ページ |

## 環境設定メニューの出し方 ▶▶▶

① 「メニュー」ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。



② 「環境設定」を選択します。

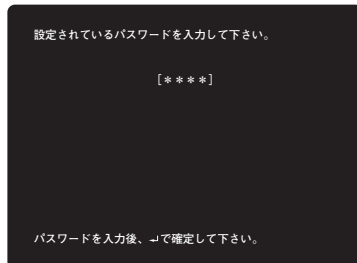


① 「環境設定」アイコンを選び、  
[下] ボタンを押します。

### 3 パスワードを入力します。

「初期設定」－「オプション登録」または「環境設定」－「初期登録情報」－「オプション登録」でパスワードを設定していない場合は、この画面は表示されません。

▶ 「初期設定」1-12 ページ



- 1 数字キーでパスワード（4桁）を入力し、[  ] ボタンを押します。

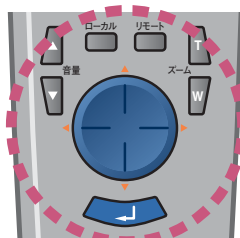
.....  
入力したパスワードは、「\*\*\*\*」で表示されます。

パスワードが違う場合は、「パスワードが違います。」と表示され、入力欄が空白になります。もう一度入力し直してください。

## ビデオ関連設定 ▶▶▶

映像に関する設定をします。

### 1 「環境設定メニュー」で「ビデオ関連設定」を選択します。



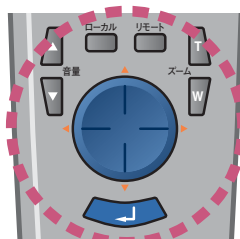
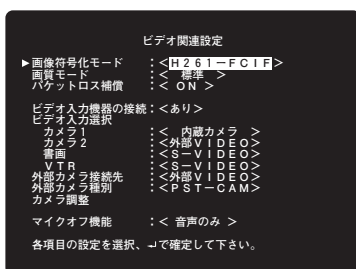
- 1 「ビデオ関連設定」アイコンを選び、  
[ ] ボタンを押します。

### 2 ビデオ関連の設定を行います。

|            |                                                                                    |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 画像符号化モード   | 画像符号化モードを「H261-FCIF」、「H261-QCIF」から選びます。                                            |
| 画質モード      | 画質モードを「画質優先」、「標準」、「動き優先」から選びます。                                                    |
| パケットロス補償   | パケットロス補償を「ON」、「OFF」から選びます。                                                         |
| ビデオ入力機器の接続 | 「ビデオ入力機器の接続」を「あり」、「なし」から選びます。                                                      |
| ビデオ入力選択    | [カメラ1]、[カメラ2]、[書画]、[VTR] の各ボタンを押したときに「内蔵カメラ」、「外部VIDEO」、「S-VIDEO」のどの画像を表示するかを設定します。 |
| 外部カメラ接続先   | 外部カメラの接続先を「外部VIDEO」、「S-VIDEO」から選びます。                                               |
| 外部カメラ種別    | 本機に接続する外部カメラの種別を「PST-CAM」、「VC-C1」、「VC-C4」から選びます。                                   |
| カメラ調整      | 内蔵カメラ、外部カメラの画質を調整します。                                                              |
| マイクオフ機能    | [マイクオフ] ボタンを押したときの動作を「音声のみ」、「音声と映像」から選びます。                                         |

※各項目の初期値は「出荷時設定情報」—「設定項目の初期値」を参照してください。

▶ 「設定項目の初期値」5-8 ページ



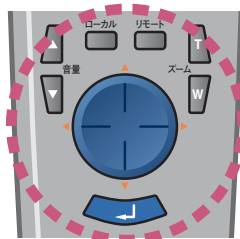
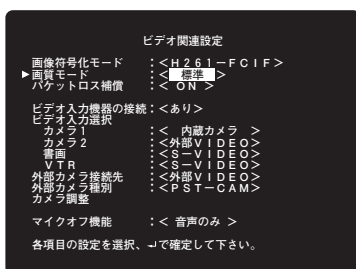
- 1 「画像符号化モード」を選び、「H261-FCIF」または「H261-QCIF」を設定します。

「H261-FCIF」

352 × 288 ピクセルで画像を表示します。通常はこの設定でお使いください。

「H261-QCIF」

176 × 144 ピクセルで画像を表示します。



- 2 「画質モード」を選び、「標準」、「動き優先」、「画質優先」のいずれかを設定します。

「標準」

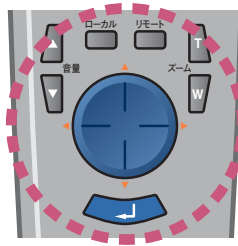
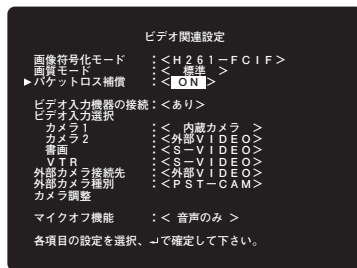
通常はこの設定でご利用ください。

「動き優先」

動きのある被写体を映す場合に適しています。

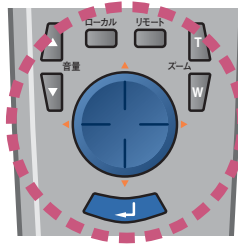
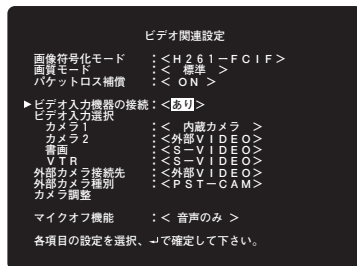
「画質優先」

動きの少ない被写体を映す場合に適しています。



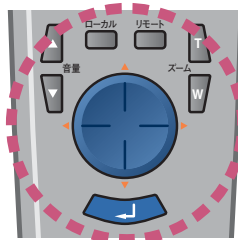
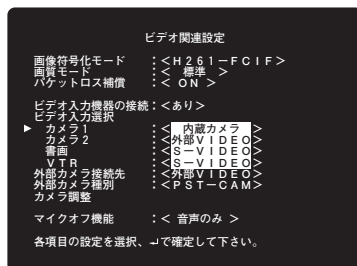
- 3 「パケットロス補償」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

「ON」を選んだ場合は、IP 通信中のデータエラーによる画像劣化を補償します。



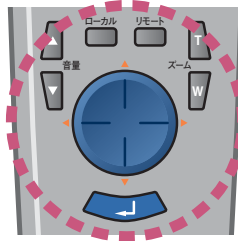
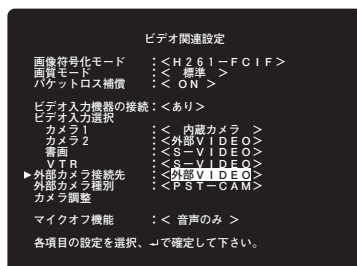
- 4 「ビデオ入力機器の接続」を選び、「あり」、「なし」を設定します。

監視（受信側）などでビデオ入力機器（外部カメラやVTR）を接続しない場合は「なし」を選びます。



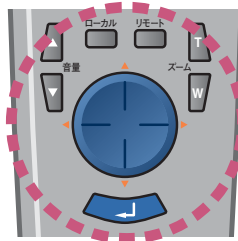
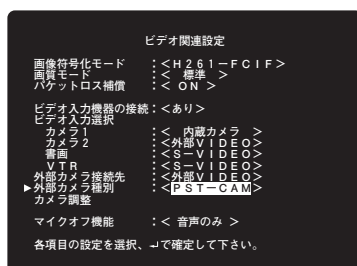
- 5 「ビデオ入力選択」を選び、[カメラ1]、[カメラ2]、[書画]、[VTR] ボタンを押したときに表示する画像を設定します。

「内蔵カメラ」  
 内蔵カメラの画像を表示します。  
 「外部VIDEO」  
 「VIDEO IN」に接続した機器の画像を表示します。  
 「S-VIDEO」  
 「S-VIDEO IN」に接続した機器の画像を表示します。



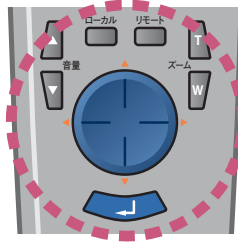
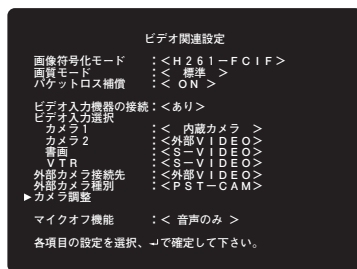
- 6 「外部カメラ接続先」を選び、「外部VIDEO」または「S-VIDEO」を設定します。

「外部VIDEO」  
 「VIDEO IN」に外部カメラを接続する場合に設定します。  
 「S-VIDEO」  
 「S-VIDEO IN」に外部カメラを接続する場合に設定します。



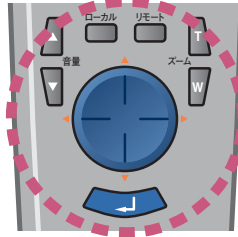
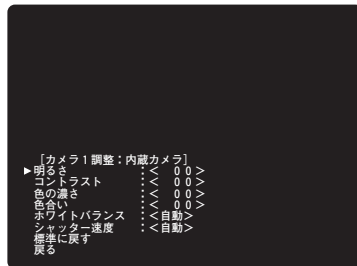
- 7 「外部カメラ種別」を選び、カメラ種別を「PST-CAM」、「VC-C1」、「VC-C4」の中から選択します。

接続する外部カメラに応じて設定します。



- 8 「カメラ調整」を選び、内蔵カメラ、外部カメラのそれぞれの画質を設定します。

「ビデオ入力選択」の「カメラ1」、「カメラ2」で選択した機器の画質を設定します。



「ビデオ入力選択」の「カメラ1」を選択してから「カメラ調整」を選び、「カメラ1」の「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「ホワイトバランス」、「シャッター速度」を設定します。

「明るさ」

明るさを－16から＋16の範囲で設定します。

「コントラスト」

コントラストを－16から＋16の範囲で設定します。

「色の濃さ」

色の濃さを－16から＋16の範囲で設定します。

「色合い」

色合いを－16から＋16の範囲で設定します。

「ホワイトバランス」

「固定」または「自動」を設定します。

「自動」に設定した場合は、カメラのホワイトバランスを自動的に設定します。

「シャッター速度」

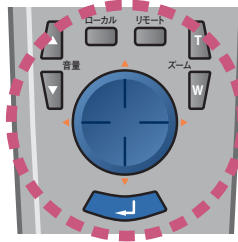
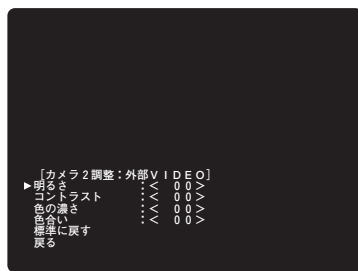
「固定」または「自動」を設定します。

「自動」に設定した場合は、カメラのシャッター速度を自動的に設定します。

「自動」に設定した場合は蛍光灯の下などでちらつき（フリッカ）が出ることがあります。この様な場合は「固定」に設定してください。

「標準に戻す」

カメラ調整の設定を標準（初期値）に戻します。



「ビデオ入力選択」の「カメラ2」を選択してから「カメラ調整」を選び、「カメラ2」の「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」を設定します。

「明るさ」

明るさを－16から＋16の範囲で設定します。

「コントラスト」

コントラストを－16から＋16の範囲で設定します。

「色の濃さ」

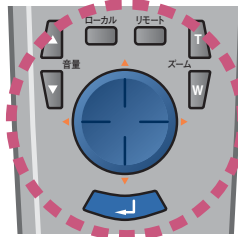
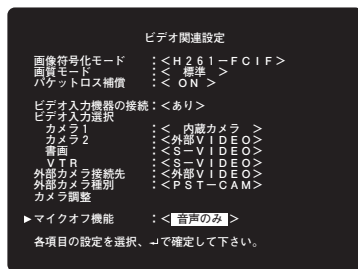
色の濃さを－16から＋16の範囲で設定します。

「色合い」

色合いを－16から＋16の範囲で設定します。

「標準に戻す」

カメラ調整の設定を標準（初期値）に戻します。



- 9 「マイクオフ機能」を選び、「音声のみ」または「音声と映像」を設定します。

「音声のみ」

「マイクオフ」ボタンを押したときに、送信する音声をオフにします。

「音声と映像」

「マイクオフ」ボタンを押したときに、送信する音声と映像をオフにします。

- 10 設定が終わったら、[ ] ボタンを押します。

### 3 ビデオ関連の設定が完了しました。

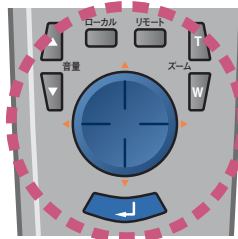


- 1 「キャンセル」ボタンを押して終了してください。

## オーディオ関連設定 ▶▶▶

音声に関する設定をします。

### 1 「環境設定メニュー」で「オーディオ関連設定」を選択します。



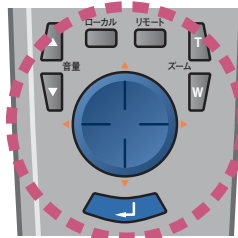
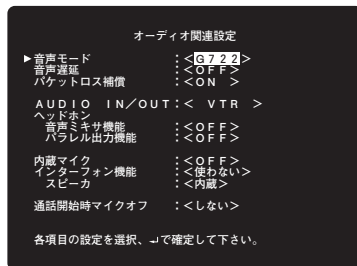
- 1 「オーディオ関連設定」アイコンを選び、[ ] ボタンを押します。

### 2 オーディオ関連の設定を行います。

|              |                                                |
|--------------|------------------------------------------------|
| 音声モード        | 音声モードを「G711」、「G722」、「G728」、「OFF」から選びます。        |
| 音声遅延         | 音声遅延を「ON」、「OFF」から選びます。                         |
| パケットロス補償     | パケットロス補償を「ON」、「OFF」から選びます。                     |
| AUDIO IN/OUT | AUDIO IN/OUT を「VTR」、「外部スピーカ」、「外部 EC など」から選びます。 |
| ヘッドホン        | 「音声ミキサ機能」、「パラレル出力機能」を「ON」、「OFF」から選びます。         |
| 内蔵マイク        | 「内蔵マイク」を「ON」、「サブレッサ」、「OFF」から選びます。              |
| インターフォン機能    | インターフォン機能を「使わない」、「親」、「子」から選びます。                |
| スピーカ         | インターフォン使用時のスピーカを「内蔵」、「外部」から選びます。               |
| 通話開始時マイクオフ   | 通話開始時マイクオフを「する」、「しない」から選びます。                   |

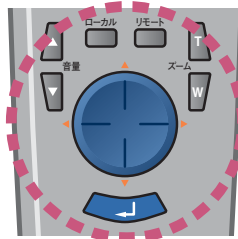
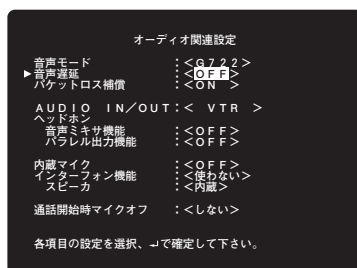
※各項目の初期値は「出荷時設定情報」―「設定項目の初期値」を参照してください。

▶ 「設定項目の初期値」5-8 ページ



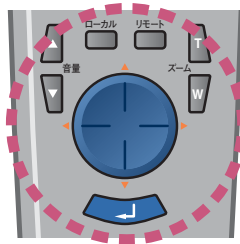
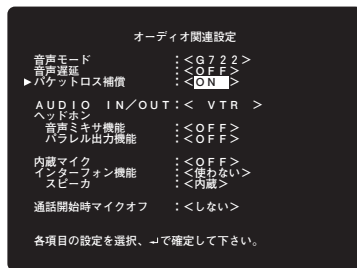
- 1 「音声モード」を選び、「G711」、「G722」、「G728」、「OFF」のいずれかを設定します。

「G728」、「G711」、「G722」の順に高音質になります。「G728」は画質を優先したい場合に使用してください。テレビ会議では「G722」を使用することをお勧めします。



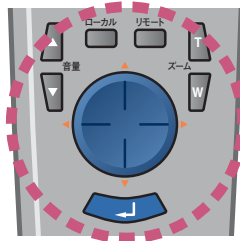
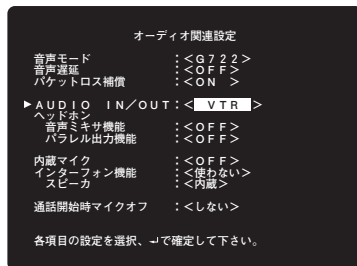
- 2 「音声遅延」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

「ON」を選んだ場合は、音声を遅延させて画像と音声の時間差を補正します。



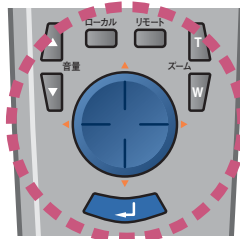
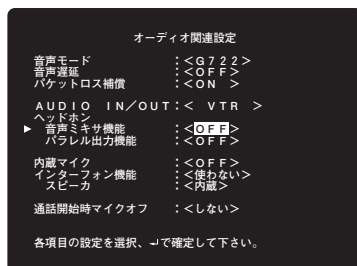
- 3 「パケットロス補償」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

「ON」を選んだ場合は、IP 通信中のデータエラーによる音質の劣化を防ぎます。



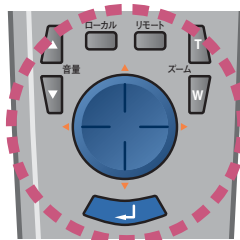
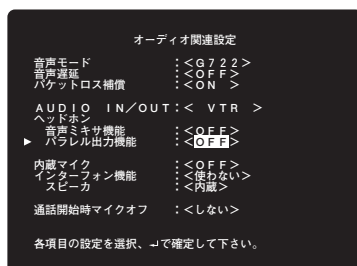
- 4 「AUDIO IN/OUT」を選び、「VTR」、「外部スピーカ」、「外部EC など」のいずれかを設定します。

「VTR」  
「AUDIO」に VTR の音声信号を接続する場合に設定します。  
「外部スピーカ」  
「AUDIO」の出力をテレビなどのスピーカに接続する場合に設定します。  
Voice Unit のマイクを使用する場合に、Voice Unit のエコーキャンセラーが動作するために必要な遅延を入れて音声を出します。  
「外部EC など」  
「AUDIO」にエコーキャンセラーなどの音声信号を接続する場合に設定します。



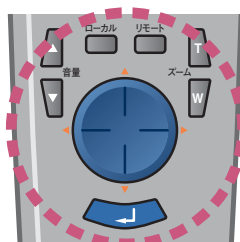
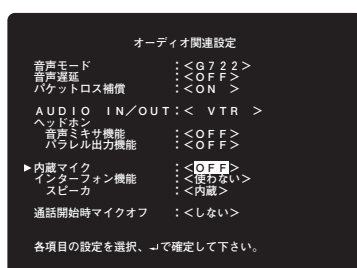
- 5 「ヘッドホン」の「音声ミキサ機能」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

ヘッドホンのマイク入力と「AUDIO IN」の入力をミキシングして送信する場合は「ON」を選びます。



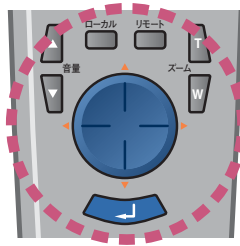
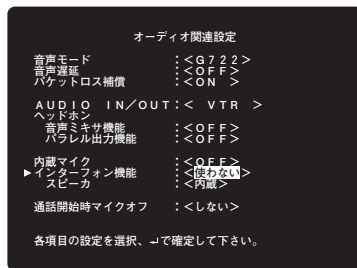
- 6 「ヘッドホン」の「パラレル出力機能」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

ヘッドホンと「AUDIO OUT」に同時に音声を出力する場合は「ON」を選びます。



- 7 「内蔵マイク」を選び、「ON」、「サプレッサ」、「OFF」を設定します。

インターフォン使用時に内蔵マイクを使用する場合は「ON」、インターフォンを使用しないで内蔵マイクを使用する場合は「サプレッサ」を選びます。  
「サプレッサ」を選択し、内蔵マイク、内蔵スピーカを使用してハンズフリーで会話をを行う場合は、「インターフォン機能」を「子」、「スピーカ」を「内蔵」に設定します。



- 8 「インターフォン機能」を選び、「使わない」、「親」、「子」を設定します。

「使わない」

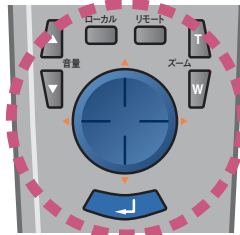
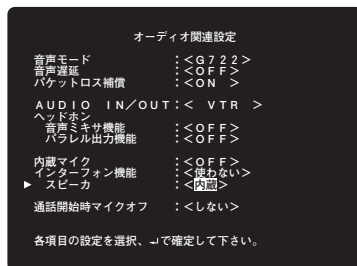
インターフォン機能を使用しない場合に設定します。

「親」

ビデオ監視でインターフォン機能を使用する場合に受信側を「親」に設定します。

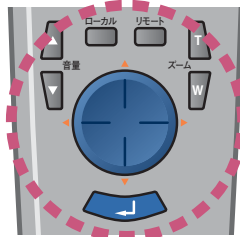
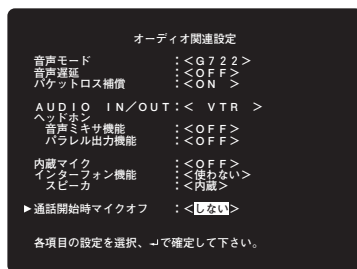
「子」

ビデオ監視でインターフォン機能を使用する場合に送信側を「子」に設定します。



- 9 「スピーカー」を選び、「内蔵」、「外部」を設定します。

外部スピーカーを使用して、インターフォン機能を利用する場合は「外部」を選びます。



- 10 「通話開始時マイクオフ」を選び、「する」、「しない」を設定します。

「環境設定」－「通信関連設定」－「着信モード」を「自動」に設定しているときに、通話開始時にマイクオフにしたい場合は「する」に設定します。

▶ 「通信関連設定」3-40 ページ

- 11 設定が終わったら、[J] ボタンを押します。

### 3 オーディオ関連の設定が完了しました。

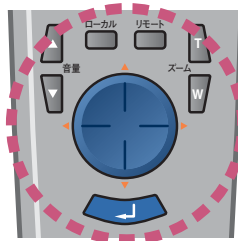


- 1 「キャンセル」ボタンを押して終了してください。

## 初期登録情報 ▶▶▶

初期設定で登録した設定を変更することができます。

### 1 「環境設定メニュー」で「初期登録情報」を選択します。



- 1 「初期登録情報」アイコンを選び、  
[ 入力 ] ボタンを押します。

### 2 初期登録情報を登録します。

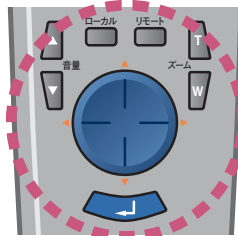
初期登録情報の登録手順は、「初期設定」の「4 自室 ISDN 番号を登録します。」以降と同じです。そちらを参照してください。

▶ 「4 自室 ISDN 番号を登録します。」 1-13 ページ

## データ通信関連設定 ▶▶▶

データ通信に関する設定をします。

### 1 「環境設定メニュー」で「データ通信関連設定」を選択します。



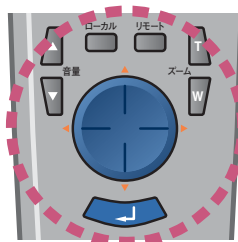
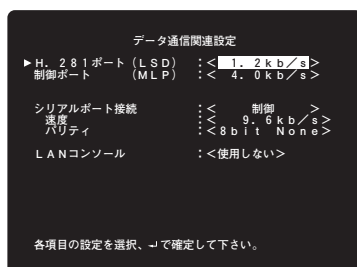
1 「データ通信関連設定」アイコンを選び、[ ] ボタンを押します。

### 2 データ通信関連の設定を行います。

|                 |                                                                                                          |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| H.281 ポート (LSD) | H.281 ポート (LSD) LSD の速度を「1.2kb/s」、「4.8kb/s」、「6.4kb/s」、「OFF」から選びます。<br>H.281 準拠のリモートカメラ制御機能を使用する場合に設定します。 |
| 制御ポート (MLP)     | ISDN 回線の制御ポート (MLP) の速度を「4.0kb/s」、「6.4kb/s」、「14.4kb/s」、「OFF」から選びます。<br>ご利用の回線に合わせ、制御ポート (MLP) の速度を設定します。 |
| シリアルポート接続       | シリアルポートへ接続する機器を「制御」、「カメラ」、「データ転送」から選びます。                                                                 |
| 速度              | シリアルポートの速度を「9.6kb/s」から「115.2kb/s」の範囲から選びます。                                                              |
| パリティ            | シリアルポートのパリティ制御を「8bit Even」、「8bit None」、「7bit Even」、「7bit Odd」から選びます。                                     |
| LAN コンソール       | LAN コンソールを「使用する」、「使用しない」から選びます。                                                                          |

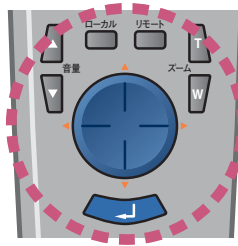
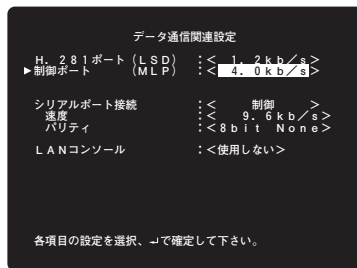
※各項目の初期値は「出荷時設定情報」―「設定項目の初期値」を参照してください。

▶ 「設定項目の初期値」5-8 ページ



1 「H.281 ポート (LSD)」を選び、「1.2kb/s」、「4.8kb/s」、「6.4kb/s」、「OFF」のいずれかを設定します。

H.281 プロトコルに準拠した端末との接続で、リモートカメラ制御機能を使用する場合に設定します。なお、MediaPoint IP 同士の通信では、H.281 プロトコル以外に独自プロトコルを使用してリモートカメラ制御を行うことができます。

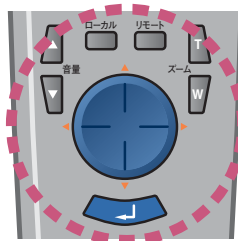
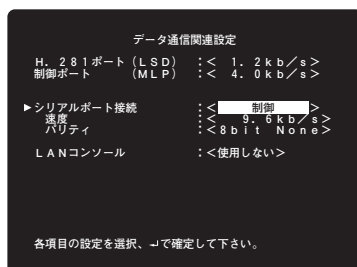


- 2 「制御ポート (MLP)」を選び、「4.0kb/s」、「6.4kb/s」、「14.4kb/s」、「OFF」のいずれかを設定します。

ISDN回線をご利用の場合にのみ設定します。IP回線をご利用の場合は「6.4kb/s」に設定してください。

H.281ポート (LSD) と制御ポート (MLP) は、下記の組合せで設定することができます。

| H.281ポート (LSD) | 制御ポート (MLP)                  |
|----------------|------------------------------|
| OFF            | OFF、4.0kb/s、6.4kb/s、14.4kb/s |
| 1.2kb/s        | OFF、4.0kb/s                  |
| 4.8kb/s        | OFF                          |
| 6.4kb/s        | OFF                          |



- 3 「シリアルポート接続」を選び、「制御」、「カメラ」、「データ転送」のいずれかを設定します。

「制御」

シリアルポートにパソコンを接続してMediaPoint IPを制御するときに選びます。

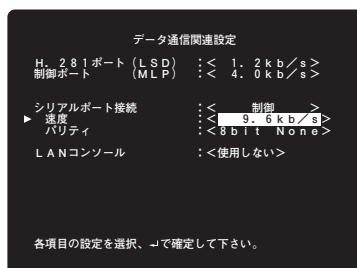
「カメラ」

リモート制御に対応している外部カメラを使うときに選びます。

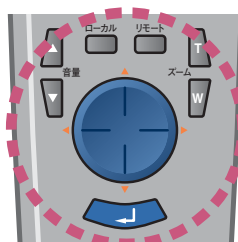
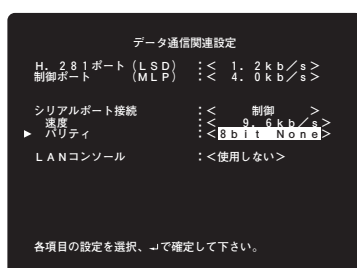
「カメラ」を選んだ場合は「速度」、「パリティ」は自動的に設定されるので設定する必要はありません。

「データ転送」

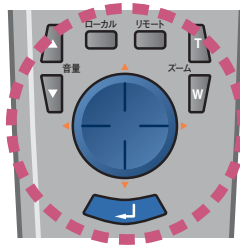
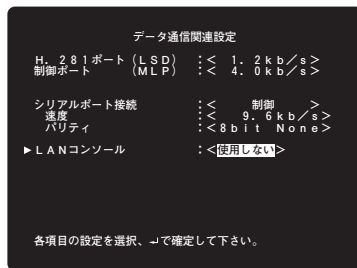
シリアルポートにパソコン等を接続して、相手先とデータ転送を行うときに選びます。MediaPoint IP同士の通信でのみ使用可能です。



- 4 「速度」を選び、「9.6kb/s」から「115.2kb/s」の範囲で設定します。



- 5 「パリティ」を選び、「8bit Even」、「8bit None」、「7bit Even」、「7bit Odd」のいずれかを設定します。



- 6 「LANコンソール」を選び、「使用する」、「使用しない」を設定します。

「使用する」

LANコンソール機能が使用できる状態になります。

「使用しない」

LANコンソール機能を使用できないようにします。

- 7 設定が終わったら [  ] ボタンを押します。

### 3 データ通信関連の設定が完了しました。

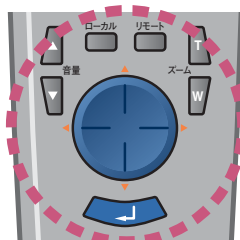


- 1 「キャンセル」ボタンを押して終了してください。

## 通信関連設定 ▶▶▶

通信に関する設定をします。

### 1 「環境設定メニュー」で「通信関連設定」を選択します。



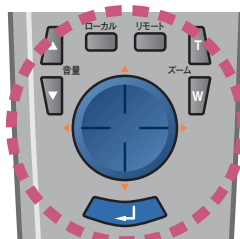
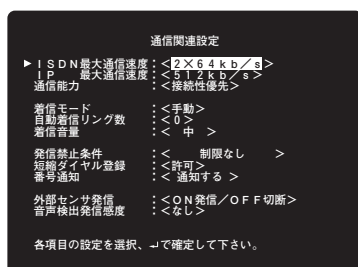
1 「通信関連設定」アイコンを選び、  
[ ] ボタンを押します。

### 2 通信関連の設定を行います。

|             |                                                                                                                                                                                    |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ISDN 最大通信速度 | ISDN 回線の最大通信速度を「OFF」、「64kb/s」、「2×64kb/s」から選びます。<br>ご利用の回線に合わせ、最大通信速度を設定します。<br>通信速度はダイヤル発信時に指定することもできます。<br>IP 回線のみを使用している場合は、「OFF」を選択します。                                         |
| IP 最大通信速度   | IP 回線の最大通信速度を「OFF」、「64kb/s」、「128kb/s」、「256kb/s」、「384kb/s」、「512kb/s」、「128k 専用線」から選びます。<br>ご利用の回線に合わせ、最大通信速度を設定します。<br>通信速度はダイヤル発信時に指定することもできます。<br>ISDN 回線のみを使用している場合は、「OFF」を選択します。 |
| 通信能力        | 通信能力を「接続性優先」、「標準」から選びます。                                                                                                                                                           |
| 着信モード       | 着信モードを「手動」、「自動」、「選択」、「拒否」から選びます。                                                                                                                                                   |
| 自動着信リング数    | 自動着信するときに着信音（リング）を鳴らす回数を設定します。<br>自動着信リング数を「0」から「9」の範囲から選びます。                                                                                                                      |
| 着信音量        | 着信音量を「OFF」、「小」、「中」、「大」から選びます。                                                                                                                                                      |
| 発信禁止条件      | 発信禁止条件を「制限なし」、「短縮ダイヤルのみ可」、「直接ダイヤル禁止」から選びます。                                                                                                                                        |
| 短縮ダイヤル登録    | 短縮ダイヤル登録を「許可」、「禁止」から選びます。                                                                                                                                                          |
| 番号通知        | 発信時にこちらの番号を「通知する」、「通知しない」、「契約に従う」から選びます。                                                                                                                                           |
| 外部センサ発信     | 外部センサ発信を「なし」、「ON 発信/OFF 切断」、「ON 発信のみ」、「OFF 切断のみ」、「マイクオン」から選びます。                                                                                                                    |
| 音声検出發信感度    | 音声検出發信の検出レベルを「なし」および「1」から「9」の範囲で設定します。                                                                                                                                             |

※各項目の初期値は「出荷時設定情報」—「設定項目の初期値」を参照してください。

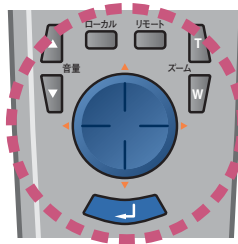
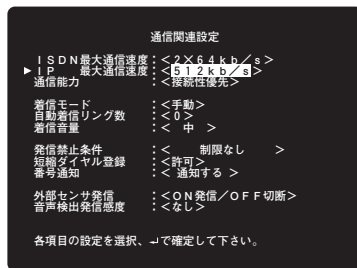
▶ 「設定項目の初期値」5-8 ページ



1 「ISDN 最大通信速度」を選び、  
「OFF」、「64kb/s」、「2×64kb/s」  
のいずれかを設定します。

通信料金を節約したい場合は「64kb/s」を設定し、「環境設定」—「オーディオ関連設定」—「音声モード」を「G728」に設定してください。  
通信速度はダイヤル発信時に指定することもできます。

▶ 「オーディオ関連設定」3-33 ページ

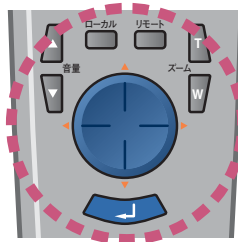
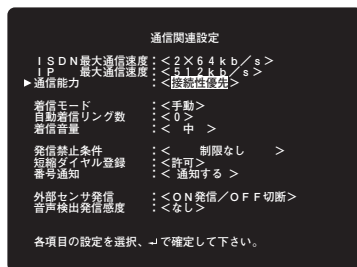


- 2 「IP 最大通信速度」を選び、「OFF」、「64kb/s」、「128kb/s」、「256kb/s」、「384kb/s」、「512kb/s」、「128k 専用線」のいずれかを設定します。

ネットワークの速度に合わせて設定してください。

エラーが多い場合に速度を下げると改善されることがあります。

通信速度はダイヤル発信時に指定することもできます。



- 3 「通信能力」を選び、「接続性優先」、「標準」のいずれかを設定します。

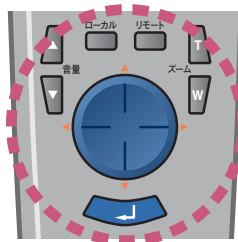
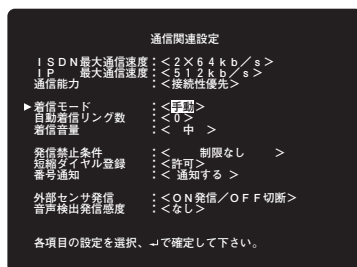
「接続性優先」

相手端末との接続時に、接続性を優先して通信能力交換を行います。

「標準」

相手端末との接続時に、標準の通信能力交換を行います。

相手端末との接続がうまくいかない場合は、「接続性優先」に設定してください。



- 4 「着信モード」を選び、「手動」、「自動」、「選択」、「拒否」のいずれかを設定します。

「手動」

着信したときに [ 着信 ] ボタンを押して応答します。

「自動」

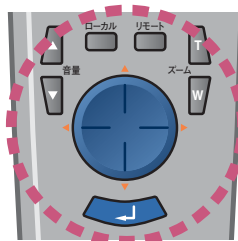
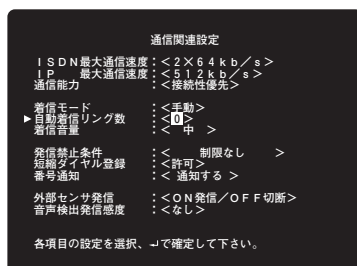
着信したときに自動的に応答します。

「選択」

短縮ダイヤルに登録してある相手のみ着信します。

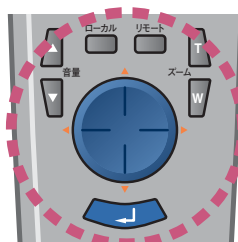
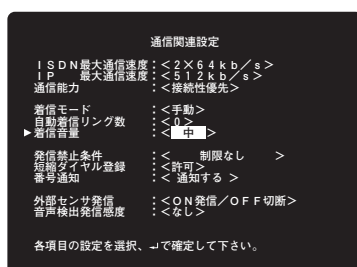
「拒否」

着信を自動的に拒否します。監視用などで発信専用にする場合などに使用します。



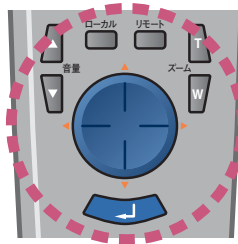
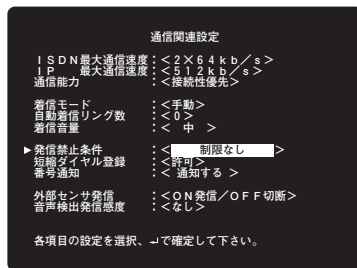
- 5 「自動着信リング数」を選び、「0」から「9」の範囲で設定します。

監視システムなどでリングを鳴らさずに着信する場合は「0」に設定してください。



- 6 「着信音量」を選び、「OFF」、「小」、「中」、「大」のいずれかを設定します。

「着信音量」を「OFF」に設定し「着信モード」を「手動」に設定すると、呼出音が鳴らないので本機を発信専用として使用する場合に便利です。



- 7 「発信禁止条件」を選び、「制限なし」、「短縮ダイヤルのみ可」、「直接ダイヤル禁止」のいずれかを設定します。

#### 「制限なし」

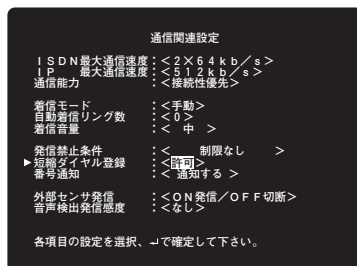
直接ダイヤル、短縮ダイヤル、リダイヤルのいずれでも発信することができます。

#### 「短縮ダイヤルのみ可」

短縮ダイヤルに設定されている相手先にしか発信できなくなります。

#### 「直接ダイヤル禁止」

直接ダイヤルで発信することができなくなります。「短縮ダイヤル」と「リダイヤル」でのみ発信することができます。「短縮ダイヤルのみ可」、「直接ダイヤル禁止」は発信を規制する場合などに使用します。



- 8 「短縮ダイヤル登録」を選び、「許可」、「禁止」を設定します。

#### 「許可」

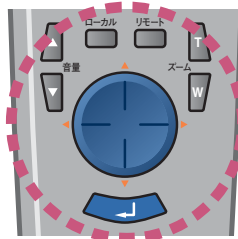
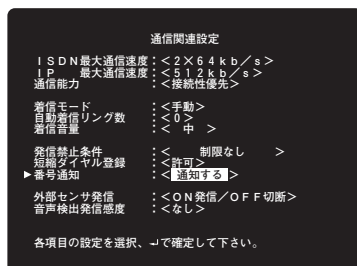
短縮ダイヤルの登録ができます。

#### 「禁止」

短縮ダイヤルの登録ができなくなります。

- ▶「短縮ダイヤル登録」3-22ページ

「発信禁止条件」と合わせて設定します。



- 9 「番号通知」を選び、「通知する」、「通知しない」、「契約に従う」のいずれかを設定します。

#### 「通知する」

相手先に発信者番号を通知します。

#### 「通知しない」

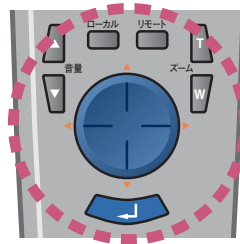
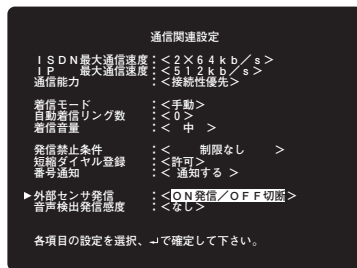
相手先に発信者番号を通知しません。

#### 「契約に従う」

発信するISDN回線の発信者番号通知契約に従って番号通知を行います。

IP回線の場合は、相手先に番号通知を行います。

INS64で「通知する」に設定していて、一時的に通知をやめたい場合は、電話番号の先頭に「184」をつけて発信してください。

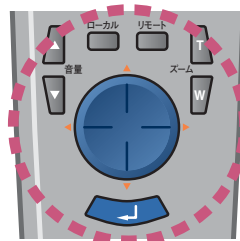
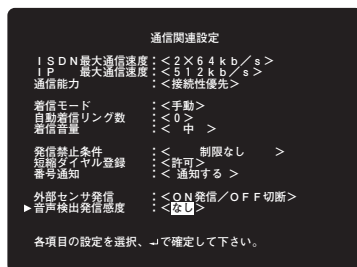


- 10 「外部センサ発信」を選び、「なし」、「ON 発信/OFF 切断」、「ON 発信のみ」、「OFF 切断のみ」、「マイクオン」のいずれかを設定します。

SERIAL コネクタに赤外線センサなどを接続すると、センサ検出した場合にあらかじめ設定した相手に自動的に発信します。

短縮ダイヤルの 98～100 番に登録した相手に 100、99、98 番の順で発信します。

「外部センサ発信」の動作は、装置背面の SERIAL コネクタの DTR (7 番ピン) と DSR (8 番ピン) 間の接点操作 (OPEN/CLOSE) にて行います。



- 11 「音声検出發信感度」を選び、「なし」および「1」から「9」の範囲で設定します。

内蔵マイクなどが音声を検出した場合にあらかじめ設定した相手に自動的に発信します。

短縮ダイヤルの 98～100 番に登録した相手に 100、99、98 番の順で発信します。

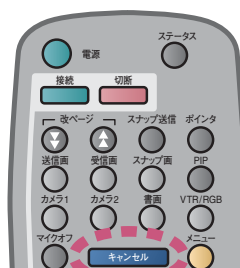
「なし」に設定すると音声検出發信を行いません。

内蔵マイクにより検出する場合は、「環境設定」→「オーディオ関連設定」→「内蔵マイク」を「ON」に設定してください。

▶ 「オーディオ関連設定」3-33 ページ

- 12 設定が終わったら [  ] ボタンを押します。

### 3 通信関連の設定が完了しました。

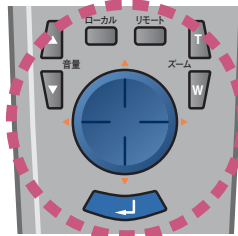


- 1 [キャンセル] ボタンを押して終了してください。

## メンテナンス ▶▶▶

本機のソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、シリアル番号、MAC アドレスの確認およびループバックテスト、環境設定の初期化、登録データの消去を行います。

### 1 「環境設定メニュー」で「メンテナンス」を選択します。



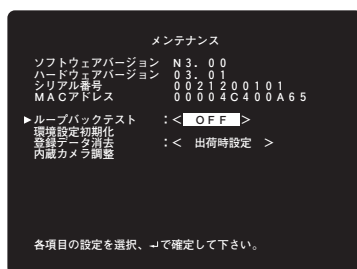
- 1 「メンテナンス」アイコンを選び、  
[ ] ボタンを押します。

### 2 メンテナンスを行います。

|             |                                                        |
|-------------|--------------------------------------------------------|
| ソフトウェアバージョン | MediaPoint IP のソフトウェアバージョンを表示します。ソフトウェアバージョンは変更できません。  |
| ハードウェアバージョン | MediaPoint IP のハードウェアバージョンを表示します。ハードウェアバージョンは変更できません。  |
| シリアル番号      | MediaPoint IP のシリアル番号を表示します。シリアル番号は変更できません。            |
| MAC アドレス    | MediaPoint IP の MAC アドレスを表示します。MAC アドレスは変更できません。       |
| ループバックテスト   | 回線や機器と接続されているか確認するためのループバックテストを行います。                   |
| 環境設定初期化     | 環境設定で設定されたデータを全てお買い上げいただいたときの状態に戻します。                  |
| 登録データ消去     | 登録情報を「出荷時設定」に戻したり、「短縮ダイヤル」、「リダイヤル」、「プリセット情報」を消去したりします。 |
| 内蔵カメラ調整     | 本機に内蔵されているカメラの位置を出荷時の状態に戻します。                          |

### 3 ループバックテストを行います。

装置が正常に動作しているか、外部機器と正しく接続されているか確認するためのループバックテストを行います。



- 1 「ループバックテスト」を選び、  
「OFF」、「VIDEO」、「AUDIO」、  
「ISDN」、「IP」を設定します。

回線が接続されていないときには  
「OFF」、「VIDEO」、「AUDIO」、「ISDN」、  
「IP」から選ぶことができます。

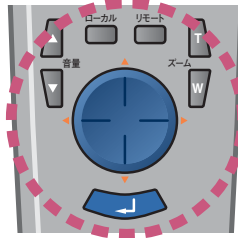
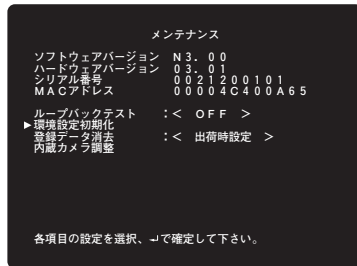
回線が接続されているときには、「OFF」、  
「VIDEO」、「AUDIO」から選ぶことが  
できます。

- 2 [ ] ボタンを押します。

ループバックテストを開始します。

#### 4 環境設定を初期化します。

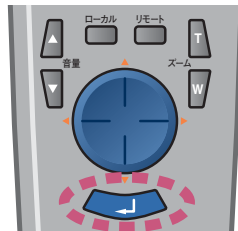
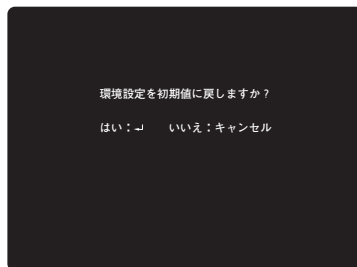
環境設定で設定されたデータを全てお買い上げいただいたときの状態に戻します。



- 1 「環境設定初期化」を選び、  
[ J ] ボタンを押します。



この操作を行うと、全ての環境設定データが消去されてしまいますので注意してください。



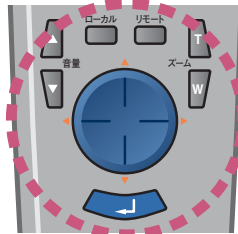
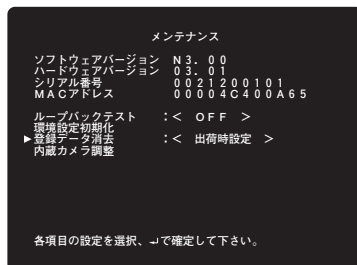
- 2 [ J ] ボタンを押します。

[キャンセル] ボタンを押すと、「メンテナンスメニュー」に戻ります。

- 3 環境設定が初期化されます。

#### 5 登録データ消去します。

登録情報を消去します。



- 1 「登録データ消去」を選び、「出荷時設定」、「短縮ダイヤル」、「リダイヤル」、「プリセット情報」を設定します。

「出荷時設定」

本機の全ての登録情報を消去して、購入時の状態に戻します。

「短縮ダイヤル」

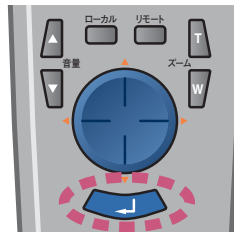
「短縮ダイヤル」のデータを消去します。

「リダイヤル」

「リダイヤル」のデータを消去します。

「プリセット情報」

「プリセット情報」のデータを消去します。



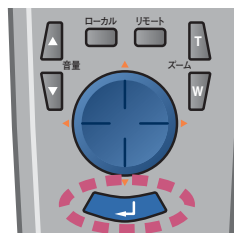
「出荷時設定」を選んだ場合

- ② [ ] ボタンを押すと、環境設定データなど本機に設定されている全ての情報が消去されます。

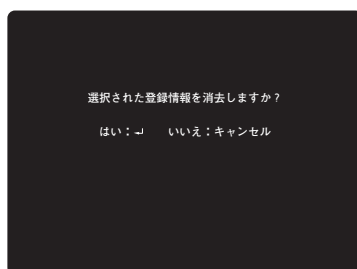


この操作を行うと、本機に設定されている全ての情報が消去されてしまいますので注意してください。

[キャンセル] ボタンを押すと、「メンテナンスメニュー」に戻ります。



- ③ 本機に設定されている全ての情報が消去されました。[ ] ボタンを押して再起動します。



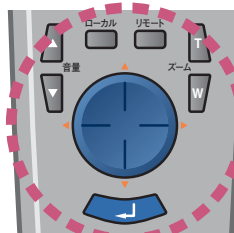
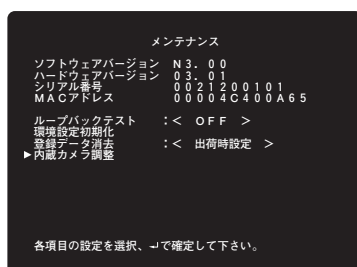
「短縮ダイヤル」、「リダイヤル」、「プリセット情報」を選んだ場合

- ② [ ] ボタンを押します。

[キャンセル] ボタンを押すと、「メンテナンスメニュー」に戻ります。

- ③ 選択された登録情報が消去されます。

## 6 内蔵カメラ調整を行います。



- ① 「内蔵カメラ調整」を選び、[ ] ボタンを押します。

※[ ] ボタンが押された時点で、本機に内蔵されているカメラの位置が出荷時の状態に戻されます。

# ミーティングネットサービス

株式会社ギンガネットのミーティングネット（多地点会議）サービスに接続できます。

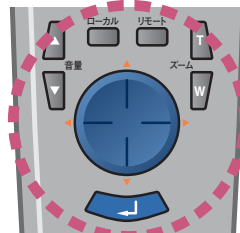
ミーティングネットサービスを利用する場合は、「環境設定」－「初期登録情報」－「オプション登録」で「GINGANET サービス」を「利用する」に設定してください。

ミーティングネットサービスに接続するためには、あらかじめ予約が必要です。詳細は株式会社ギンガネットにお問い合わせください。

## 1 「メニュー」 ボタンを押し、「メインメニュー」を表示します。



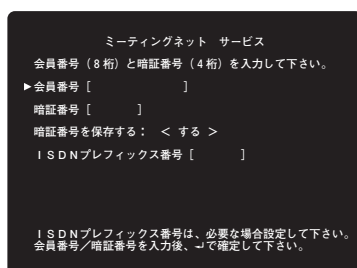
## 2 「ミーティングネットサービス」を選択します。



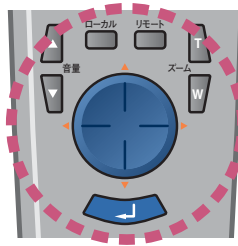
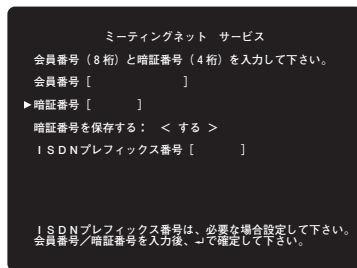
1 「ミーティングネットサービス」アイコンを選び、[ ] ボタンを押します。

## 3 ミーティングネットサービスに関する設定をします。

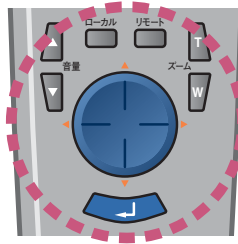
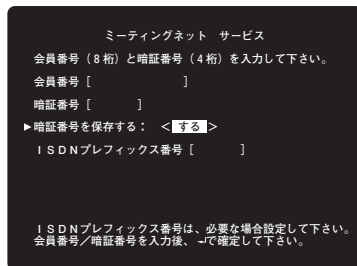
|               |                                         |
|---------------|-----------------------------------------|
| 会員番号          | ミーティングネットサービスの会員番号を入力します。               |
| 暗証番号          | ミーティングネットサービスの暗証番号を入力します。               |
| 暗証番号を保存する     | ミーティングネットサービスの暗証番号の保存を「する」、「しない」から選びます。 |
| ISDNプレフィックス番号 | ISDNのプレフィックス番号を入力します。                   |



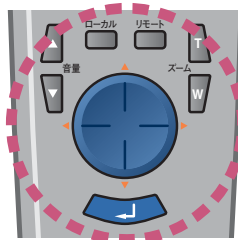
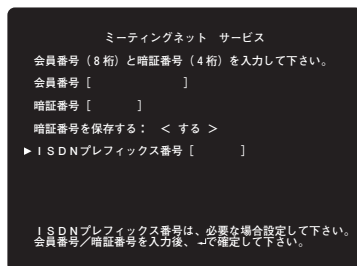
1 「会員番号」を選び、ミーティングネットサービス会員番号を入力します。



- 2 「暗証番号」を選び、ミーティングネットサービスの暗証番号を入力します。

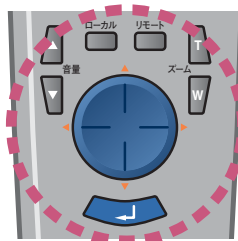
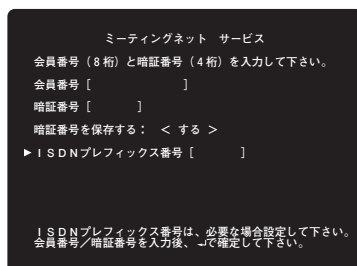


- 3 「暗証番号を保存する」を選び、「する」、「しない」を設定します。



- 4 「ISDNプレフィックス番号」を選び、ISDNプレフィックス番号を入力します。

ISDNプレフィックス番号はISDN回線が内線 (PBX) の場合に、「0」などの番号を設定します。



- 5 [ ] ボタンを押します。

#### 4 ミーティングネットサービスに接続します。



## 外部機器を設定する ▶▶▶

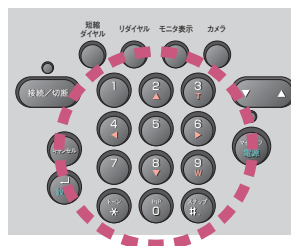
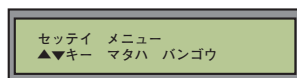
「AUDIO」につながれた外部機器の音声入出力の設定をします。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [●] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

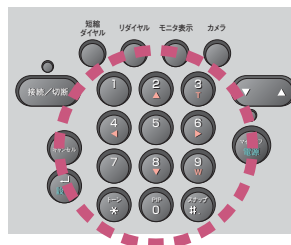
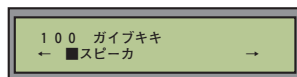
### 2 「100 ガイブキキ」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「100 ガイブキキ」を選びます。

.....  
数字キーでメニュー No.100 ([1], [0], [0] を押す) を押しても「100 ガイブキキ」を選ぶことができます。

### 3 外部機器の音声入出力を設定します。



- 1 [◀] [▶] ボタンを押して、音声入出力を「スピーカ」、「ミキサ」、「スピーカ+ミキサ」から選び、[●] ボタンを押します。

.....  
「スピーカ」

外部スピーカやヘッドホンアンプなど外部音声出力機器を使用するときに設定します。

オプションの外部スピーカ接続用ケーブル（AEC-60-C7）を使用してテレビスピーカを接続する場合は「スピーカ」に設定してください。

「ミキサ」

ミキサを使用して外部マイクを接続するときに設定します。

オプションの外部マイク（TC2100-MIC）を接続する場合には、「ミキサ」を設定しないでください。

「スピーカ+ミキサ」

外部マイクおよび外部出力機器を接続するときに設定します。

外部機器の設定内容により、接続機器および内部マイク、内蔵スピーカは以下のようになります。

| 外部機器の設定  | 接続機器                              | 内部マイク  | 内蔵スピーカ |
|----------|-----------------------------------|--------|--------|
| スピーカ     | モニタスピーカ、<br>ヘッドホンアンプ              | オン (注) | オフ     |
| ミキサ      | マイクミキサ                            | オフ     | オン     |
| スピーカ+ミキサ | モニタスピーカまたは<br>ヘッドホンアンプ+<br>マイクミキサ | オフ     | オフ     |

(注) 外部マイク (TC2100-MIC) が「EXT MIC1」、「EXT MIC2」に接続されている場合は、「内部マイク」の設定で内部マイクをオフにすることができます。

▶ 「内部マイクを設定する」 3-52 ページ

## 内部マイクを設定する ▶▶▶

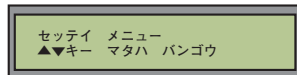
内部マイクを常にオンにするかまたは、外部マイクと連動させるかを設定します。内部マイクを連動に設定すると「EXT MIC1」、「EXT MIC2」にオプションの外部マイク（TC2100-MIC）を接続したときに、外部マイクと内部マイクのオン／オフを行います。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [設定] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

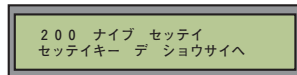
### 2 「200 ナイブ セッテイ」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「200 ナイブ セッテイ」を選びます。

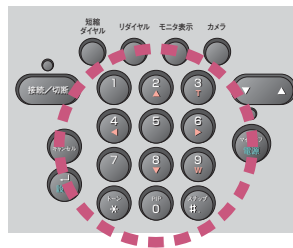
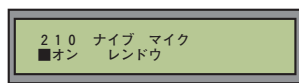
.....  
数字キーでメニューNo.200（[2]、[0]、[0] を押す）を押しても「200 ナイブ セッテイ」を選ぶことができます。

### 3 詳細を表示します。



- 1 [設定] ボタンを押して、詳細を表示します。

#### 4 内部マイクを設定します。



- 1 [◀] [▶] ボタンを押して、内部マイクの「オン」、「レンドウ」を選び、[MIC] ボタンを押します。

「オン」

Voice Unit の内部マイクと外部マイクの両方で音声を拾います。

「レンドウ」

「EXT MIC1」、「EXT MIC2」に外部マイクが接続されている場合は、Voice Unit の内部マイクがオフとなり、外部マイクのみで音声を拾います。

「EXT MIC1」、「EXT MIC2」に外部マイクが接続されていない場合は、Voice Unit の内部マイクで音声を拾います。

数字キーでメニュー No.210 ([2]、[1]、[0] を押す) を押しても「210 ナイブ マイク」を選ぶことができます。

## 内部スピーカを設定する ▶▶▶

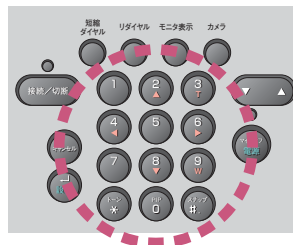
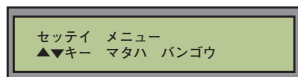
内部スピーカを外部スピーカと連動させるかまたは、オフにするかを設定します。内部スピーカを連動に設定すると、Voice Unit の「AUDIO」に外部スピーカを接続したときに、内蔵スピーカのオン/オフを行います。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [設定] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

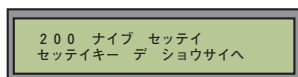
### 2 「200 ナイブ セッテイ」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「200 ナイブ セッテイ」を選びます。

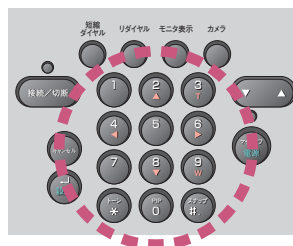
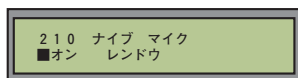
.....  
数字キーでメニューNo.200（[2]、[0]、[0] を押す）を押しても「200 ナイブ セッテイ」を選ぶことができます。

### 3 詳細を表示します。



- 1 [設定] ボタンを押して、詳細を表示します。

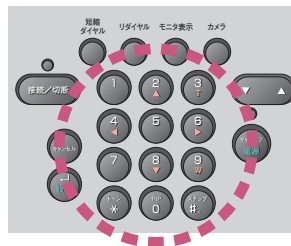
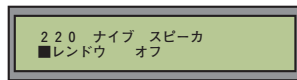
### 4 「220 ナイブ スピーカ」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「220 ナイブ スピーカ」を選びます。

.....  
数字キーでメニューNo.220（[2]、[2]、[0] を押す）を押しても「220 ナイブ スピーカ」を選ぶことができます。

## 5 内部スピーカを設定します。



- 1 [◀] [▶] ボタンを押して、内部スピーカの「レンドウ」、「オフ」を選び、[🔊] ボタンを押します。

### 「レンドウ」

Voice Unitの「AUDIO」に外部スピーカが接続されている場合は、Voice Unitの内蔵スピーカから音声を出力しません。Voice Unitの「AUDIO」に外部スピーカが接続されていない場合は、Voice Unitの内蔵スピーカから音声を出力します。

### 「オフ」

Voice Unitの内蔵スピーカから音声を出力しません。

## ハウリングやエコーを抑える ▶▶▶

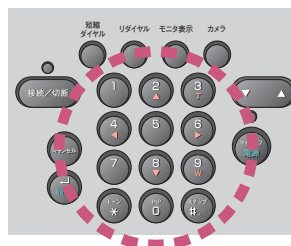
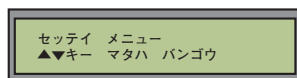
エコーサプレッサのレベルを上げるとハウリングやエコーを抑えることができます。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [ ] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

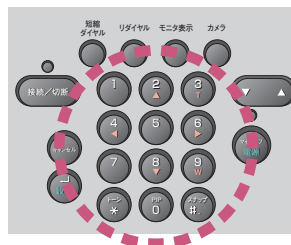
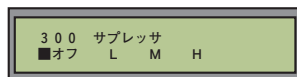
### 2 「300 サプレッサ」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「300 サプレッサ」を選びます。

.....  
数字キーでメニュー No.300 ([3]、[0]、[0] を押す) を押しても「300 サプレッサ」を選ぶことができます。

### 3 サプレッサのレベルを設定します。



- 1 [◀] [▶] ボタンを押して、サプレッサのレベルを「オフ」、「L」、「M」、「H」から選び、[ ] ボタンを押します。

.....  
「オフ」：エコーサプレッサを使用しない

「L」：エコーサプレッサレベル 弱

「M」：エコーサプレッサレベル 中

「H」：エコーサプレッサレベル 強

サプレッサのレベルを高くするとハウリングやエコーは起きにくくなりますが、音声の語頭や語尾が聞き取りにくくなります。

#### 解説

##### [エコー]

スピーカから出た音がマイクに入ること、話した声が相手側から返ってきます。これをエコーと呼びます。

エコーキャンセラーはエコーを軽減しますが、部屋の環境などによりエコーが大きくなる場合があります。

エコーサプレッサを併用することで、エコーを抑えることができます。

##### [ハウリング]

双方でのエコーが大きいとハウリングが起きることがあります。

## 音声の入力レベルを設定する ▶▶▶

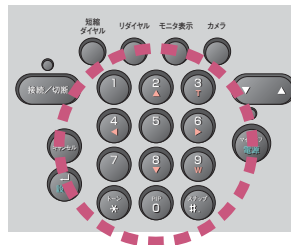
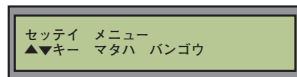
「AUDIO」につないだ外部機器からの音声入力レベルを設定します。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [設定] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

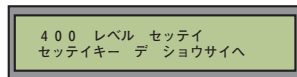
### 2 「400 レベル セッテイ」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「400 レベル セッテイ」を選びます。

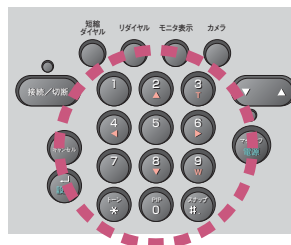
.....  
数字キーでメニューNo.400（[4]、[0]、[0] を押す）を押しても「400 レベル セッテイ」を選ぶことができます。

### 3 詳細を表示します。



- 1 [決定] ボタンを押して、詳細を表示します。

### 4 AUDIO INレベルを設定します。

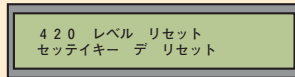


- 1 [◀] [▶] ボタンを押して、AUDIO INレベルを設定します。

.....  
数字キーでメニューNo.410（[4]、[1]、[0] を押す）を押しても「410 AUDIO IN」を選ぶことができます。

### AUDIO INレベルのリセット

AUDIO INレベルをお買い上げいただいたときの設定に戻すには、[音量] ボタンまたは [▲] [▼] を押して、[420 レベル リセット] を選び、[OK] ボタンを押します。



数字キーでメニューNo.420 ([4]、[2]、[0] を押す) を押しても「420 レベル リセット」を選ぶことができます。

## トレーニングを行う ▶▶▶

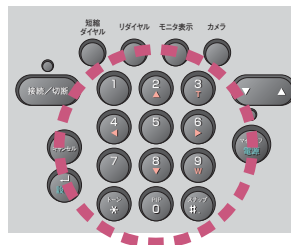
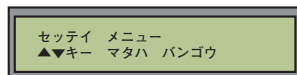
トレーニング（エコーキャンセラーの学習）を行うと、エコーキャンセラーの効果を高めることができます。  
トレーニングは、必ず通信中に行ってください。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [MUTE] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

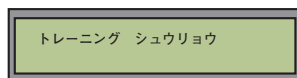
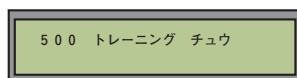
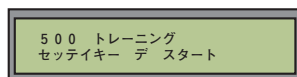
### 2 「500 トレーニング」を選びます。



- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「500 トレーニング」を選びます。

数字キーでメニューNo.500（[5]、[0]、[0] を押す）を押しても「500 トレーニング」を選ぶことができます。

### 3 トレーニングを始めます。



- 1 [MUTE] ボタンを押して、トレーニングを始めます。

トレーニングが終了するまで相手には静かにしてもらうか、マイクオフにしても構いません。

トレーニング中は「ザー」という音がスピーカから約3秒間出力されます。



- 2 トレーニングが終了したら、[MUTE] ボタンまたは [キャンセル] ボタンを2回押して、設定メニューに戻ります。

#### 解説

エコーキャンセラーはスピーカから出す音とマイクから入る音を比較してエコーを消しますが、エコーキャンセラーの学習（トレーニング）のために、会話が始まってからしばらく時間がかかります。トレーニング操作を行うとエコーキャンセラーの学習が早く終了します。

## 設定を初期化する ▶▶▶

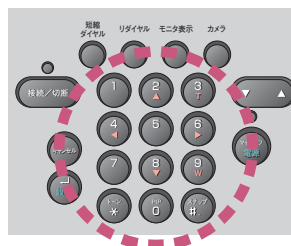
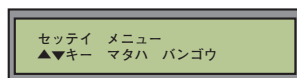
Voice Unit に設定されたデータをお買い上げいただいたときの状態に戻します。

### 1 設定メニューを表示します。



- 1 [設定] ボタンを長押し（約3秒）して、「設定メニュー」を表示します。

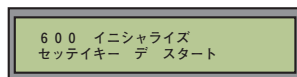
### 2 「600 イニシャライズ」を選びます。



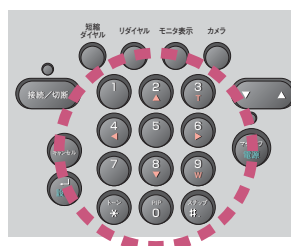
- 1 [音量] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンを押して「600 イニシャライズ」を選びます。

.....  
数字キーでメニュー No.600 ([6]、[0]、[0] を押す) を押しても「600 イニシャライズ」を選ぶことができます。

### 3 初期化を始めます。



- 1 [設定] ボタンを押して、初期化を始めます。



- 2 [◀] [▶] ボタンを押して、「YES」を選び、[設定] ボタンを押します。

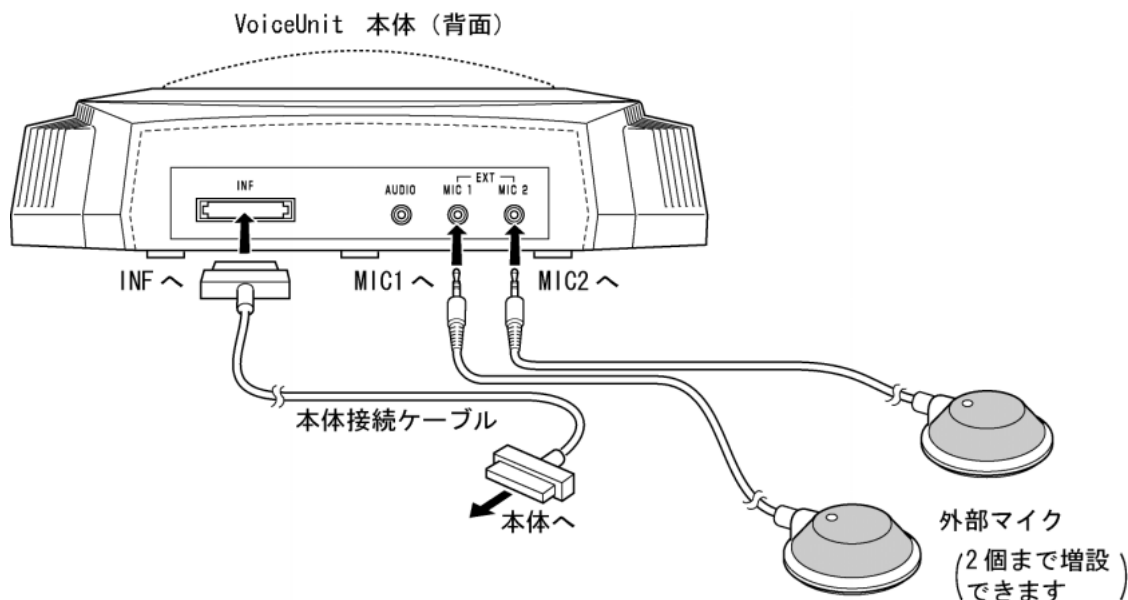
.....  
この操作を行うと、VoiceUnit に設定されている全ての情報が消去されてしまいますので注意してください。

## Voice Unit 外部機器接続例 ▶▶▶

### 外部マイク接続例

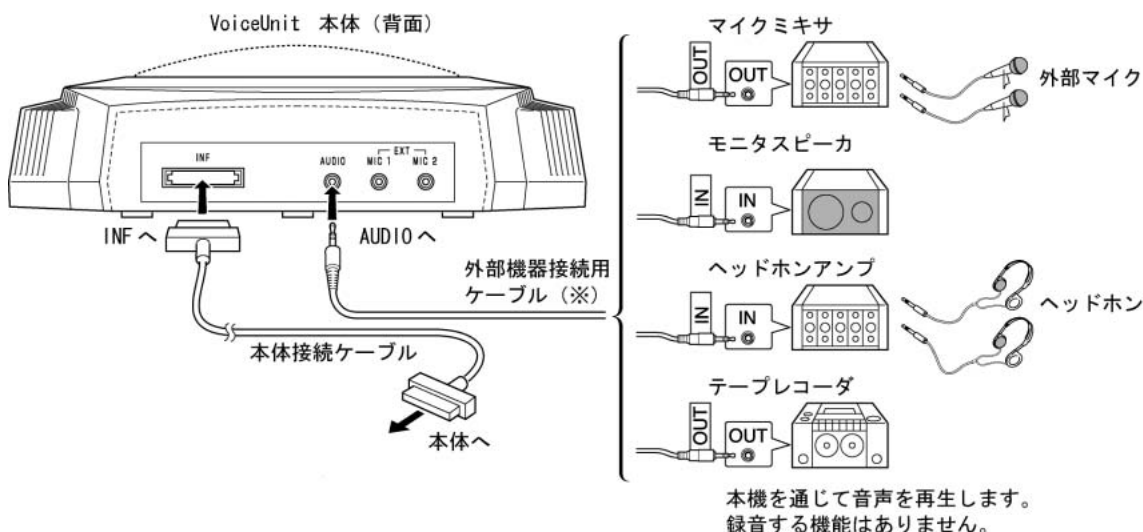
Voice Unit と外部マイクを接続します。

外部マイクは、本機の“MIC1” または “MIC2” に接続します。



### 外部機器 (マイクミキサ・モニタスピーカ・ヘッドホンアンプ) 接続例

Voice Unit の“AUDIO” 入力端子とマイクミキサ・モニタスピーカ・ヘッドホンアンプを外部機器接続用ケーブル (オプション) で接続します。



(※) モニタスピーカ出力のための、外部スピーカ接続用ケーブル (オプション) を用意しております。

# バージョンアップ

MediaPoint IP、Voice Unit のファームウェアを最新のバージョンに書き換えます。

## MediaPoint IP のバージョンアップを行う ▶▶▶

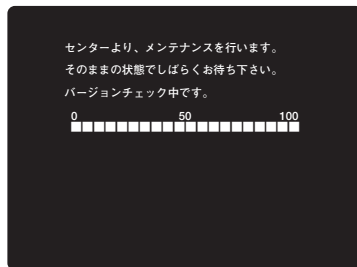
MediaPoint IP のバージョンアップ（ファームウェアのバージョンアップ）を行います。

MediaPoint IP のバージョンアップは、センターサーバへ IP 回線または ISDN 回線で接続すると自動的に行われます。  
センターサーバのアドレスおよび電話番号は、ホームページまたは VoicePoint センターでご確認ください。

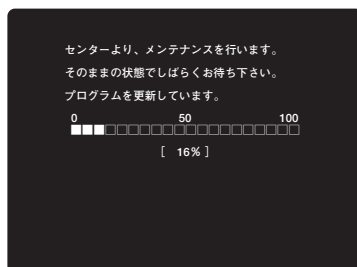
ホームページ : <http://www.nec-eng.com/>

VoicePoint センター : フリーダイヤル 0120-343010

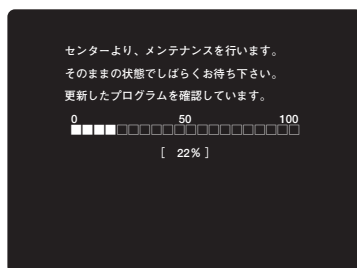
### 1 センターサーバに接続します。



- 1 ファームウェアのバージョンチェックが行われます。



- 2 使用しているファームウェアのバージョンが古い場合、センターサーバからプログラムがダウンロードされ、更新されます。



- 3 更新されたプログラムの確認が行われます。

再起動されます。

## Voice Unit のバージョンアップを行う ▶▶▶

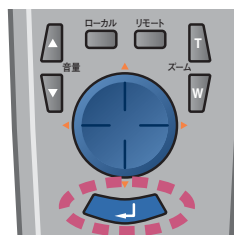
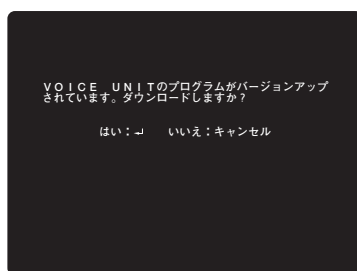
Voice Unit のファームウェアを最新バージョンに置き換えます。

Voice Unit を接続した状態で MediaPoint IP の主電源を ON にすると、Voice Unit のファームウェアのバージョン確認が行われます。Voice Unit のファームウェアが MediaPoint IP 本体にある Voice Unit のファームウェアより古い場合に「Voice Unit のバージョンアップ」画面が表示されます。

Voice Unit のファームウェアは MediaPoint IP 本体からダウンロードします。

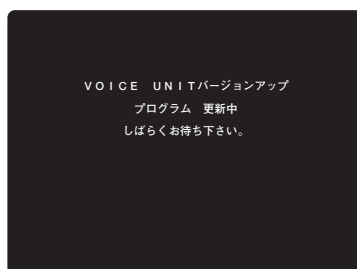
通常、MediaPoint IP 本体のファームウェアをダウンロードした際に Voice Unit のファームウェアも同時にダウンロードされます。

### 1 「Voice Unit のバージョンアップ」画面が表示されます。

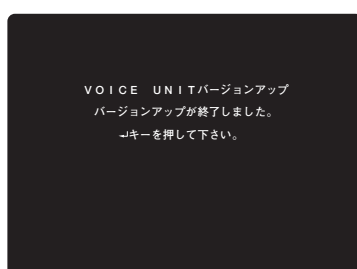


1 [ J ] ボタンを押します。

## 2 Voice Unitがバージョンアップされます。



## 3 Voice Unitのバージョンアップが完了しました。



1 [ ← ] ボタンを押して終了してください。

「回線接続メニュー」が表示されます。



|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 故障かな？と思ったら .....            | 4-2 |
| MediaPoint IPに関する情報提供 ..... | 4-2 |
| アラームメッセージ一覧 .....           | 4-3 |
| 切断理由コード一覧 .....             | 4-4 |
| よくある質問と回答 .....             | 4-6 |

## 故障かな？と思ったら

| 症状                | 対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| POWERランプ（緑）が点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> <li>MediaPoint IP本体にACアダプターが接続されているか確認してください。</li> <li>ACアダプターが電源コンセントに接続されているか確認してください。</li> <li>電源コンセントからACアダプターのプラグを抜き、再度電源コンセントに接続してください。</li> </ul>                                                                                                                                                              |
| テレビの画面に何も映らない     | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビのチャンネルまたは入力切替を確認してください。</li> <li>ビデオケーブルの接続がゆるくなっていないか確認してください。</li> <li>MediaPoint IP本体の主電源スイッチがONになっているか確認してください。</li> <li>MediaPoint IP本体の「POWER」ランプが橙色に点灯（OFFの状態）していないか確認してください。リモートコントローラーまたはVoice Unitの電源ボタンを押して緑色に点灯（ONの状態）するのを確認してください。</li> <li>カメラの設定が、使用するカメラ（カメラ1/カメラ2）になっているか確認してください。</li> </ul> |
| 画像が乱れている          | <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオケーブルの接触がゆるくなっていないか確認してください。</li> <li>IP回線でベストエフォート型の回線を使用している場合には、回線が混雑すると通信中に画像が途切れたり、止まったりすることがあります。混雑していない回線を使用してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                           |
| 画面の端が切れている        | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビの画面表示位置がずれている可能性があります。テレビで画面表示位置の調節を行ってください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| スピーカから相手の声が聞こえない  | <ul style="list-style-type: none"> <li>Voice Unitの音量が最低になっていないか確認してください。</li> <li>相手のマイクがオフになっていないか確認してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                  |
| 自分の声が相手に伝わらない     | <ul style="list-style-type: none"> <li>Voice Unitがマイクオフになっていないか確認してください。</li> <li>Voice Unitの集音性能は半径1メートル以内です。Voice Unitに近づいてお話しください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                         |
| ハウリングがおこる         | <ul style="list-style-type: none"> <li>Voice Unitを壁や遮へい物のそばから離してください。</li> <li>スピーカやマイクロホンをつさいでいないか確認し、適当な音量に調節してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |
| リモコンが効かない         | <ul style="list-style-type: none"> <li>MediaPoint IP本体に向けて操作してください。</li> <li>リモコンの電池が切れていないか確認してください。</li> <li>電池を交換する際には、正しい向きで2本同時に交換してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                |
| 相手先とつながらない        | <ul style="list-style-type: none"> <li>回線ケーブルがつながっているか確認してください。</li> <li>IP回線でルーターに接続している場合は、ルーターの設定がH.323で通信ができるように設定されているか確認してください。</li> <li>「切断理由コード」を参照して対応してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                        |

## MediaPoint IPに関する情報提供

本書をダウンロードしたホームページ（<http://www.nec-eng.com/>）では、MediaPoint IPに関する以下のような情報を提供しています（提供予定のものも含む）。

- ・ Q&A
- ・ 最新ファームウェアに関する情報
- ・ オプション機器情報
- ・ IPネットワークへの接続のための技術情報
- ・ 他のテレビ会議システムとの接続実績に関する情報

# アラームメッセージ一覧

テレビモニタ画面に端末の状態が表示されることがあります。  
表示された場合は、以下を参考に確認してください。

| 適用回線       | メッセージ    | 処置（一例）                                                                                                                                                                 |
|------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ISDN<br>IP | 回線外れ     | ①本体の「ISDN」端子とTA(DSU)側の「S/T」端子、または、本体の「LAN」端子とメディアコンバータ側（もしくはDSLモデム、ケーブルモデム等）の「LAN」端子に回線ケーブルが正しく接続されているか確認してください。<br>②TA（DSU）またはADSLモデムと壁のモジュージャックが正しく接続されているか確認してください。 |
|            | VDWN     | ・内蔵カメラを使用している場合は、内蔵カメラ故障が考えられます。修理については、VoicePointセンターまでご相談ください。<br>・外部カメラを使用している場合は、カメラの電源が入っていないか、故障している可能性があります。カメラの電源を入れ、再度確認してください。それでもアラームが発生する場合は、カメラを交換してください。 |
|            | PAR      | 本体メモリ故障です。修理については、VoicePointセンターまでご相談ください。                                                                                                                             |
|            | VREC     |                                                                                                                                                                        |
|            | FEC      | 通信が確立するまでは、本アラームが表示されることがありますが、これは正しい動作で、異常ありません。                                                                                                                      |
| ISDN       | REC      | ただし、通信開始後、しばらくしてもアラームが発生している、もしくは通信中の状態でアラームが発生し、しばらくしても復旧しない場合は、通信上の問題が考えられます。VoicePointセンターまでお問い合わせください。                                                             |
|            | CRC      |                                                                                                                                                                        |
|            | 相手 REC   |                                                                                                                                                                        |
| IP         | PPP LINK | 「IP接続設定」にて、「PPPoE機能」の部分の設定を確認してください。設定内容については、契約されている回線事業者、またはインターネットプロバイダにご確認ください。                                                                                    |
|            | PPP 認証   | 「IP接続設定」にて、「PPPoE機能」の部分の「ユーザ名」「パスワード」が正しく入力されているか確認してください。入力を間違えている可能性があります。                                                                                           |
|            | DHCP     | 「IP接続設定」にて、「DHCP機能」の部分の設定を確認してください。設定内容については、契約されている回線事業者、またはインターネットプロバイダにご確認ください。                                                                                     |
|            | ルータ断     | ルータとの通信異常です。ルータを確認してください。                                                                                                                                              |
|            | UPnP     | UPnP通信異常です。ルータを確認してください。                                                                                                                                               |
|            | PORT MAP | UPnPで空いているポートがなく、ポートマッピング異常です。ルータを確認してください。                                                                                                                            |
|            | WAN断     | ルータのWAN側が接続されていません。接続を確認してください。                                                                                                                                        |
|            | RTP LOSS | IP通信回線で通信速度が低下しています。<br>・IP通信回線は、ベストエフォート型のため、たびたびこのようなメッセージが表示されます。コンテンツサービスや会議などの大切な通信には安定したISDN回線をお勧めします。                                                           |

## 運用上の注意

IP通信回線（光ファイバー、ADSL、ケーブルテレビ回線など）は、一般に、通信速度および接続可能性について、最善を尽くすように努力をするだけで一切保証しない、という前提で安価で高速な通信を提供しています（ベストエフォート型の通信）。

以下のような場合には通信中に映像や音声が乱れたり・途切れたり、回線が切断したりすることがあります。

- ・他の人が同時に通信して回線が混み合った場合
- ・異なる通信事業者やプロバイダに加入している端末同士で接続した場合
- ・IP通信回線の通信事業者が保守作業中の場合

問題なく通信できている様に見えても、曜日・時間帯・その通信事業者への加入者数の増減・イベントの有無などにより状況が変わります。

ADSLやケーブルテレビ回線は、「下り」（相手から情報を受け取る方向）の通信速度に比べて、「上り」（自分から相手に情報を届ける方向）の通信速度が遅く設定されています。テレビ電話通信は「上り」の通信速度が重要なため、ADSLやケーブルテレビの場合、通信中に映像や音声の乱れ、途切れ、回線が切断されたりする可能性が高くなります。

「上り」の通信速度も速い、光ファイバーのご利用をお勧めします。

## 切断理由コード一覧

通信中に回線が切断されると、テレビモニタの画面に3桁の数字（切断理由コード）とメッセージが表示されます。以下の数字が表示された場合は、お客様ご自身で解決できる問題ですので、切断理由を参考に確認してください。

| 適用回線    | メッセージ                                 | 切断理由コード    | 切断理由                             | 処置（一例）                     |
|---------|---------------------------------------|------------|----------------------------------|----------------------------|
| ISDN    | この番号は現在使われておりません。                     | 001        | 現在欠番のため、着信ができません。                | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|         | 使用可能な回線がありません。                        | 002<br>003 | 指定中継網を認識できません。<br>相手へのルートがありません。 |                            |
|         | 相手端末と通信できません。                         | 006        | 指定されたチャンネルが利用できません。              | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。  |
|         |                                       | 034        | 現在、利用可能な回線/チャンネルがありません。          | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|         | このチャンネルは現在使用中です。                      | 007        | 既に設定されているチャンネルに接続されました。          | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。  |
| ISDN IP | 正常に切断しました。                            | 016        | 呼の切断復旧要求により切断しました。               | —                          |
| ISDN    | 正常に切断しました。                            | 031        | その他の正常状態報告により切断しました。             | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。  |
| ISDN IP | 相手側が話し中（通信中）です。                       | 017        | 相手側が他と通信中です。                     |                            |
| ISDN    | 相手端末の応答がありません。<br>相手を呼び出しましたが、誰も出ません。 | 018        | 呼設定のメッセージに対して応答がありません。           | 相手側端末の状態を確認してください。         |
|         |                                       | 019        | 呼出メッセージ受信後、応答がありません。             |                            |
|         |                                       | 901        | 発呼時50秒経過しても応答がありません。             |                            |
| ISDN IP | 相手側に接続を拒否されました。                       | 021        | 着信呼を拒否されました。                     | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
| ISDN    | 相手先の番号が変わりました。                        | 022        | 相手の端末番号変更になっています。                |                            |
|         | 着信が取り消されました。                          | 026        | ユーザが着信呼を得られませんでした。               |                            |
|         | 相手側の電源が切れています。                        | 027        | 相手端末の電源が入っていません。                 | 相手側端末の状態を確認してください。         |
| ISDN IP | 番号に誤りがあります。                           | 028        | 無効なフォーマットまたは不完全番号です。             | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
| ISDN    | このサービスは現在利用できません。                     | 029        | 要求のファシリティが提供できません。               | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|         |                                       | 049        | 要求された品質（QOS）が提供されていません。          |                            |
|         |                                       | 050        | 要求ファシリティの手続きがされていません。            |                            |
|         |                                       | 058        | 現在、利用不可の伝達能力が要求されました。            |                            |
|         |                                       | 065        | 要求の伝達能力をサポートしていません。              |                            |
|         |                                       | 066        | 要求のチャンネル種別をサポートしていません。           |                            |
|         |                                       | 069        | 要求の付加サービスをサポートしていません。            |                            |
|         | 接続できませんでした。                           | 079        | サービス未提供です。                       | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|         |                                       | 030        | 状態問合せを受信しました。                    | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|         |                                       | 043        | アクセス情報要素を相手に送信できません。             | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。  |
|         |                                       | 057        | 未許可の伝達能力が要求されました。                | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|         |                                       | 083        | 中断呼識別番号と異なる番号が使用されました。           | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|         |                                       | 084        | 使用中である中断呼識別番号が使用されました。           |                            |
|         |                                       | 085        | 呼識別番号が使用されていません。                 |                            |
|         |                                       | 086        | 既に中断呼が切断されています。                  |                            |
|         |                                       | 095        | その他の無効メッセージです。                   |                            |
|         |                                       | 096        | 必要な情報要素が不足しています。                 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
|         |                                       | 097        | 未定義/未提供メッセージを受信しました。             | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。     |
|         |                                       | 098        | メッセージの不一致です。                     |                            |
|         |                                       | 099        | 情報要素が未定義です。                      |                            |
|         |                                       | 100        | 情報要素の内容が未定義です。                   |                            |
|         |                                       | 101        | 受信メッセージと呼状態が不一致です。               |                            |
|         |                                       | 102        | 状態問合せを受信しました。                    |                            |
|         |                                       | 111        | タイムアウトになりました。                    |                            |
|         |                                       | 127        | その他の手順に誤りがあります。                  |                            |
|         |                                       | 916        | 内部状態（呼状態）が不一致です。                 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。  |
|         |                                       | 917        | 回線（レイヤ3）の初期化が未完了です。              |                            |
|         |                                       | 918        | 回線（レイヤ3）の初期化に失敗しました。             |                            |
|         |                                       | 919        | 内部状態（CES指定）が不一致です。               | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。  |
|         |                                       | 038        | 網が機能的に正常ではありません。（網故障）            |                            |
|         | 回線の異常です。                              | 038        | 網が機能的に正常ではありません。（網故障）            |                            |

| 適用<br>回線   | メッセージ                              | 切断理由<br>コード | 切断理由                                      | 処置（一例）                                                      |
|------------|------------------------------------|-------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ISDN       | 相手側の回線の異常です。                       | 041         | 一時的に網が正常ではありません。                          | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                   |
|            |                                    | 042         | 交換機が混み合っています。                             |                                                             |
|            | ただいま回線が混み合っています。                   | 047         | その他の網が込み合っています。                           | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。                                  |
|            | 相手端末との通信ができません。<br>この回線は現在利用できません。 | 044         | 通知された回線/チャンネルが提供できません。                    | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                   |
|            |                                    | 063         | その他のサービスが利用できません。                         |                                                             |
|            | 56k モードしか利用できません。                  | 070         | 要求伝達能力のうち、制限デジタル伝送能力のみサポートしています。          | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。                                  |
|            | もう一度おかけ直してください。                    | 081         | 現在利用の呼番号とことなる呼番号が使用されました。                 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。                                      |
| ISDN<br>IP |                                    | 082         | 無効のチャンネル番号が使用されました。                       |                                                             |
|            | 相手端末の種類が違います。                      | 088         | 端末装置の属性が一致していません。                         |                                                             |
| ISDN       | 使用可能な回線がありません。                     | 091         | 中継網のフォーマットが正常ではありません。                     | ISDN ケーブルが抜けていないか確認してください。                                  |
|            | 電話線が外れています。                        | 903         | 発呼時、回線（レイヤ1）が異常です。                        |                                                             |
|            | 回線に異常があります。                        | 904         | 発呼時、回線（レイヤ2）が異常です。                        | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。                                  |
|            |                                    | 906         | 発呼時、回線（レイヤ3）が異常です。                        |                                                             |
|            | 回線異常か、契約が異なります。                    | 905         | 回線が異常かまたは契約が異なります。                        |                                                             |
|            | 初期化により切断しました。                      | 908         | 網から初期設定要求を受信しました。                         |                                                             |
|            |                                    | 909         | リスタート応答待ち時にタイムアウトとなりました。                  |                                                             |
| IP         | 回線がはずれているか、または異常です。                | 920         | イーサネットリンク異常です。                            | LAN ケーブルが抜けていないか確認してください。                                   |
|            | PPP リンク異常です。                       | 921         | PPPoE リンク異常です。                            | 「IP ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の設定を確認してください。                        |
|            | PPP 認証異常です。                        | 922         | PPP 認証異常です。                               | 「IP ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の「ユーザID」「パスワード」が正しく入力されているか確認してください。 |
|            | 自室 IP アドレスが未取得です。                  | 924         | 自室 IP アドレス未取得または未設定です。                    | 「IP ネットワーク設定」にて、「DHCP」設定ならびに「IP アドレス」設定を確認してください。           |
|            | IP アドレスが変更されました。                   | 925         | DHCP 取得 IP アドレスのリース期間が切れとなりました。           | 新しく取得した IP アドレスを確認してください。                                   |
|            | DNS サーバアドレスが未取得です。                 | 926         | DNS の IP アドレス未取得または未設定です。                 | DNS サーバアドレスの通知がありません。契約されている回線業者またはインターネットプロバイダに確認してください。   |
|            | 要求 URL が DNS に未登録です。               | 927         | 要求 URL が DNS に未登録です。                      | ネットワーク管理者に確認してください。                                         |
|            | ゲートキーパーが見つかりませんでした。                | 930         | ゲートキーパーが見つかりませんでした。                       | ゲートキーパー設定およびゲートキーパーサーバを確認してください。                            |
|            | ゲートキーパーに登録できませんでした。                | 931         | ゲートキーパーに登録できませんでした。                       | ゲートキーパー設定を確認してください。                                         |
|            | ゲートキーパーから参加を拒否されました。               | 932         | ゲートキーパーから参加を拒否されました。                      | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                   |
|            | 接続相手が見つかりませんでした。                   | 933         | 接続相手が見つかりませんでした。                          | 接続相手側端末の状態および番号を確認してください。                                   |
|            | IP 接続設定に誤りがあります。                   | 935         | IP 接続設定に誤りがあります。                          | 「IP ネットワーク設定」にて、設定を確認してください。                                |
|            | TCP コネクションが確立できませんでした。             | 936         | 相手端末と通信できません。<br>TCP コネクションが確立できませんでした。   | 回線および相手側端末を確認してください。                                        |
|            | TCP コネクションにタイムアウトしました。             | 937         | 相手の応答がありません。<br>TCP コネクションでタイムアウトが発生しました。 | 回線および相手側端末を確認してください。                                        |
|            | 相手を呼び出しましたが、誰も出ません。                | 938         | 相手を呼び出しましたが、誰も出ません。                       | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。                                   |
|            | 回線に異常があります。                        | 999         | IP が混み合って、通信速度が低下しました。                    | 回線状況により通信帯域が低下して回線が切断される場合があります。                            |

## よくある質問と回答

### 会議に参加できる人数について

Voice Unit を使った会議への参加人数は、5 名～6 名が目安です。参加人数が多い場合には、Voice Unit の他にオプションの外部マイクをお使いください。

### 2 カ所以上の会議室を使って会議をしたい（多地点会議）

別売の TC5000EX100（MCU オプション付き）を使うと、最大 4 カ所（4 地点）を結んだ会議を行うことが可能です。また、株式会社ギンガネットのミーティングネットサービスなどを利用して多地点会議を行うこともできます。

### 回線への接続部分と MediaPoint IP を設置する場所が離れている

MediaPoint IP に付属されている回線ケーブルは 5m（ストレート・カテゴリ 5）です。

MediaPoint IP と通信機器（TA や ADSL モデムなど）までの距離が 5m 以上ある場合は、必要な長さの回線ケーブル（ストレート・カテゴリ 5）を電気店・パソコンショップなどでお買い求めください。

### テレビの代わりにパソコンのモニターを使いたい

テレビの代わりにパソコンのモニターを利用する場合は、ご利用になるパソコンにビデオキャプチャボードなど、テレビモニタとして使用するための機器が必要となります。

**注意：**MediaPoint IP は、一般のテレビと接続されることを前提としています。

したがって、テレビの代わりにパソコンのモニターを使用したことによりパソコン等に不具合が発生した場合、弊社では責任を負いかねますので、ご注意ください。

### 通信料について

MediaPoint IP ご利用時の通信料は、ISDN 回線または IP 回線により異なります。通信料についてはお客様が契約されている電話会社またはインターネットプロバイダ等にお問合せください。

**注意：**回線切断時に表示される通信料金の表示は目安となります。実際の請求金額とは異なります。

### 一般電話機との通話について

ISDN 回線でお使いの場合は、一般電話機との通話が可能です。

IP 回線でお使いの場合は、一般電話機とは通話できません。



|                    |     |
|--------------------|-----|
| 保証書とアフターサービス ..... | 5-2 |
| 用語集 .....          | 5-3 |
| 構成機器とオプション品 .....  | 5-5 |
| 主な仕様 .....         | 5-6 |
| コネクタ情報 .....       | 5-7 |
| 出荷時設定情報 .....      | 5-8 |

## 保証書とアフターサービス

### 保証書について

- ・この製品には保証書がついています。
- ・ご購入時に「販売店名・保障期間・購入年月日」が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。販売店記入がない場合は領収書を提示していただくことがありますので、領収書と一緒に保管してください。
- ・保障期間はご購入日から1年間です。
- ・保証書を紛失したり、分解や改造したりすると保障期間内であっても修理は有料になります。また、修理できないことがあります。

### 保障期間中の修理は

- ・保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保障期間経過後の修理は

- ・修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により、有料で修理させていただきます。

### 修理を依頼するときは、次のことをお知らせください

- ・お名前、住所、電話番号
- ・機種名：MediaPoint IP TC モデル/SV モデル/NC モデル
- ・ご購入年月日
- ・シリアルナンバー（本体製造番号）
- ・故障の状態（できるだけ詳しく）

### ユーザー登録について

- ・ホームページ上にユーザー登録フォームを用意しております。今後のサポートならびお知らせのためにユーザー登録をしておいてください。

### アフターサービスについて

- ・修理を依頼する前に、もう一度本書および取扱説明書をご覧になり、故障かどうか確認の上、お買い求めの販売店またはVoicePointセンターにご依頼ください。  
VoicePoint センター：フリーダイヤル 0120-343010  
E-mail : mp@neec.tmg.nec.co.jp  
ホームページ：http://www.nec-eng.com/

## 用語集

### B チャンネル

ISDN は、複数の「チャンネル」という通信路で構成されています。この通信路のうち音声やデータ、ファクシミリ通信などの情報を送受信するチャンネルを「B チャンネル」といいます。

INS ネット 64 には 2 本の B チャンネルがあるので、電話を 2 回線同時に使用したり、電話をしながらインターネットに接続したりできます。

MediaPoint IP を ISDN 回線で使用する場合は、B チャンネルを 2 本使用します。したがって、MediaPoint IP の通信中に電話がかかってくると話中となります。

### DNS (Domain Name System)

TCP/IP ネットワークなどの IP アドレスやドメイン名を管理するための分散型データベースシステムです。

IP 通信を行う場合、本来は IP アドレスを使用しますが、IP アドレスは数字だけで構成されているため、覚えにくく間違いやすいといった使いづらさがあります。そのために IP アドレスに名前（ドメイン名）をつけ、使いやすくするのが DNS というシステムです。

### DSU (Digital Service Unit : デジタル回線終端装置)

ISDN 回線に通信機器を接続する際に必要な装置です。

MediaPoint IP を ISDN 回線で使用する場合は、「モジュージャック」→「DSU」→「TA」→「MediaPoint IP」の順に接続します。

### IP (Internet Protocol)

発信元のホストから目的のホストへデータを送り出すための、データ送信を目的としたネットワークプロトコルです。

IP アドレスを使用したパケット通信を行います。

### IP アドレス (Internet Protocol Address)

IP ネットワークに接続するネットワークやコンピュータのネットワークインターフェースに割り振る一意な番号のことです。インターネットに接続している端末一つ一つに付けられた住所のようなもので、例えば「192.168.100.100」のように表記します。これを人間が覚えやすいように書き換えたものを「ドメイン」といいます。

### ISDN (Integrated Service Digital Network : 総合デジタル通信網)

デジタル信号を送受信するための通信網です。アナログ電話回線 2 本分の容量があるため電話を 2 回線同時に使用したり、電話をしながらインターネットに接続したりできます。

「INS64」は NTT が提供するサービスの名称で、アナログ回線（一般加入電話回線）にないさまざまなサービス（通話料金の通知など）を利用できます。

MediaPoint IP を ISDN 回線で使用する場合は、2 回線分の容量（B チャンネル）を使用します。したがって、MediaPoint IP の通信中に電話がかかってくると話中となります。

### S/T 端子

TA などにデジタル電話機や G4 ファクシミリなどのデジタル通信機器を接続するための端子（コネクタ）です。

MediaPoint IP を ISDN 回線で使用する場合は、S/T 端子に接続します。

（S/T 端子は、TA などの種類により名称がことなることがあります。）

### TA (Terminal Adapter : ターミナルアダプタ)

デジタル回線 (ISDN回線) に、パソコン、アナログ電話機、G3 ファクシミリなどを接続するための装置です。

ターミナルアダプタにより、DSU (デジタルサービスユニット) に接続して使用するものと、DSU を内蔵しているものがあります。

### ゲートウェイ (Gateway)

組織内のネットワークと外部のネットワークを接続するための窓口となる機器またはソフトウェアです。

### サブネットマスク (Subnet mask)

IP アドレスをネットワークアドレスとホストナンバーに分けるためのマスクビット列のことです。

例えば、同一社内での複数のネットワークをルータによって接続した場合は、お互いが違ったネットワークであることを明示する必要があります。このときに、サブネットマスク内のサブネットの部分を変更することで別のネットワークであることを表すことができます。

## 構成機器とオプション品

### 構成機器

| 構成機器                       | MediaPoint IP TC モデル | MediaPoint IP SV モデル | MediaPoint IP NC モデル |
|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| MediaPoint IP 本体（カメラ内蔵）    | ○                    | ○                    | —                    |
| MediaPoint IP 本体（カメラ無し）    | —                    | —                    | ○                    |
| Voice Unit                 | ○                    | —                    | —                    |
| Voice Unit 接続ケーブル（5m）      | ○                    | —                    | —                    |
| 専用リモートコントローラー              | ○                    | —                    | —                    |
| 専用 AC アダプター（AC100V 用）      | ○                    | ○                    | ○                    |
| 回線ケーブル（LAN/ISDN 兼用 5m）     | ○                    | ○                    | ○                    |
| ビデオケーブル（2m）                | ○                    | ○                    | ○                    |
| リファレンスガイド（MediaPoint IP 編） | ○                    | ○                    | ○                    |
| リファレンスガイド（Voice Unit 編）    | ○                    | —                    | —                    |
| 簡単操作マニュアル                  | ○                    | ○                    | ○                    |

### オプション品

| オプション                 | 品番         |
|-----------------------|------------|
| 外付けカメラ（ケーブル無し）        | PST-CAM2   |
| カメラ制御ケーブル（3m）         | TC2100-C01 |
| パソコン接続ケーブル（3m）        | TC2100-C02 |
| 外部スピーカ接続用ケーブル（RCA 5m） | AEC-60-C7  |
| 外部機器接続用ケーブル（1m）       | AEC-60-C8  |
| 外部マイク（ケーブル長 3m）       | TC2100-MIC |
| 専用リモートコントローラー         | TC2100-RC  |
| Voice Unit            | TC2100VU   |

## 主な仕様

### MediaPoint IP 本体

| 項目         |                                                  |                                          | 仕様                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際標準<br>対応 | 端末<br>画像符号化<br>音声符号化                             |                                          | H.320 (ISDN)、H.323 (IP)<br>H.261<br>G.711 (3.4kHz)、G.722 (7kHz)、G.728 (3.4kHz)                                                                                                                                                                                                            |
| 通信         | 回線インターフェース<br>通信速度<br>IP プロトコルなど                 | ISDN<br>IP (Ether)<br>ISDN<br>IP (Ether) | BRI (NTT INS64 対応)<br>10BASE-T/100BASE-TX (LAN、光ファイバー、ADSL、ケーブルテレビ等対応)<br>64kbps ~ 128kbps<br>64kbps ~ 512kbps<br>UPnP、PPPoE                                                                                                                                                              |
| 映像         | 内蔵カメラ ※1<br>Video 出力<br>Video 入力<br>解像度<br>フレーム数 |                                          | 41 万画素 CCD カメラ、電動 (パン/チルト)、光学 2 倍ズーム<br>RCA × 1、S-VIDEO × 1<br>RCA × 1、S-VIDEO × 1<br>FCIF (352 × 288)、QCIF (176 × 144)、静止画 (704 × 576)<br>CIF : 最大 15 フレーム、QCIF : 最大 30 フレーム                                                                                                             |
| 音声         | 内蔵マイク<br>VTR 音声入出力                               | インターフェース<br>コネクタ形式                       | 音声監視用マイク内蔵 (本体に 1 個内蔵)<br>アナログ音声入出力<br>RCA × 2                                                                                                                                                                                                                                            |
| 制御         | システム制御<br>外部カメラ制御                                | Ir リモコン<br>シリアル                          | 専用リモートコントローラー ※2<br>DIN 8 PIN、調歩同期、9.6kbps ~ 115.2kbps<br>シリアルインターフェースに電動カメラを接続可能 (SONY EVI-D30 など)<br>リモート制御可能                                                                                                                                                                           |
| 諸元         | 質量/寸法<br>電源<br>動作環境                              |                                          | MediaPoint IP TC/SV モデル : 1.3kg 以下 / 280mm (W) × 200mm (D) × 80mm (H)<br>MediaPoint IP NC モデル : 1.3kg 以下 / 280mm (W) × 200mm (D) × 45mm (H)<br>AC アダプタ (100V ~ 240V)、約 25W (Voice Unit を含む) ※2<br>AC アダプタ (100V ~ 240V)、約 15W ※3<br>温度 : 5 ~ 35℃、湿度 : 20 ~ 80% (結露無きこと)<br>VCCI クラス A に準拠 |

※1 MediaPoint IP TC/SV モデルに搭載

※2 MediaPoint IP TC モデル

※3 MediaPoint IP SV/NC モデル

### Voice Unit

| 項目    |                                                   |                                                                | 仕様                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音声入出力 | 本体接続コネクタ<br>内蔵マイク<br>拡張マイク<br>内蔵スピーカ<br>Audio 入出力 | インターフェース<br>コネクタ形式<br>インターフェース<br>コネクタ形式<br>インターフェース<br>コネクタ形式 | アナログ音声入出力 (7kHz 帯域)<br>専用コネクタ (専用ケーブルで接続)<br>本体 4 カ所に内蔵<br>専用マイクインターフェース : × 2<br>φ 3.5mm ステレオミニジャック : × 2<br>中央に 1 個内蔵<br>アナログ音声入出力<br>φ 3.5mm ステレオミニジャック |
| 表示    | LCD 表示<br>操作キー<br>LED 表示                          |                                                                | 16 × 2 キャラクタ表示 (バックライトあり)<br>22 キー<br>接続/切断、電源/マイクオフ                                                                                                       |
| 音声処理  | 符号化方式<br>エコー制御方式                                  |                                                                | 16bit リニア PCM/7kHz<br>エコーキャンセラー AEC : 128ms<br>エコーサプレッサ 適応動作                                                                                               |
| 諸元    | 質量<br>寸法                                          |                                                                | 1.3kg 以下<br>225mm (W) × 315mm (D) × 62mm (H) (突起含めず)                                                                                                       |

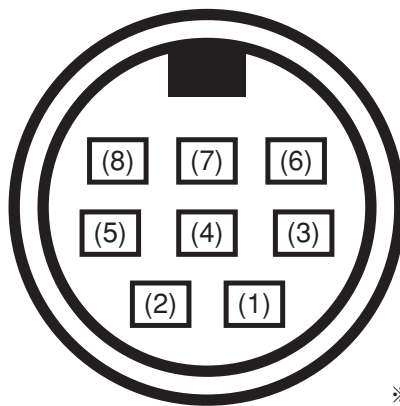
## コネクタ情報

### SERIAL コネクタピン配列 ▶▶▶

MediaPoint IP の SERIAL コネクタは、RS-232C 8 ピンコネクタ（メス）です。パソコンなどの外部機器を接続するときは、専用のパソコン接続ケーブル（TC2100-C02）を使用してください。

パソコン接続ケーブル（TC2100-C02）のコネクタは、RS232C 8 ピンコネクタ（オス）[MediaPoint IP 側] ←→ D-Sub9 ピンコネクタ（オス）[パソコン側] です。

#### 【形状（MediaPoint IP 本体の背面から見た図）】



※（ ）内の数字はピン番号です。

#### 【ピンアサイン】

| ピン番号 | 信号名（略称） | 機能          |
|------|---------|-------------|
| (1)  | RTS     | 送信要求        |
| (2)  | CTS     | 送信可         |
| (3)  | SD      | 送信データ       |
| (4)  | GND     | グラウンド       |
| (5)  | RD      | 受信データ       |
| (6)  | —       | —           |
| (7)  | DTR     | データターミナルレディ |
| (8)  | DSR     | データセットレディ   |

# 出荷時設定情報

## 設定項目の初期値 ▶▶▶

メインメニューの「画面表示設定」および「環境設定」、Voice Unit の設定で設定する各項目の初期値を以下に示します。

| 設定項目                                       |                | アプリケーションの設定                      |           |           |                               |           |           |
|--------------------------------------------|----------------|----------------------------------|-----------|-----------|-------------------------------|-----------|-----------|
|                                            |                | MediaPoint IP TC/SV モデル（内蔵カメラあり） |           |           | MediaPoint IP NC モデル（内蔵カメラなし） |           |           |
|                                            |                | テレビ会議                            | 監視（送信側）   | 監視（受信側）   | テレビ会議                         | 監視（送信側）   | 監視（受信側）   |
| メインメニュー<br>—<br>画面表示<br>設定                 | PIP 表示位置       | PIP キー                           | PIP キー    | PIP キー    | PIP キー                        | PIP キー    | PIP キー    |
|                                            | スナップ画 PIP      | 受信画                              | 受信画       | 受信画       | 受信画                           | 受信画       | 受信画       |
|                                            | 時刻表示           | あり                               | あり        | あり        | あり                            | あり        | あり        |
| メインメニュー<br>—<br>環境設定<br>—<br>ビデオ<br>関連設定   | 画像符号化モード       | H261-FCIF                        | H261-FCIF | H261-FCIF | H261-FCIF                     | H261-FCIF | H261-FCIF |
|                                            | 画質モード          | 標準                               | 標準        | 標準        | 標準                            | 標準        | 標準        |
|                                            | パケットロス補償       | ON                               | ON        | ON        | ON                            | ON        | ON        |
|                                            | ビデオ入力機器の接続     | あり                               | あり        | なし        | あり                            | あり        | なし        |
|                                            | カメラ 1          | 内蔵カメラ                            | 内蔵カメラ     | なし        | 外部 VIDEO                      | 外部 VIDEO  | なし        |
|                                            | カメラ 2          | 外部 VIDEO                         | 外部 VIDEO  | なし        | S-VIDEO                       | S-VIDEO   | なし        |
|                                            | 書画             | S-VIDEO                          | S-VIDEO   | なし        | S-VIDEO                       | S-VIDEO   | なし        |
|                                            | VTR            | S-VIDEO                          | S-VIDEO   | なし        | S-VIDEO                       | S-VIDEO   | なし        |
|                                            | 外部カメラ接続先       | 外部 VIDEO                         | 外部 VIDEO  | 外部 VIDEO  | 外部 VIDEO                      | 外部 VIDEO  | 外部 VIDEO  |
|                                            | 外部カメラ種別        | PST-CAM                          | PST-CAM   | PST-CAM   | PST-CAM                       | PST-CAM   | PST-CAM   |
|                                            | カメラ 1<br>調整    | 明るさ                              | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | コントラスト                           | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | 色の濃さ                             | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | 色合い                              | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | ホワイトバランス                         | 自動        | 自動        | 自動                            | 自動        | 自動        |
|                                            | カメラ 2<br>調整    | シャッター速度                          | 自動        | 自動        | 自動                            | 自動        | 自動        |
|                                            |                | 明るさ                              | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | コントラスト                           | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | 色の濃さ                             | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            |                | 色合い                              | 00        | 00        | 00                            | 00        | 00        |
|                                            | マイクオフ機能        | 音声のみ                             | 音声のみ      | 音声のみ      | 音声のみ                          | 音声のみ      | 音声のみ      |
| メインメニュー<br>—<br>環境設定<br>—<br>オーディオ<br>関連設定 | 音声モード          | G722                             | G722      | G722      | G722                          | G722      | G722      |
|                                            | 音声遅延           | OFF                              | OFF       | OFF       | OFF                           | OFF       | OFF       |
|                                            | パケットロス補償       | ON                               | ON        | ON        | ON                            | ON        | ON        |
|                                            | AUDIO IN/OUT   | VTR                              | 外部 EC など  | 外部 EC など  | VTR                           | 外部 EC など  | 外部 EC など  |
|                                            | 音声ミキサ機能        | OFF                              | OFF       | OFF       | OFF                           | OFF       | OFF       |
|                                            | パラレル出力機能       | OFF                              | OFF       | OFF       | OFF                           | OFF       | OFF       |
|                                            | 内蔵マイク          | OFF                              | ON        | ON        | OFF                           | ON        | ON        |
|                                            | インターフォン機能      | 使わない                             | 子         | 親         | 使わない                          | 子         | 親         |
|                                            | スピーカ           | 外部                               | 内蔵        | 内蔵        | 外部                            | 内蔵        | 内蔵        |
|                                            | 通話開始時マイクオフ     | しない                              | しない       | しない       | しない                           | しない       | しない       |
| メインメニュー<br>—<br>環境設定<br>—<br>初期登録<br>情報    | PPPoE 使用       | しない                              | しない       | しない       | しない                           | しない       | しない       |
|                                            | DHCP 機能使用      | する                               | する        | する        | する                            | する        | する        |
|                                            | ゲートキーパー        | 使用しない                            | 使用しない     | 使用しない     | 使用しない                         | 使用しない     | 使用しない     |
|                                            | エコーサバー         | 使用する                             | 使用する      | 使用する      | 使用する                          | 使用する      | 使用する      |
|                                            | 通信時解決          | する                               | する        | する        | する                            | する        | する        |
|                                            | UPnP           | 使う                               | 使う        | 使う        | 使う                            | 使う        | 使う        |
|                                            | 通信形態           | ダイヤル送受信                          | ダイヤル送信    | ダイヤル受信    | ダイヤル送受信                       | ダイヤル送信    | ダイヤル受信    |
|                                            | 送信画像への自室名/時刻表示 | なし                               | なし        | なし        | なし                            | なし        | なし        |
|                                            | 主電源 ON 時動作     | スタンバイ解除                          | スタンバイ解除   | スタンバイ解除   | スタンバイ解除                       | スタンバイ解除   | スタンバイ解除   |
|                                            | 自動スタンバイ        | 3 分                              | 行わない      | 行わない      | 3 分                           | 行わない      | 行わない      |
|                                            | 起動音            | あり                               | あり        | あり        | あり                            | あり        | あり        |
|                                            | GINGANET サービス  | 利用しない                            | 利用しない     | 利用しない     | 利用しない                         | 利用しない     | 利用しない     |
| メインメニュー<br>—<br>環境設定<br>—<br>データ通信<br>関連設定 | H.281 ポート（LSD） | 1.2kb/s                          | 1.2kb/s   | 1.2kb/s   | 1.2kb/s                       | 1.2kb/s   | 1.2kb/s   |
|                                            | 制御ポート（MLP）     | 4.0kb/s                          | 4.0kb/s   | 4.0kb/s   | 4.0kb/s                       | 4.0kb/s   | 4.0kb/s   |
|                                            | シリアルポート接続      | 制御                               | 制御        | 制御        | カメラ                           | カメラ       | 制御        |
|                                            | シリアルポート速度      | 9.6kb/s                          | 9.6kb/s   | 9.6kb/s   | 9.6kb/s                       | 9.6kb/s   | 9.6kb/s   |
|                                            | シリアルポートパリティ    | 8bit None                        | 8bit None | 8bit None | 8bit None                     | 8bit None | 8bit None |
|                                            | LAN コンソール      | 使用しない                            | 使用しない     | 使用しない     | 使用しない                         | 使用しない     | 使用しない     |

| 設定項目                      |             | アプリケーションの設定                      |          |          |                               |          |          |
|---------------------------|-------------|----------------------------------|----------|----------|-------------------------------|----------|----------|
|                           |             | MediaPoint IP TC/SV モデル（内蔵カメラあり） |          |          | MediaPoint IP NC モデル（内蔵カメラなし） |          |          |
|                           |             | テレビ会議                            | 監視（送信側）  | 監視（受信側）  | テレビ会議                         | 監視（送信側）  | 監視（受信側）  |
| メインメニュー<br>環境設定<br>通信関連設定 | ISDN 最大通信速度 | 2×64kb/s                         | 2×64kb/s | 2×64kb/s | 2×64kb/s                      | 2×64kb/s | 2×64kb/s |
|                           | IP 最大通信速度   | 512kb/s                          | 512kb/s  | 512kb/s  | 512kb/s                       | 512kb/s  | 512kb/s  |
|                           | 通信能力        | 接続性優先                            | 接続性優先    | 接続性優先    | 接続性優先                         | 接続性優先    | 接続性優先    |
|                           | 着信モード       | 手動                               | 手動       | 手動       | 手動                            | 手動       | 手動       |
|                           | 自動着信リング数    | 0                                | 0        | 0        | 0                             | 0        | 0        |
|                           | 着信音量        | 中                                | 中        | 中        | 中                             | 中        | 中        |
|                           | 発信禁止条件      | 制限なし                             | 制限なし     | 制限なし     | 制限なし                          | 制限なし     | 制限なし     |
|                           | 短縮ダイヤル登録    | 許可                               | 許可       | 許可       | 許可                            | 許可       | 許可       |
|                           | 番号通知        | 通知する                             | 通知する     | 通知する     | 通知する                          | 通知する     | 通知する     |
|                           | 外部センサ発信     | なし                               | なし       | なし       | なし                            | なし       | なし       |
|                           | 音声検出發信感度    | なし                               | なし       | なし       | なし                            | なし       | なし       |

| 設定項目          |                    | Voice Unit の設定 |
|---------------|--------------------|----------------|
| Voice Unit 設定 | 100 外部機器           | スピーカ           |
|               | 210 内部マイク          | オン             |
|               | 220 内部スピーカ         | レンドウ           |
|               | 300 サプレッサ          | L              |
|               | 410 AUDIO IN レベル設定 | 00dB           |

---

## NECエンジニアリング

MediaPoint IPに関する技術的なお問い合わせ

### VoicePointセンター

フリーダイヤル：0120-343010

E-mail：mp@neec.tmg.nec.co.jp

●E-mailでもお問い合わせを承っております。

URL <http://www.nec-eng.com/>

### <NECエンジニアリングの事業全般についてのお問い合わせは下記へ>

コーポレートセールス推進部 営業部

〒108-0023 東京都港区芝浦3-18-21

TEL.03-3798-7329 URL <http://www.nec-eng.co.jp/>

©NEC Engineering, Ltd. 2002-2003

NECエンジニアリングの許可なく複製・改版などを行うことはできません。

本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。